

院内がん登録

Nara
Prefecture
General
Medical
Center

2017年・2018年
症例報告



2019年4月 ISO9001認証取得



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合医療センター

Nara Prefecture General Medical Center



QMS
JIS Q 9001
JIS Q 2862
「医療サービスの提供」



MS
JAB
CM001

「院内がん登録 2017-2018 年症例報告」発刊にあたって

このたび、「奈良県総合医療センターの院内がん登録報告書」を発刊いたしました。今回の報告書は、2018年5月1日の当センター移転と重なったため、2017年と2018年の2年間の院内がん登録症例を集計したものとなっています。従いまして、本書の2017年報告分は、移転前の旧センターの実績を、2018年報告分は、旧センターでの移転前までの診療実績と5月以降の新センターの実績を併せて集計したものとなっています。症例数だけを比べても2018年のがん登録症例数は移転前の2017年に比べて飛躍的に増加していることがお解りいただけると思います。

ところで、奈良県では、健康寿命日本一の実現に向けて、『がんにならない、がんになっても安心できる奈良県』を目指し、総合的かつ計画的にがん対策の取組が進められています。その結果、奈良県のがんの年齢調整死亡率は、年々減少傾向にあり、この10年間の改善度は全国1位となっています。しかし、まだまだ解決すべき問題が残っていると思います。例えば、平成27年の調査によれば、臓器別のがん年齢調整死亡率には差があることが明らかとなっています。奈良県の大腸がんは全国2位、肝臓がんは全国8位ですが、乳がんが32位、肺がんは41位です。さらには、奈良県の乳がんの罹患率は第1位となっています。これらから見ても、さらなるがん対策の推進が必要であると思われれます。このような各種がんの罹患率や転帰を知るためにも正確ながん登録を行うことは大変重要です。当センターでは、院内がん登録に対して積極的に取り組んできており、多くの情報が蓄積されてきています。今後は、院内がん登録を分析・活用することにより、奈良県総合医療センターにおけるがん診療のさらなる充実に結びつけていく必要があると考えています。今後も、当センターはがん診療連携拠点病院として、高度ながん医療を提供することにより奈良県のがん医療のさらなる推進に寄与して参りたいと考えています。関係各位のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この報告書を発刊するにあたり、当センターでがん診療に従事されたすべての医療スタッフと診療データの収集と整理に尽力いただいた医療情報管理室の方々に心より感謝申し上げます。

奈良県総合医療センター
院長 菊池英亮

「院内がん登録 2017-2018年症例報告」発刊に寄せて

奈良県総合医療センターはがん診療拠点病院として役割の一つとして2010年より院内がん登録を行っております。2014年に県立奈良病院から奈良県立病院機構奈良県総合医療センターに移行し、診療情報管理士を中心に登録活動を充実させてきました。院内がん登録件数は年々増加し、2014-2017年は年間1200件台で推移しておりましたが、今回お届けする最新の2018年の登録件数は、1836件と、飛躍的な増加を示しています。これまでのがん診療に携わる職員の皆様のお力に加え、2018年5月に現在の新センターに新築移転し、さらに高機能の病院となった結果であると思われま

す。今や国民の2人に一人が生涯でがんにかかる時代であり、がんに対する医療ニーズが高まり、病院診療の大きな部分を占めており、県民の皆様当センターへの期待は高まっております。がん相談支援センターにおける相談件数は、2018年度に1409件に達し、読売新聞の全国版に掲載されたデータによれば、県内最多の件数であります。

当センターは、最新の機器を用いた高度な診断技術、日々進歩する内視鏡技術や、胸腔鏡、腹腔鏡に代表される低侵襲手術、ロボット支援下手術の高度手術への適応拡大に先進的に取り組んでいます。県内で最初に導入した手術支援ロボットダヴィンチによる手術は、前立腺がんのみならず、消化器がんや婦人科がんの手術にも適応拡大され、当センターで先進的に進められております。また、昨今のゲノム医療の進歩に伴う遺伝情報に基づく治療選択にも対応する体制を整え、当センターの臨床遺伝専門医による遺伝カウンセリング外来がすでに開始されて、遺伝性腫瘍の患者さんへのカウンセリングを行っております。また、厚生労働省が定めるがんゲノム医療連携病院への申請が承認され、院内で健康保険適応によるがん遺伝子パネル検査を行う体制が整いつつあります。

がん診療拠点病院としての責務は診断や、手術、化学療法、放射線療法、免疫療法といった治療だけでなく、がん遺伝子に関連する各部門や、がん相談支援センター、緩和ケアチームなど、多職種が連携してがん患者をトータルに支えることです。今回、診療情報管理士の方々をはじめとする多くの職員のご尽力で立派な報告が発刊されます。がん登録の目的は、私たちが行うこれらのがん治療の内容を詳細に把握して、治療成績の向上やより良い治療法の開発に結び付けていくことであり、県民へのがん医療のさらなる向上につなげていきたいと思

集学的がん治療センター長
高 濟峯

奈良県総合医療センター

院内がん登録 2017年症例報告

『登録件数 1341件』

2018年8月24日

国立がん研究センター・がん対策情報センター 提出

奈良県総合医療センター

院内がん登録 2018年症例報告

『登録件数 1836件』

2019年8月31日

国立がん研究センター・がん対策情報センター 提出

目次

【2017年症例データ】

・部位コード一覧	2
・部位別登録件数	3
・都道府県別件数	6
・症例区分	7
・部位別件数	8

【2018年症例データ】

・部位コード一覧	12
・部位別登録件数	13
・都道府県別件数	16
・症例区分	17
・部位別件数	18

【2015－2018年症例 比較】

・年症例	22
・部位別件数	23
・年齢・性別・部位別	24
・来院経路・発見経緯	27
・治療別件	28
・症例区分	30

【がん腫別統計】

1. 食道	33	10. 子宮頸部	69
2. 胃	37	11. 子宮体部	73
3. 大腸	41	12. 卵巣	77
4. 肝	45	13. 前立腺	81
5. 胆管	49	14. 腎	85
6. 膵臓	53	15. 膀胱	89
7. 肺	57	16. 甲状腺	93
8. 皮膚	61		
9. 乳腺	65		

1. 調査目的

がん診療連携拠点病院は、各都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つと共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進歩を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

2. 調査の方法

1) 収集範囲

登録対象は登録を実施する施設での新規の診断症例または他院で診断された初診症例であり、初発例、再発例を共に含む。

これには治療を行わない経過観察例が含まれる。1腫瘍・1登録の原則に基づき、同一の患者に別のがん腫と判断されるがんが同時または時間をあけて発生した場合は、複数の登録となる。また、同じがんについて当該施設で治療中に再発した症例については登録対象とはならない。

2) 収集方法

各施設においては国立がん研究センターがん対策情報センターの実施する院内がん登録初級者研修を修了した登録実務者が、各がん症例を登録する。データに関しては各施設内で送付前に国立がん研究センターがん対策情報センター院内がん登録室で配布する品質管理ツールを使って、データ項目の矛盾の無いデータを匿名化にして提出する。

3. 収集項目の内容

1) 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従ってあとに追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されて症状が悪化したために治療が行われた場合なども初回治療は「なし」となる。また、初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。

2) 治療前ステージ

UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられた病期を指す。がん取り扱い規約に基づくステージとは若干異なる。前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類される。

4. 公表の対象について

各集計表において、集計値が5以下の場合、個人が特定される可能性が高いことから、値を伏せて－(ハイフン)で表記した。

2017年症例データ

部位(コード)登録件数

当院初回治療の患者のみ (他施設で治療開始後は含まず)

2017年症例 1341件

コード	部位名	件数
C01	舌根部	—
C03・C05	歯肉・口蓋	—
C09	扁桃	—
C10-C13	中・上・下咽頭	7
C15	食道	33
C16	胃	134
C17	小腸	5
C18-C20	結腸及び直腸	191
C21	肛門	—
C22	肝及び肝内胆管	71
C23	胆のう	10
C24	胆管	20
C241	Vater膨大部	—
C25	膵	67
C30・C31	鼻腔および副鼻腔	—
C32	喉頭	—
C34	気管支および肺	185
C37	胸腺	—
C38	縦隔および胸膜	5
C42	他の造血器腫瘍	23
C44	皮膚	40
C48	後腹膜および腹膜	—

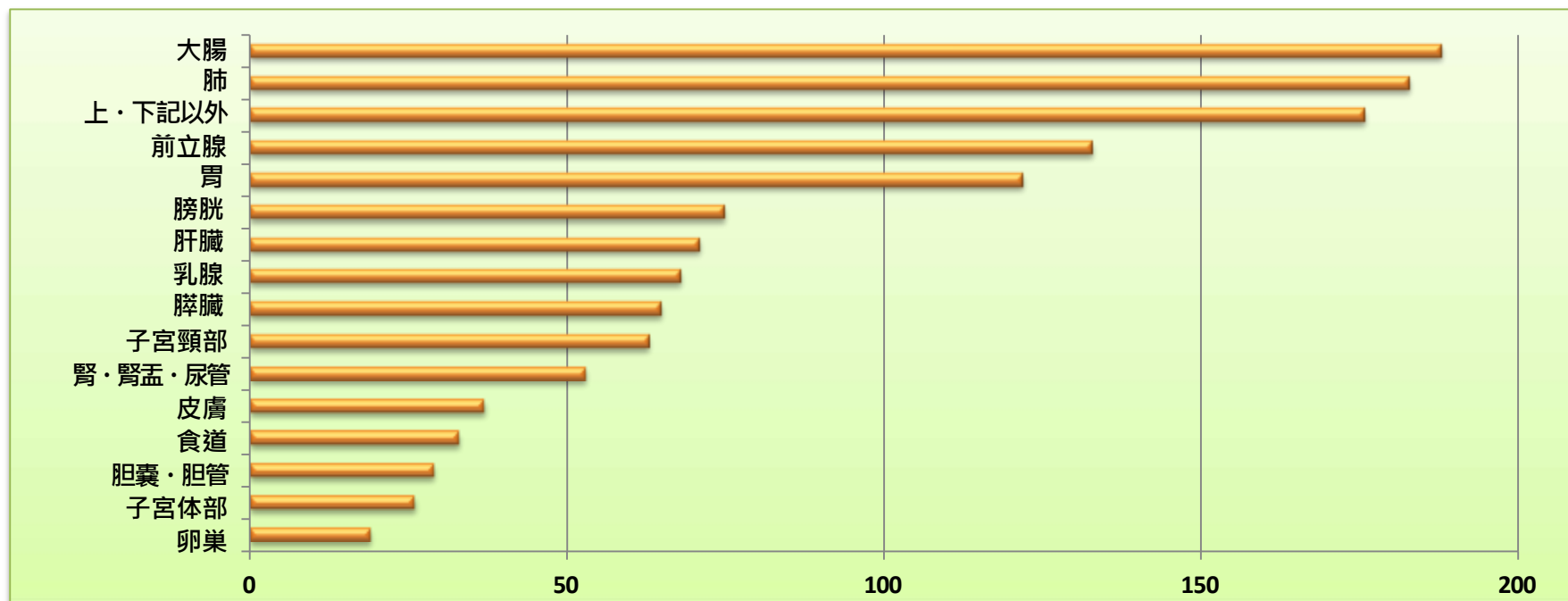
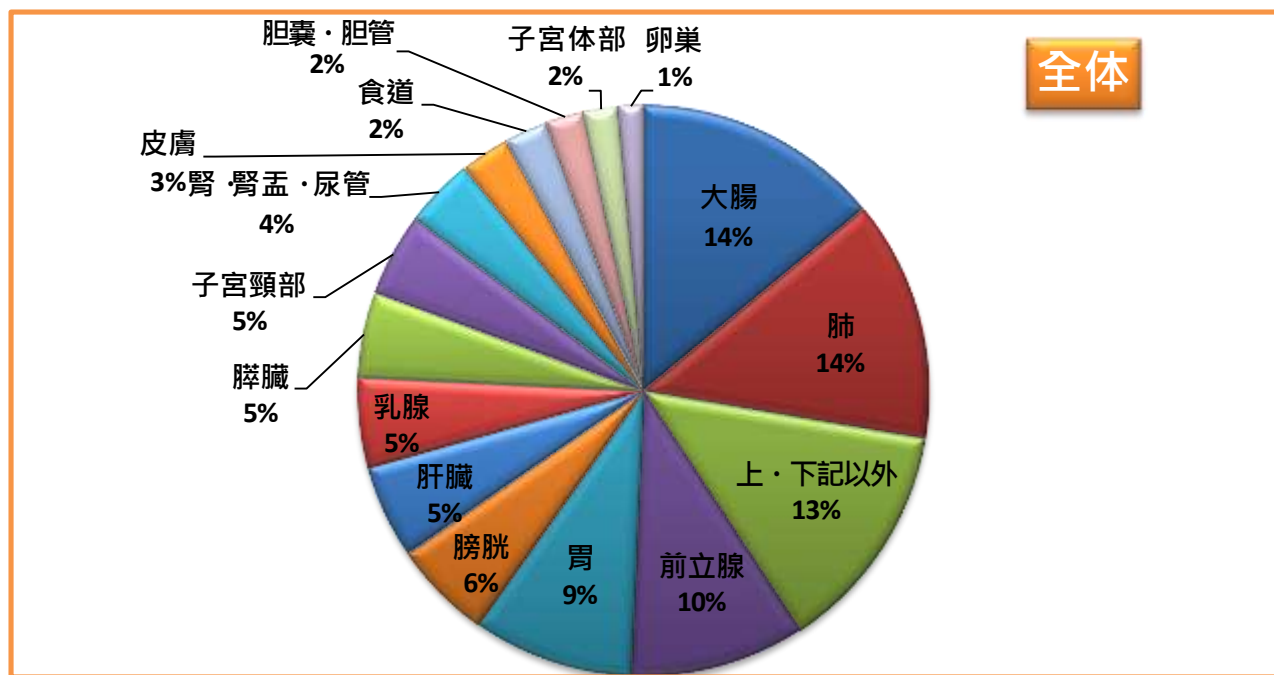
コード	部位名	件数
C49	その他の軟部組織	—
C50	乳房	68
C51	外陰	—
C52	膣	—
C53	子宮頸部	63
C54	子宮体部	31
C56	卵巣	20
C60	陰茎	—
C61	前立腺	133
C62	精巣	—
C63	陰囊	—
C64	腎	36
C65	腎盂	9
C66	尿管	8
C67	膀胱	75
C70	髄膜	26
C71	脳	7
C72	中枢神経系	8
C73	甲状腺	14
C75	下垂体	6
C77	リンパ節	11
C80	原発部位不明	8

□のみ詳細集計あり

件数が5以下の場合、件数を伏せて—(ハイフ)で表記

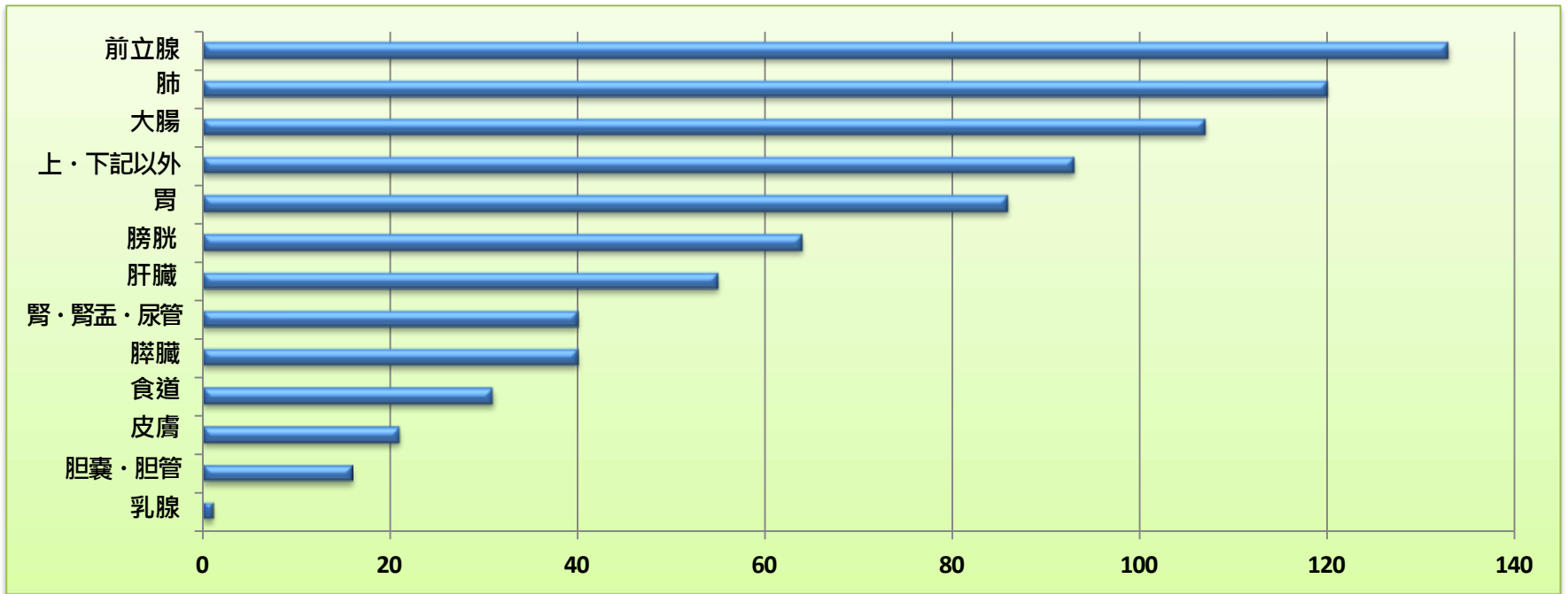
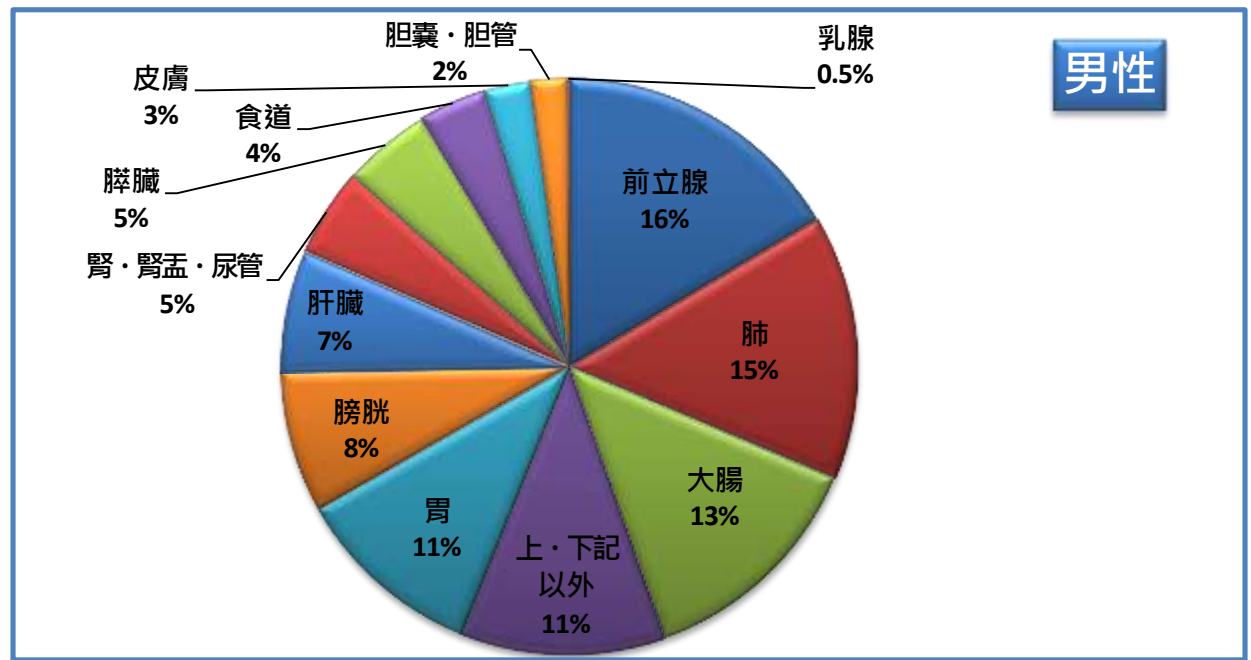
★部位別登録件数 (全体)

部位	件数
大腸	188
肺	183
上・下記以外	176
前立腺	133
胃	122
膀胱	75
肝臓	71
乳腺	68
脾臓	65
子宮頸部	63
腎・腎盂・尿管	53
皮膚	37
食道	33
胆嚢・胆管	29
子宮体部	26
卵巣	19
総計	1341



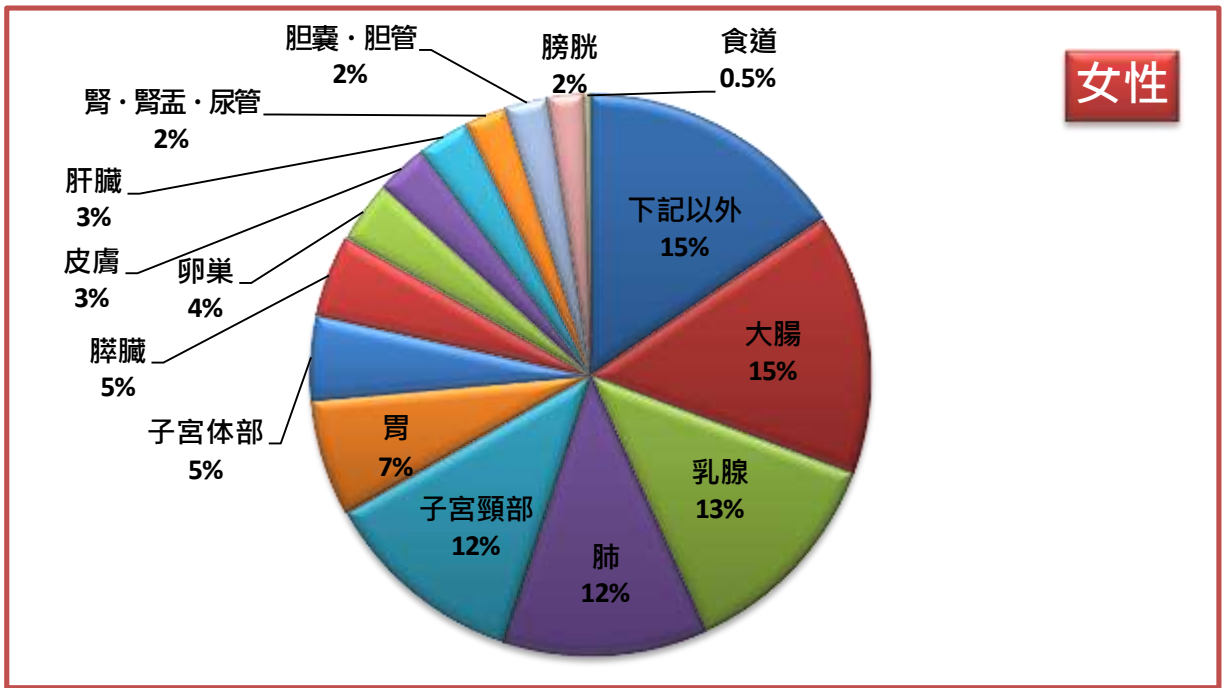
★部位別登録件数 (男性)

部位	件数
前立腺	133
肺	120
大腸	107
上・下記以外	93
胃	86
膀胱	64
肝臓	55
腎・腎盂・尿管	40
脾臓	40
食道	31
皮膚	21
胆嚢・胆管	16
乳腺	—
総計	807

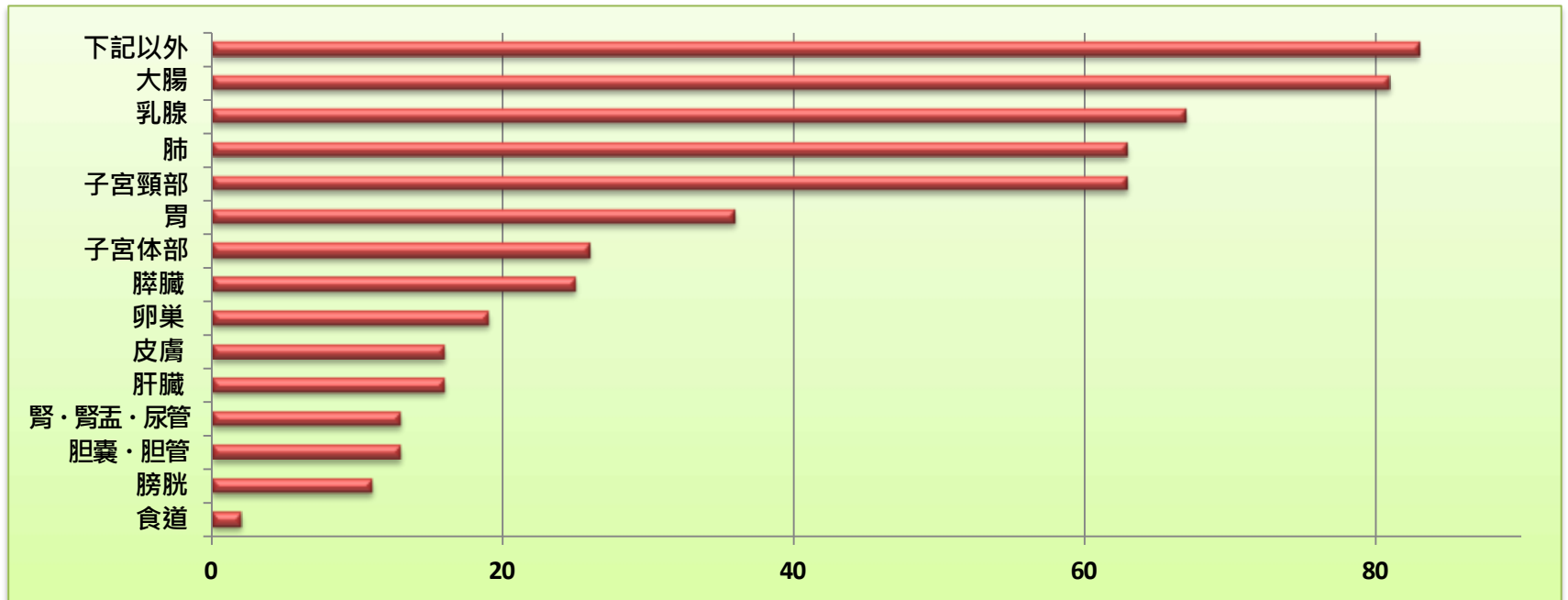


★部位別登録件数 (女性)

部位	件数
下記以外	83
大腸	81
乳腺	67
肺	63
子宮頸部	63
胃	36
子宮体部	26
脾臓	25
卵巣	19
皮膚	16
肝臓	16
腎・腎盂・尿管	13
胆嚢・胆管	13
膀胱	11
食道	—
総計	534



5



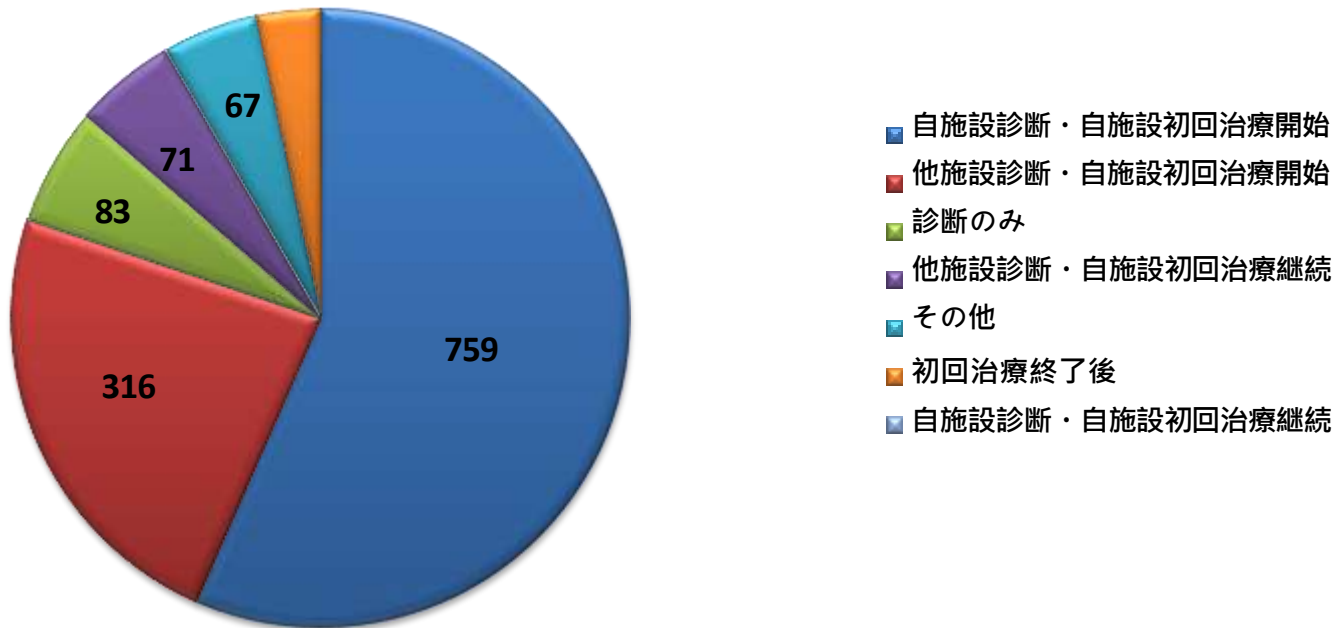
都道府県別件数



症例区分

全登録数	自施設診断・ 自施設初回治療開始	他施設診断・ 自施設初回治療開始	診断のみ	他施設診断・ 自施設初回治療継続	その他	初回治療 終了後	自施設診断・ 自施設初回治療継続
1341	759	316	83	71	67	44	—

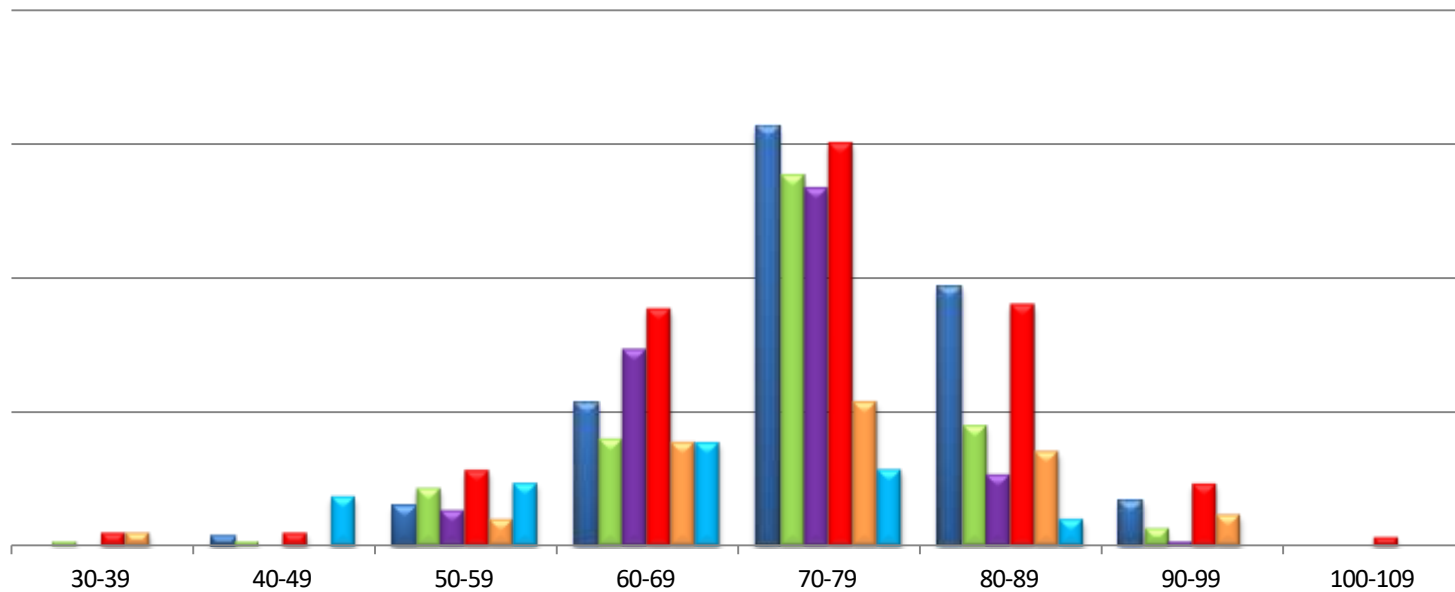
2016年症例より項目内容文変更



部位別登録患者数 (年齢別)

年齢 / 診断名	肺	胃	前立腺	大腸	肝臓	乳腺	総計
30-39	0	—	0	—	—	0	7
40-49	—	—	0	—	0	11	17
50-59	9	13	8	17	6	14	67
60-69	32	24	44	53	23	23	199
70-79	94	83	80	90	32	17	396
80-89	58	27	16	54	21	6	182
90-99	10	—	—	14	7	0	36
100-109	0	0	0	—	0	0	—
総計	205	153	149	236	92	71	906

■ 肺 ■ 胃 ■ 前立腺 ■ 大腸 ■ 肝臓 ■ 乳腺



部位別登録患者数 (年齢別)

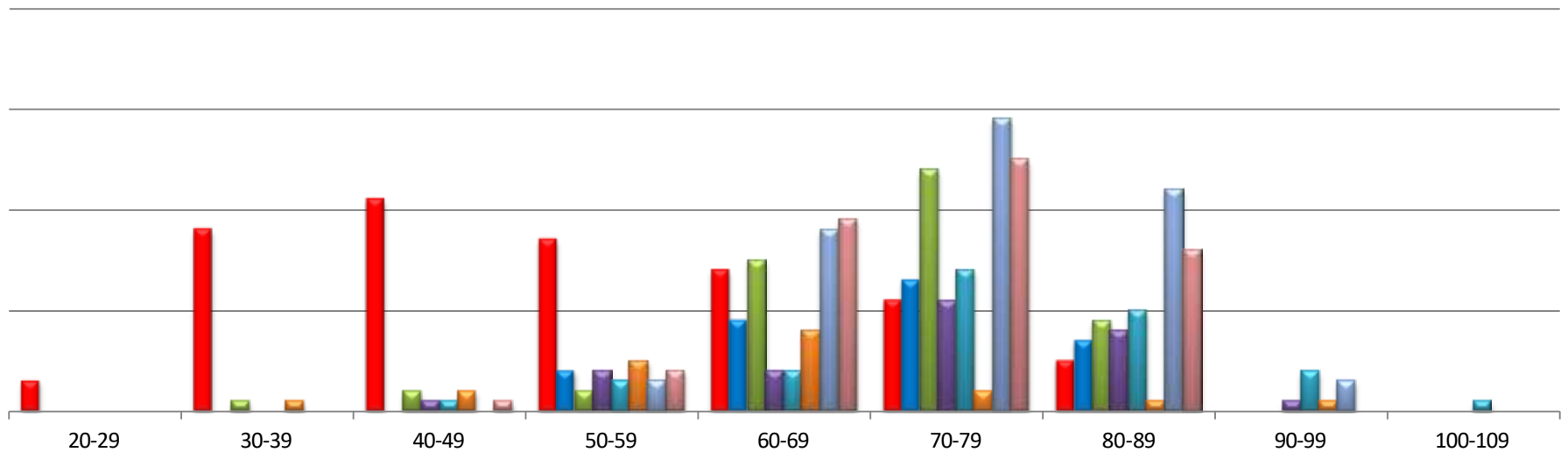
年齢 / 診断名	子宮	食道	腎	胆嚢・胆管	皮膚	卵巣	膀胱	膵臓	総計
20-29	—	0	0	0	0	0	0	0	—
30-39	18	0	—	0	0	—	0	0	20
40-49	21	0	—	—	—	—	0	—	28
50-59	17	—	—	—	—	5	—	—	42
60-69	14	9	15	—	—	8	18	19	91
70-79	11	13	24	11	14	—	29	25	129
80-89	5	7	9	8	10	—	22	16	78
90-99	0	0	0	—	4	—	—	0	9
100-109	0	0	0	0	—	0	0	0	—
総計	89	33	53	29	37	20	75	65	401

* 子宮 - 子宮頸部・体部含む

* 腎 - 尿管・腎盂含む

* 卵巣 - 卵管・腹膜含む

■ 子宮 ■ 食道 ■ 腎 ■ 胆嚢・胆管 ■ 皮膚 ■ 卵巣 ■ 膀胱 ■ 膵臓



部位別・治療件数

2016年度版から項目変更があり

部位	手術のみ	手術 + 放射線	手術 + 化学療法	手術 + 放射線 + 化学療法	放射線のみ	放射線 + 化学療法	化学療法*(その他の治療含む)
食道	11	0	6	0	11	10	18
胃	98	0	20	—	—	0	31
大腸	163	—	37	—	5	—	41
肝臓	22	0	—	0	—	—	35
胆嚢・胆管	17	0	8	0	0	0	13
膵臓	43	0	29	7	7	0	49
肺	78	0	16	—	32	23	81
皮膚	31	0	0	0	0	0	0
乳腺	9	0	5	—	—	—	9
子宮頸部	39	—	7	0	10	8	16
子宮体部	22	0	11	0	—	0	12
卵巣・卵管・腹膜	16	0	12	0	0	0	12
前立腺	63	0	—	0	7	5	41
腎・腎盂・尿管	42	0	—	0	—	—	—
膀胱	66	—	42	—	—	0	44
上記以外	57	—	6	—	11	—	28
合計	777	5	205	17	95	52	433

* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

2018年症例データ

部位(コード)登録件数

当院初回治療の患者のみ (他施設で治療開始後は含まず)

2018年症例 1836件

コード	部位名	件数
C01・C02	舌根部・舌縁・舌下面	14
C03・C05	歯肉・口蓋	5
C07・C08	耳下腺・大唾液腺	6
C09	扁桃	3
C10-C13	中・上・下咽頭	11
C15	食道	51
C16	胃	187
C17	小腸	14
C18-C20	結腸及び直腸	214
C21	肛門	4
C22	肝及び肝内胆管	63
C23	胆のう	7
C24	胆管	14
C241	Vater膨大部	2
C25	膵	76
C30・C31	鼻腔および副鼻腔	5
C32	喉頭	9
C34	気管支および肺	241
C37	胸腺	4
C38	縦隔および胸膜	10
C40	肢の骨、関節及び関節軟骨	—
C42	他の造血器腫瘍	127
C44	皮膚	39
C48	後腹膜および腹膜	5

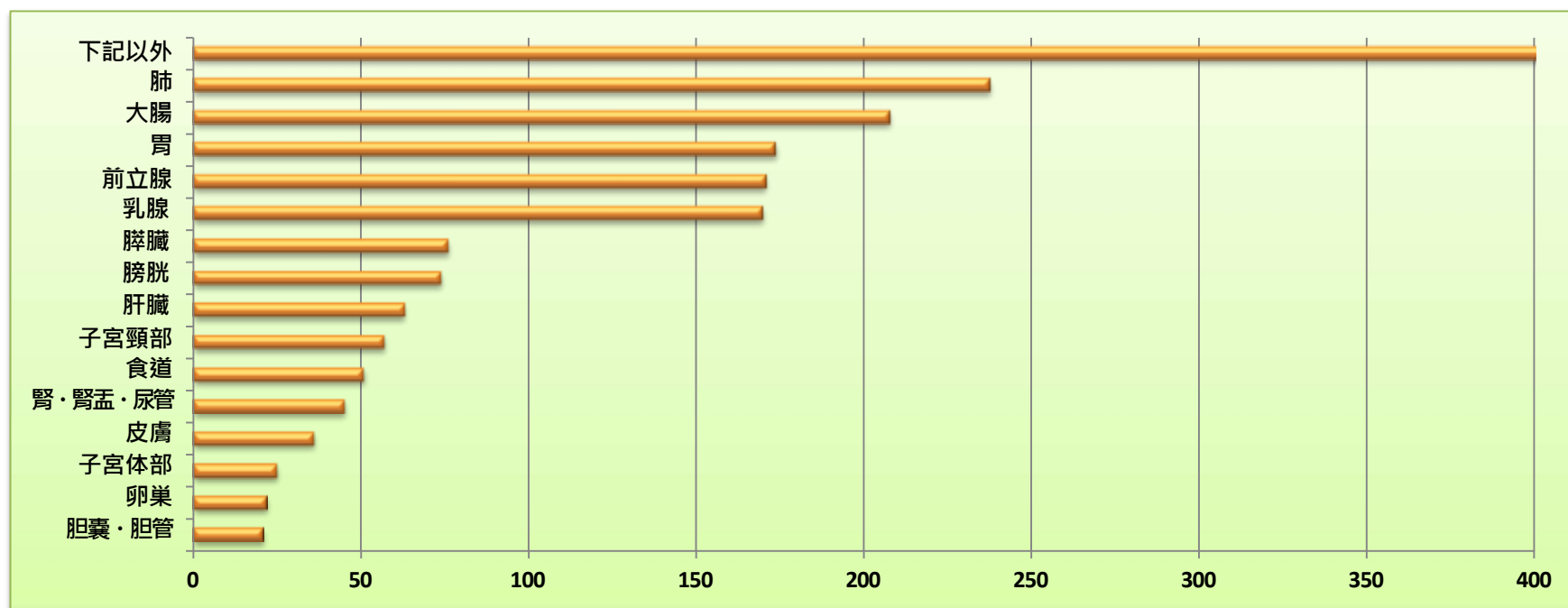
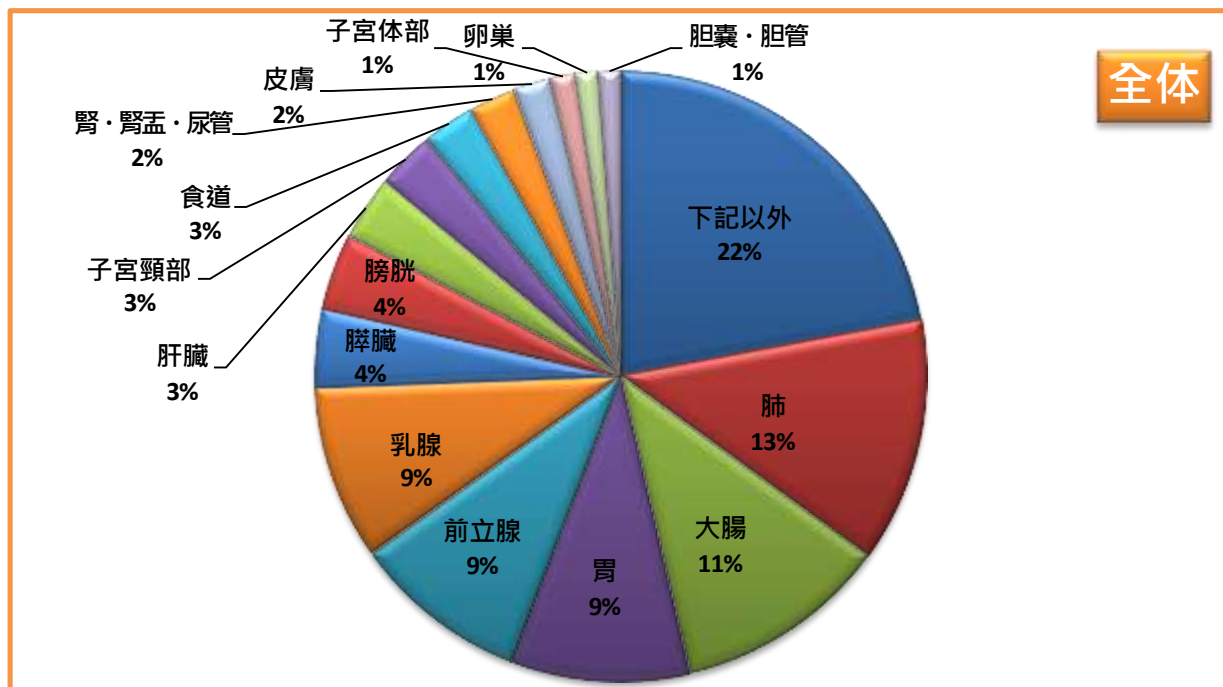
コード	部位名	件数
C49	その他の軟部組織	—
C50	乳房	170
C51	外陰	—
C52	膣	—
C53	子宮頸部	57
C54	子宮体部	29
C56	卵巣	19
C57	卵管	—
C60	陰茎	—
C61	前立腺	171
C62	精巣	6
C63	陰のう	—
C64	腎	34
C65	腎盂	—
C66	尿管	8
C67	膀胱	74
C70	髄膜	20
C71	脳	8
C72	中枢神経系	10
C73	甲状腺	29
C74	副腎	—
C75	下垂体	6
C76	その他および不明確な部位 (腹部)	—
C77	リンパ節	52
C80	原発部位不明	10

□のみ詳細集計あり

件数が5以下の場合、件数を伏せて—(ハイフ)で表記

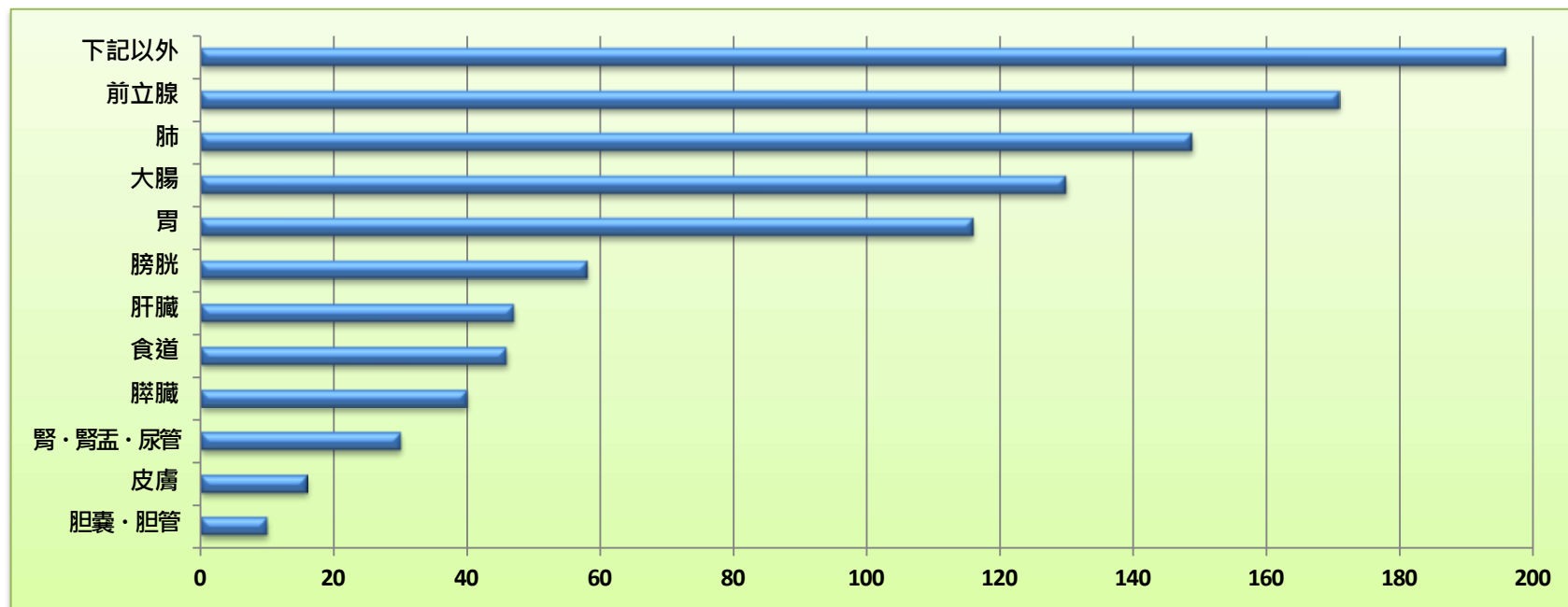
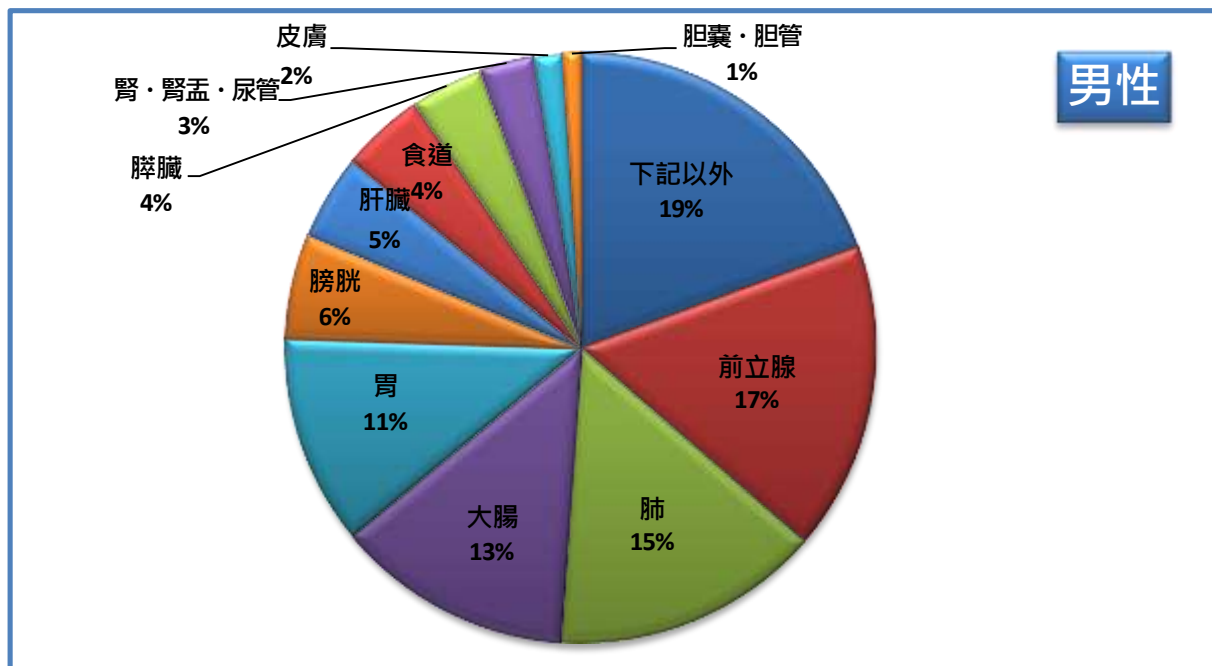
★部位別登録件数 (全体)

下記以外	405
肺	238
大腸	208
胃	174
前立腺	171
乳腺	170
脾臓	76
膀胱	74
肝臓	63
子宮頸部	57
食道	51
腎・腎盂・尿管	45
皮膚	36
子宮体部	25
卵巣	22
胆嚢・胆管	21
総計	1836



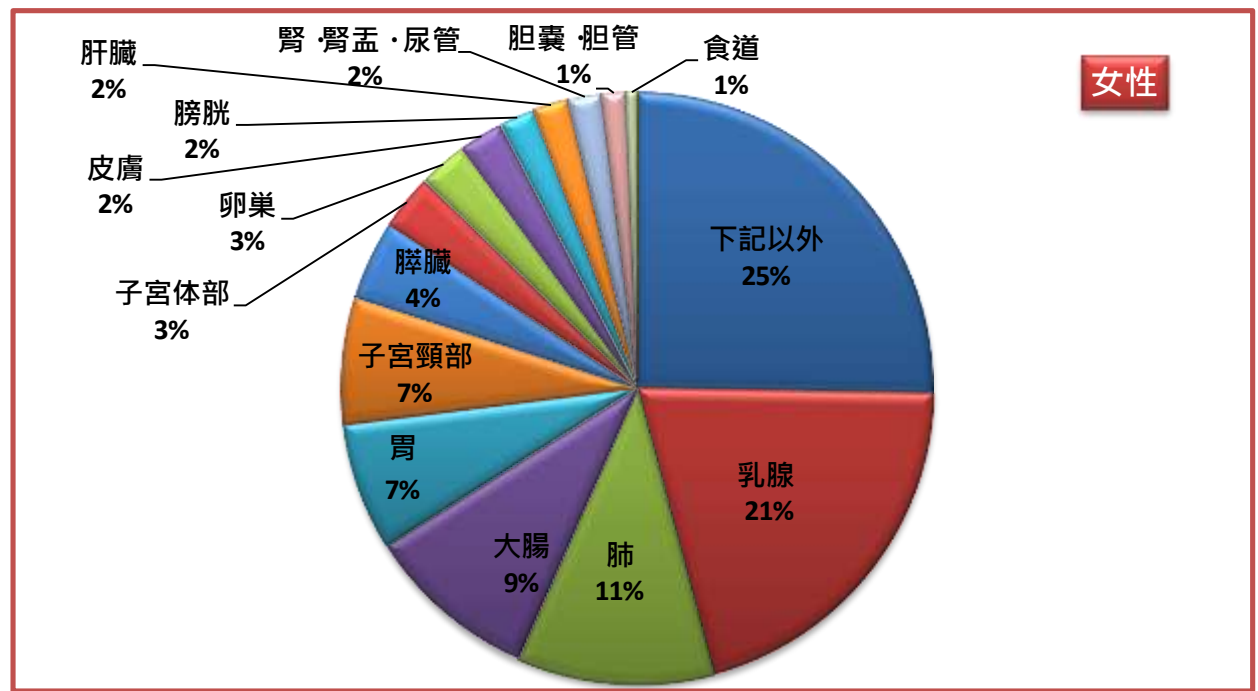
★部位別登録件数 (男性)

下記以外	196
前立腺	171
肺	149
大腸	130
胃	116
膀胱	58
肝臓	47
食道	46
脾臓	40
腎・腎盂・尿管	30
皮膚	16
胆嚢・胆管	10
総計	1009

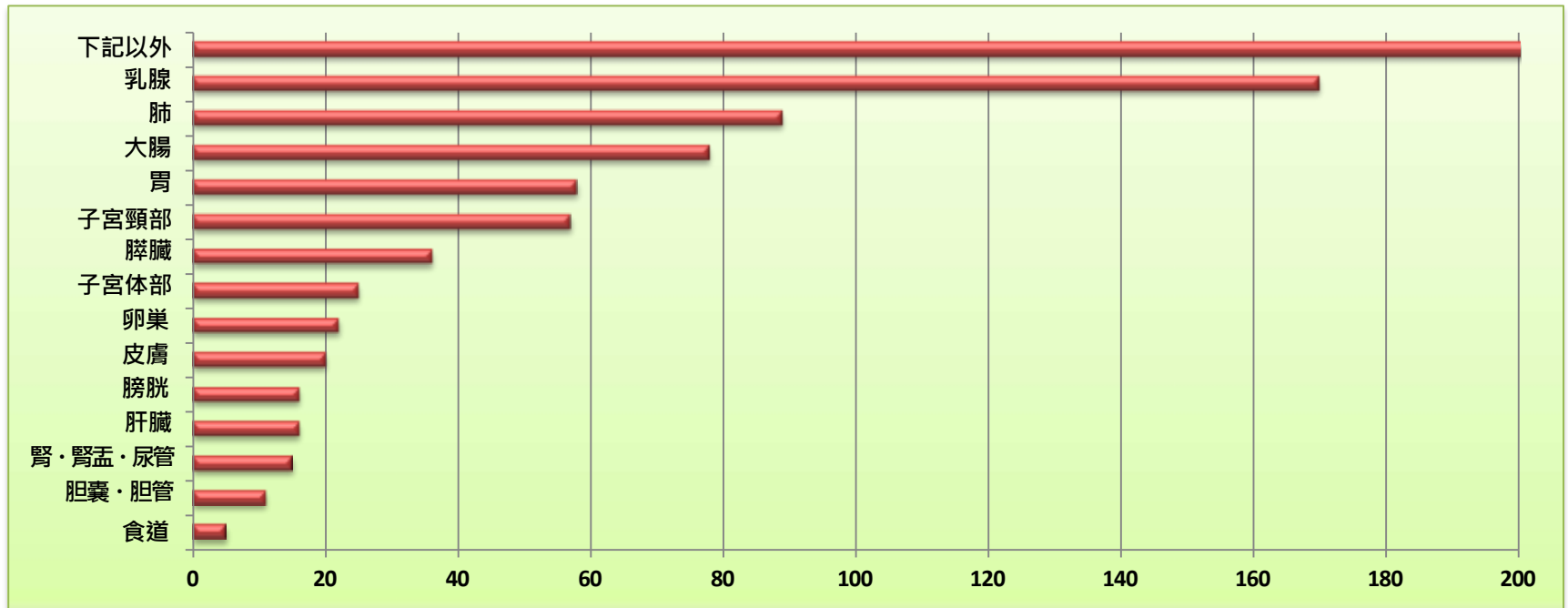


★部位別登録件数 (女性)

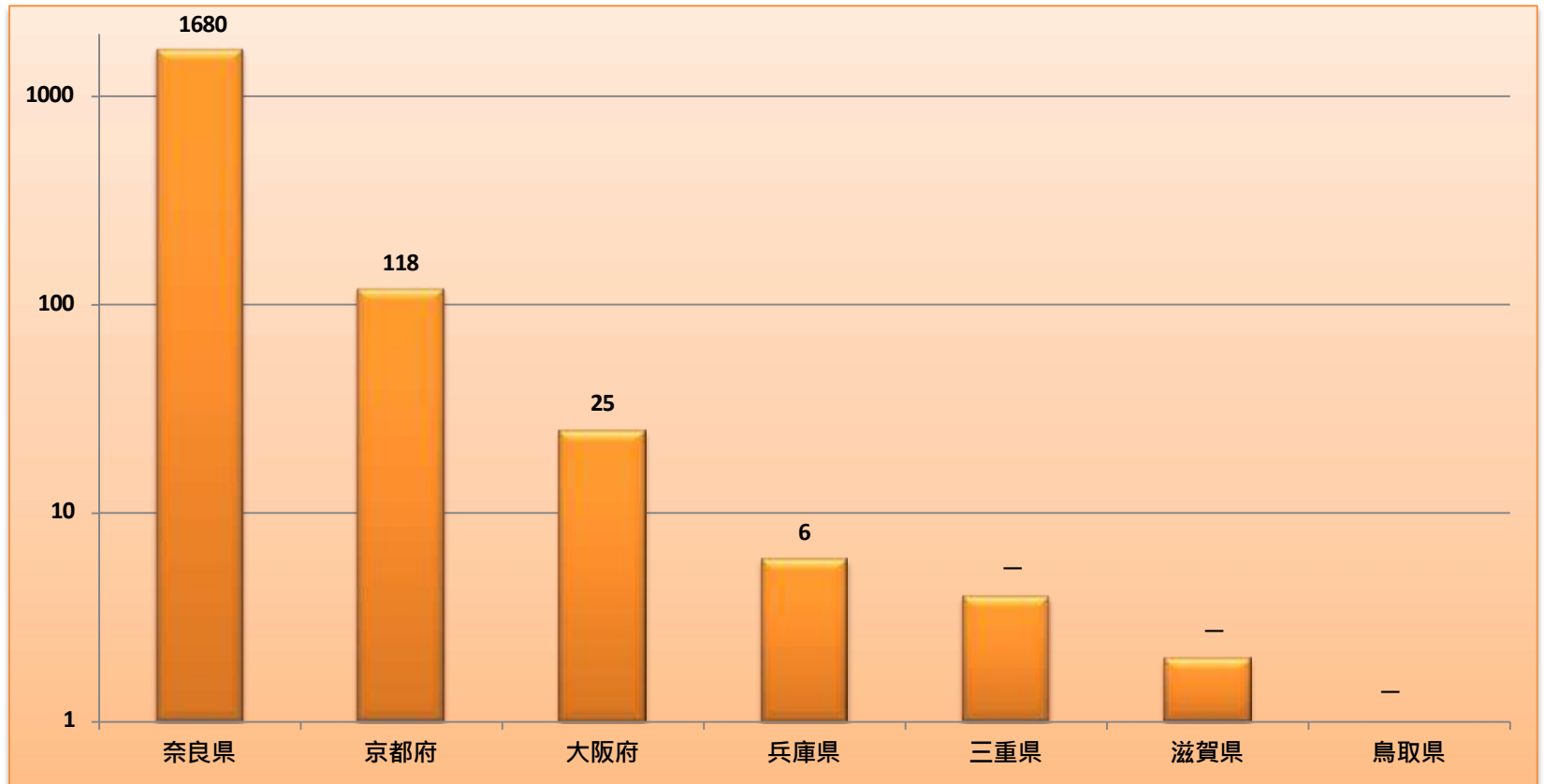
下記以外	209
乳腺	170
肺	89
大腸	78
胃	58
子宮頸部	57
脾臓	36
子宮体部	25
卵巣	22
皮膚	20
膀胱	16
肝臓	16
腎・腎盂・尿管	15
胆嚢・胆管	11
食道	5
総計	827



15



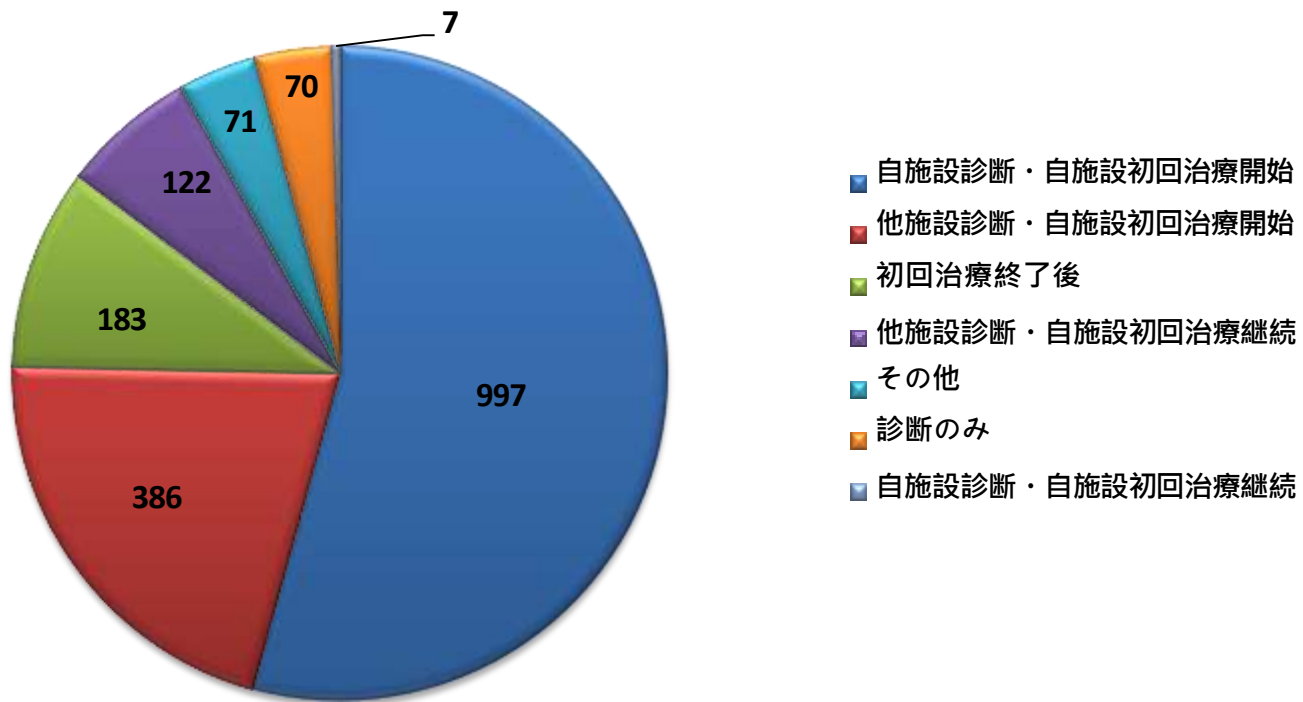
都道府県別件数



症例区分

全登録数	自施設診断・ 自施設初回治療開始	他施設診断・ 自施設初回治療開始	初回治療終了後	他施設診断・ 自施設初回治療継続	診断のみ	その他	自施設診断・ 自施設初回治療継続
1836	997	386	183	122	70	71	7

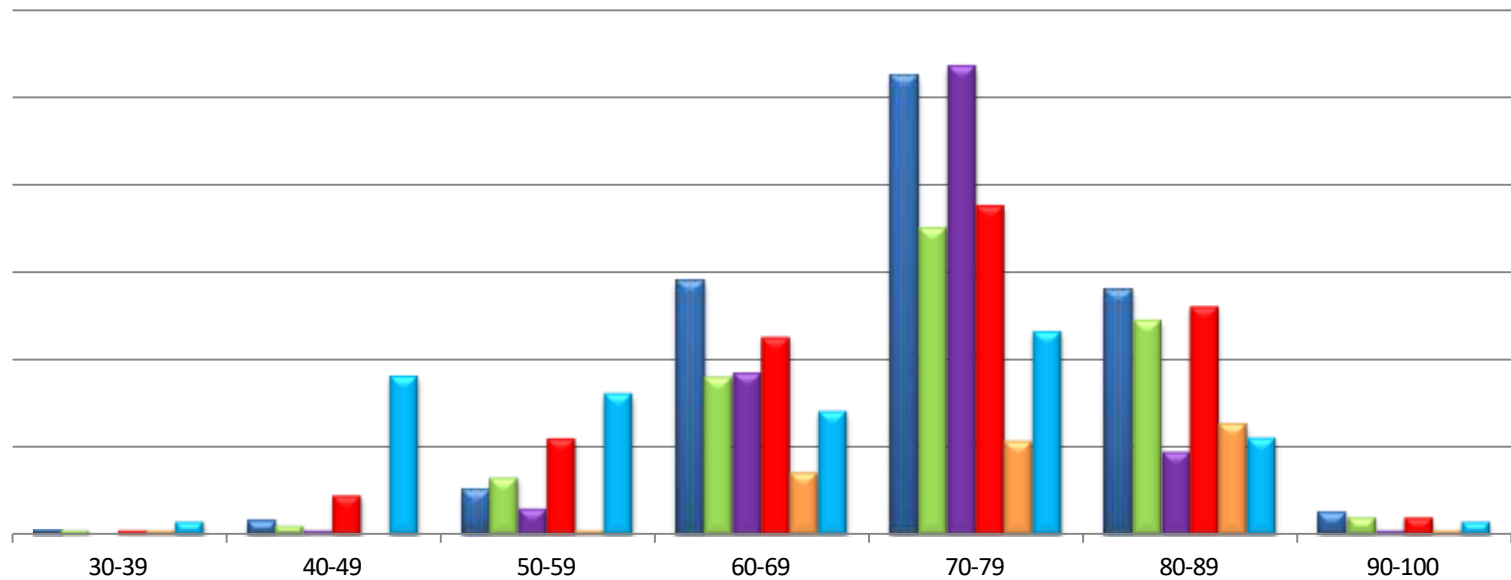
2016年症例より項目内容文変更



部位別登録患者数 (年齢別)

年齢 / 診断名	肺	胃	前立腺	大腸	肝臓	乳腺	総計
30-39	—	—	0	—	—	—	7
40-49	—	—	—	9	0	36	51
50-59	10	13	6	22	—	32	84
60-69	58	36	37	45	14	28	218
70-79	105	70	107	75	21	46	424
80-89	56	49	19	52	25	22	223
90-100	5	—	—	—	—	—	18
総計	238	175	171	208	63	170	1025

■肺 ■胃 ■前立腺 ■大腸 ■肝臓 ■乳腺



部位別登録患者数 (年齢別)

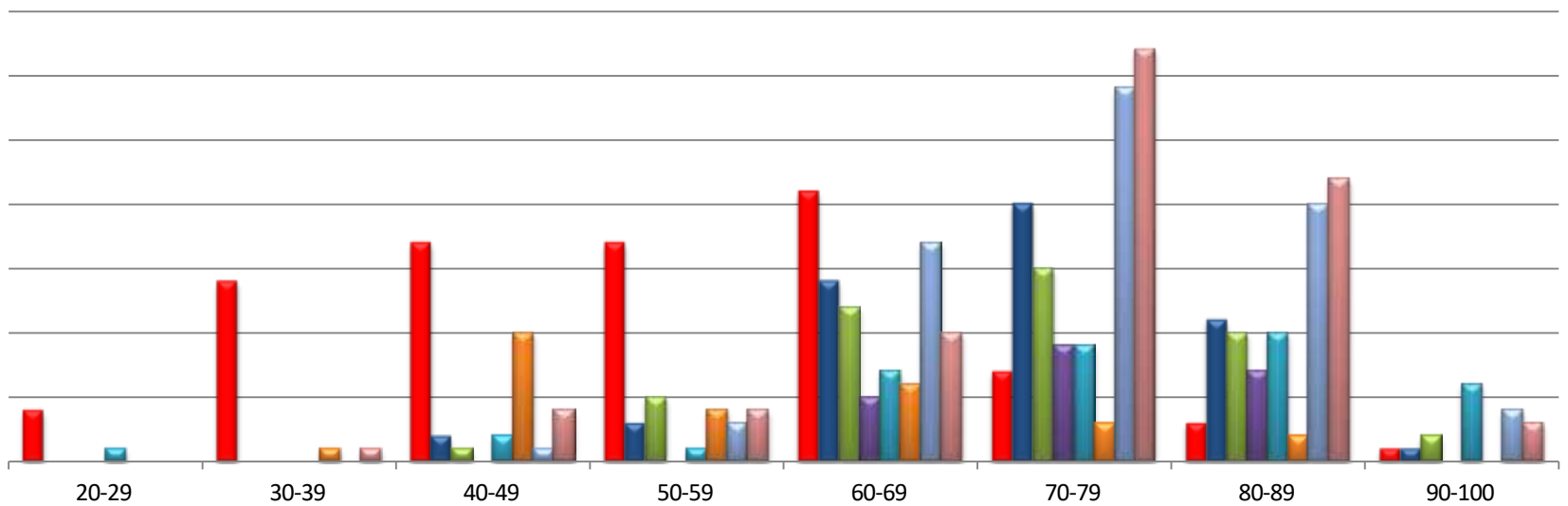
年齢 / 診断名	子宮	食道	腎	胆嚢・胆管	皮膚	卵巣	膀胱	脾臓	総計
20-29	—	0	0	0	—	0	0	0	5
30-39	14	0	0	0	0	—	0	—	16
40-49	17	—	—	0	—	10	—	—	37
50-59	17	—	5	0	—	—	—	—	37
60-69	21	14	12	5	7	6	17	10	92
70-79	7	20	15	9	9	—	29	32	124
80-89	—	11	10	7	10	—	20	22	85
90-100	—	—	—	0	6	0	—	—	17
総計	84	51	45	21	36	26	74	76	413

* 子宮 - 子宮頸部・体部含む

* 腎 - 尿管・腎盂含む

* 卵巣 - 卵管・腹膜含む

■ 子宮 ■ 食道 ■ 腎 ■ 胆嚢・胆管 ■ 皮膚 ■ 卵巣 ■ 膀胱 ■ 脾臓



部位別・治療件数

2016年度版から項目変更があり

	手術のみ	手術 + 放射線	手術 + 化学療法	手術 + 放射線 + 化学療法	放射線のみ	放射線 + 化学療法	化学療法* (その他の治療含む)
食道	21	—	5	—	23	15	27
胃	129	0	20	0	0	0	39
大腸	181	0	40	—	—	0	44
肝臓	20	0	—	—	—	—	36
胆嚢・胆管	11	0	7	0	0	0	8
膵臓	35	0	19	8	15	—	43
肺	107	—	19	—	37	21	98
皮膚	27	—	0	0	—	0	0
乳腺	51	—	21	21	23	0	60
子宮頸部	42	0	9	—	8	6	17
子宮体部	25	0	11	0	0	0	12
卵巣・卵管・腹膜	20	0	15	0	—	—	16
前立腺	69	0	5	0	—	—	64
腎・腎盂・尿管	35	0	—	0	—	—	5
膀胱	64	—	47	—	—	0	49
上記以外	85	—	10	—	15	5	116
合計	922	7	232	45	136	55	634

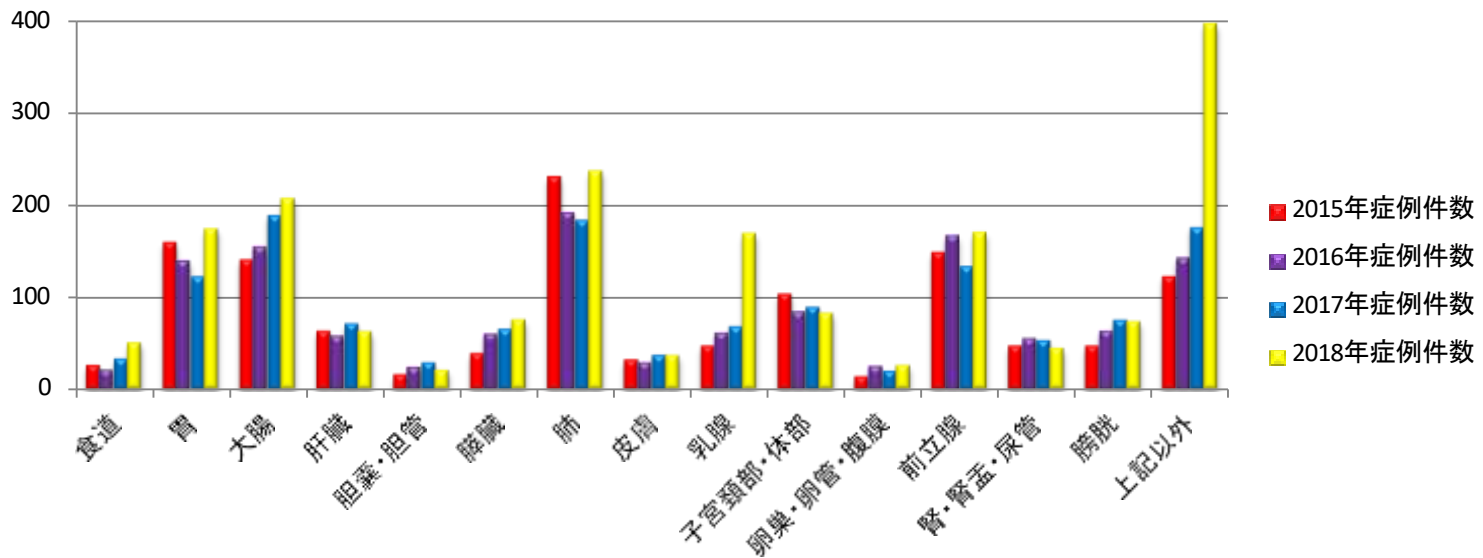
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

2015-2018年症例 比較

年症例

部位	2015年症例件数	2016年症例件数	2017年症例件数	2018年症例件数
食道	26	21	33	51
胃	159	139	122	175
大腸	140	154	188	208
肝臓	63	58	71	63
胆嚢・胆管	16	24	29	21
膵臓	39	60	65	76
肺	230	191	183	238
皮膚	32	29	37	37
乳腺	47	61	68	170
子宮頸部・体部	103	84	89	83
卵巣・卵管・腹膜	14	25	20	26
前立腺	148	166	133	171
腎・腎盂・尿管	47	55	53	45
膀胱	47	63	75	74
上記以外	122	142	175	398
合計	1233	1272	1341	1836



部位別件数

※自施設で初回治療を開始した患者のみ（他施設で治療開始後は含まず）



2015年症例 1123件



2016年症例 1003件



2017年症例 1075件



2018年症例 1383件

診断名コード	2015	2016	2017	2018	
C01	舌根部	0	0	0	—
C02	その他及び部位不明の舌	—	—	0	8
C03	歯肉	0	0	0	—
C05	口蓋	0	0	0	—
C07	耳下腺	0	0	0	—
C08	唾液腺	—	0	0	0
C09	扁桃	0	—	—	—
C10	中咽頭	—	0	0	—
C11	上咽頭	—	0	0	0
C12	梨状陥凹	—	—	0	—
C13	下咽頭	—	0	0	0
C15	食道	22	17	25	43
C16	胃	156	129	123	165
C17	小腸	9	—	5	12
C18-C20	結腸及び直腸	129	138	171	187
C21	肛門及び肛門管	0	—	0	—
C22	肝及び肝内胆管	58	53	62	55
C23	胆のう	5	6	9	5
C24	胆管 (Vater膨大部含む)	8	15	17	10
C25	膵	39	53	59	60
C30-C31	鼻腔及び中耳・上顎洞	0	0	0	—
C32	喉頭	9	—	—	5
C34	気管支及び肺	223	158	155	200
C37	胸腺	—	—	—	—
C38	心臓、縦隔及び胸膜	—	—	—	7
C40-C42	関節軟骨・他の造血管腫瘍	5	—	14	52
C44	皮膚	31	25	34	29
C48	後腹膜及び腹膜	—	5	0	—
C49	軟部組織	—	—	—	—

診断名コード	2015	2016	2017	2018	
C50	乳房	15	16	14	71
C51	外陰	—	—	—	—
C52	膣	0	—	—	—
C53	子宮頸部	64	51	52	52
C54	子宮体部	33	28	28	29
C56	卵巣	11	19	17	16
C57	女性性器	0	—	0	—
C60	陰茎	0	—	0	—
C61	前立腺	132	134	107	135
C62	精巣	—	—	—	—
C63	陰のう	0	0	0	0
C64	腎	30	38	33	29
C65	腎盂	9	—	8	—
C66	尿管	7	9	7	7
C67	膀胱	43	45	66	65
C70	髄膜	16	12	22	14
C71	脳	10	6	6	7
C72	中枢神経系	—	—	5	10
C73	甲状腺	9	7	8	23
C74	副腎	0	0	0	0
C75	下垂体	7	6	5	5
C76	その他および不明確な部位 (腹部)	0	—	0	—
C77	リンパ節	12	—	—	31
C80	原発部位不明	5	—	—	7

年齢・性別 件数

年齢	症例年	男性	女性
<20	2015	0	—
	2016	0	—
	2017	—	0
	2018	—	—
20-29	2015	—	8
	2016	0	5
	2017	0	5
	2018	—	10
30-39	2015	—	33
	2016	—	21
	2017	5	24
	2018	—	31
40-49	2015	16	37
	2016	14	63
	2017	17	46
	2018	27	87
50-59	2015	46	68
	2016	47	57
	2017	51	72
	2018	64	106
60-69	2015	201	115
	2016	208	114
	2017	189	108
	2018	237	157

年齢	症例年	男性	女性
70-79	2015	307	153
	2016	322	134
	2017	347	153
	2018	431	239
80-89	2015	161	76
	2016	159	86
	2017	174	106
	2018	215	174
90-99	2015	6	14
	2016	15	21
	2017	22	19
	2018	27	20
100-109	2015	0	—
	2016	0	—
	2017	—	—
	2018	0	—
合計	2015	492	741
	2016	770	502
	2017	809	535
	2018	1009	827

年齢 部位別 件数

年齢	症例年	食道	胃	大腸	肝	胆管	膵
<20	2015	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0
	2017	0	0	0	0	0	0
	2018	0	0	0	0	0	0
20-29	2015	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0
	2017	0	0	0	0	0	0
	2018	0	0	0	0	0	0
30-39	2015	0	—	0	0	0	0
	2016	0	—	—	0	0	0
	2017	0	—	—	12	0	0
	2018	0	—	—	—	0	—
40-49	2015	—	5	5	0	0	0
	2016	0	—	7	0	0	0
	2017	0	0	—	0	—	—
	2018	—	—	9	0	0	—
50-59	2015	—	10	13	5	—	0
	2016	—	10	16	—	0	—
	2017	—	11	16	6	—	—
	2018	—	13	22	—	0	—

年齢	症例年	食道	胃	大腸	肝	胆管	膵
60-69	2015	—	41	42	9	7	10
	2016	—	30	59	17	7	16
	2017	9	24	47	17	—	19
	2018	14	36	45	14	5	10
70-79	2015	10	66	55	29	—	18
	2016	9	60	37	23	8	25
	2017	13	60	71	22	11	25
	2018	20	70	75	21	9	32
80-89	2015	7	34	25	17	6	10
	2016	5	35	32	13	6	15
	2017	13	22	39	20	8	16
	2018	11	50	52	25	7	22
90-99	2015	0	—	0	—	0	—
	2016	—	—	—	—	—	—
	2017	0	—	8	—	—	0
	2018	—	—	—	—	0	—
100-109	2015	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0
	2017	0	0	—	0	0	0
	2018	0	0	0	0	0	0

年齢・部位別 件数

* 子宮 - 子宮頸部・体部含む

* 腎 - 尿管・腎盂含む

* 卵巣 - 卵管・腹膜含む

年齢	症例年	肺	皮膚	乳腺	子宮	卵巣	前立腺	腎	膀胱
<20	2015	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0	0	0
	2017	0	0	0	0	0	0	0	0
	2018	0	0	0	0	0	0	0	0
20-29	2015	0	0	0	8	0	0	0	0
	2016	0	0	0	—	—	0	0	0
	2017	0	0	0	—	0	0	0	0
	2018	0	—	0	—	0	0	0	0
30-39	2015	0	0	—	27	—	0	0	0
	2016	—	—	—	17	—	0	0	0
	2017	0	0	0	18	—	0	—	0
	2018	—	0	—	14	—	0	0	0
40-49	2015	—	—	—	15	—	0	5	0
	2016	5	0	12	26	—	—	—	0
	2017	—	—	10	21	—	0	—	0
	2018	—	—	36	17	10	—	—	—
50-59	2015	20	—	12	23	—	6	—	—
	2016	10	—	9	16	5	6	5	—
	2017	9	—	14	17	5	8	—	—
	2018	10	—	32	16	—	6	5	—

年齢	症例年	肺	皮膚	乳腺	子宮	卵巣	前立腺	腎	膀胱
60-69	2015	54	4	12	14	5	50	14	14
	2016	37	6	16	12	7	49	19	10
	2017	30	—	22	14	8	37	15	18
	2018	58	7	28	21	6	37	12	17
70-79	2015	97	8	12	11	2	66	18	19
	2016	87	8	14	7	6	88	19	27
	2017	78	14	16	11	—	73	24	29
	2018	105	9	46	7	—	107	15	29
80-89	2015	53	10	5	5	0	26	6	11
	2016	45	7	8	—	—	20	8	19
	2017	55	10	6	5	—	14	9	22
	2018	56	10	22	—	—	19	10	20
90-99	2015	—	5	0	0	0	0	—	—
	2016	6	—	—	0	0	—	—	—
	2017	9	—	0	0	—	—	0	—
	2018	5	6	—	0	0	—	—	—
100-109	2015	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0	0	0
	2017	0	—	0	0	0	0	0	0
	2018	0	0	0	0	0	0	0	0

来院経路・発見経緯

2016年症例より一部項目削除又はまとまった項目等変更箇所あり

来院経路	2015	2016	2017	2018
自主	114	104	98	111
紹介（他院より）	904	913	905	1375
紹介（がん検診）	15			
紹介（健康診断）	—			
紹介（人間ドック）	—			
当該施設にて 他疾患の経過観察中	190	242	312	316
剖検にて	0			
その他	—	13	26	33
不明	—	0	0	—

発見経緯	2015	2016	2017	2018
がん検診	76	143	161	218
健康診断・人間ドック	98			
他疾患の経過観察中	491	585	597	694
剖検発見	0	0	0	0
その他・不明	568	544	583	924

治療別件数

	食道				胃				大腸				肝			
	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018
手術のみ	—	6	11	21	116	111	106	134	118	133	164	182	17	16	22	20
手術+放射線	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0
手術+化学療法	—	0	6	5	20	17	20	20	33	34	37	40	—	—	—	—
手術+放射線+化学療法	0	—	0	—	0	0	—	0	0	—	—	—	0	0	0	—
放射線のみ	10	10	11	23	—	0	—	0	—	—	5	—	0	0	—	—
放射線+化学療法	8	6	10	15	—	0	0	0	—	0	—	0	0	0	—	—
化学療法	15				34				40				27			
TAE	0	8	18	27	0	30	33	41	0	39	42	45	22	33	35	36
RFA	0				0				—				10			

	胆管				膵				気管支及び肺				皮膚			
	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018
手術のみ	—	12	12	6	22	34	44	35	106	79	80	107	22	24	32	27
手術+放射線	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	—	—	—	0	—
手術+化学療法	—	6	6	—	12	24	29	19	30	32	16	19	0	0	0	0
手術+放射線+化学療法	0	0	0	0	0	0	7	8	5	—	—	—	0	0	0	0
放射線のみ	0	—	0	0	—	7	7	15	39	48	32	37	—	—	—	—
放射線+化学療法	0	0	0	0	—	5	0	4	16	25	23	21	0	0	0	0
化学療法	—				22				96				0			
TAE	0	6	9	—	0	37	49	43	0	88	81	98	0	0	0	—
RFA	0				0				0				—			

2015年症例

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
- * TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

治療別件数

	乳房				子宮頸部				子宮体部				卵巣			
	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018
手術のみ	11	13	9	51	49	48	39	42	28	26	26	27	10	16	17	16
手術 + 放射線	—	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手術 + 化学療法	—	—	5	21	—	—	7	9	11	11	12	11	8	12	13	11
手術 + 放射線 + 化学療法	—	—	—	21	—	0	0	—	—	0	0	—	0	0	0	0
放射線のみ	6	—	—	23	6	—	10	8	—	—	—	—	0	0	0	0
放射線 + 化学療法	—	—	—	0	—	—	8	6	0	—	0	0	0	0	0	0
化学療法	6	—	—	—	6	—	—	—	13	—	—	—	8	—	—	—
TAE	0	9	9	60	0	6	16	17	0	12	13	14	0	15	13	11
RFA	0	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—

	前立腺				腎				膀胱				甲状腺			
	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018
手術のみ	66	78	63	69	23	33	29	27	37	44	66	64	7	6	7	19
手術 + 放射線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0
手術 + 化学療法	0	6	—	5	—	—	0	—	14	32	42	47	0	0	0	0
手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	0	0	—	0	0	0	—	—	—	—	0	0	0	0
放射線のみ	—	8	7	—	—	—	—	0	—	—	—	—	0	0	0	0
放射線 + 化学療法	0	—	5	—	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学療法	49	—	—	—	—	—	—	—	17	—	—	—	0	—	—	—
TAE	0	53	41	64	0	—	—	—	0	34	44	49	0	0	0	—
RFA	0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—

2015年症例

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
- * TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

症例区分別件数

症例区分10 診断のみ

症例区分20 自施設診断・自施設初回治療開始

症例区分21 自施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分30 他施設診断・自施設初回治療開始

症例区分31 他施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分40 初回治療終了後

症例区分80 その他

2016年症例より項目内容文変更・新項目追加

コード	症例区分10				症例区分20				症例区分21			
	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018
C15	—	—	—	—	5	10	14	19		0	0	0
C16	5	9	—	5	71	70	66	101		0	0	—
C18 -C20	—	—	—	—	74	83	111	116		0	0	0
C22	—	—	—	0	44	37	45	37		0	0	0
C24	—	0	—	—	5	13	9	9		0	0	0
C25	—	—	—	—	29	38	38	44		0	0	—
C34	12	17	9	8	168	126	135	162		0	—	—
C44	5	—	5	6	25	24	27	28		0	0	0
C50	—	8	6	7	13	14	14	58		—	0	—
C53	5	6	—	—	35	36	38	43		0	0	0
C54	0	0	0	0	24	20	21	21		0	0	0
C56	—	0	0	—	9	15	15	12		0	0	0
C61	6	13	11	11	82	101	75	89		—	0	—
C64	—	0	—	—	16	13	16	13		0	0	0
C67	—	—	0	0	36	32	53	54		0	0	0
C73	—	7	—	5	8	7	8	21		0	0	0

症例区分別件数

症例区分10 診断のみ

症例区分20 自施設診断・自施設初回治療開始

症例区分21 自施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分30 他施設診断・自施設初回治療開始

症例区分31 他施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分40 初回治療終了後

症例区分80 その他

2016年症例より項目内容文変更・新項目追加

コード	症例区分30				症例区分31				症例区分40				症例区分80			
	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018	2015	2016	2017	2018
C15	15	7	11	24		0	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—
C16	75	59	57	64		—	—	—	—	—	—	6	6	6	—	9
C18-C20	52	55	60	71		11	9	7	11	7	9	15	—	0	—	—
C22	11	16	17	18		—	0	0	—	—	—	5	—	—	—	—
C24	—	—	8	0		0	—	0	—	—	0	—	0	0	—	—
C25	7	15	21	16		0	0	—	0	—	—	—	0	—	—	8
C34	40	32	20	38		—	—	7	7	6	—	10	—	9	15	14
C44	—	—	7	1		—	0	0	—	0	0	—	0	0	—	—
C50	0	—	0	13		34	43	58	32	—	5	31	0	0	0	—
C53	21	15	14	9		0	—	0	5	0	—	—	—	—	—	—
C54	7	8	7	8		0	0	0	—	0	0	0	—	—	—	0
C56	—	—	—	—		—	0	0	—	0	—	—	0	—	—	0
C61	41	33	32	46		9	—	10	16	—	—	7	—	5	9	6
C64	13	25	17	16		0	0	0	—	—	0	0	0	—	—	4
C67	—	13	13	11		—	—	0	—	12	—	7	—	—	—	—
C73	0	0	0	—		0	0	0	0	—	—	—	0	5	0	0

がん腫別統計

1. 食道 Esophagus (ICD-0 C15)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

食道（C15）治療別件数

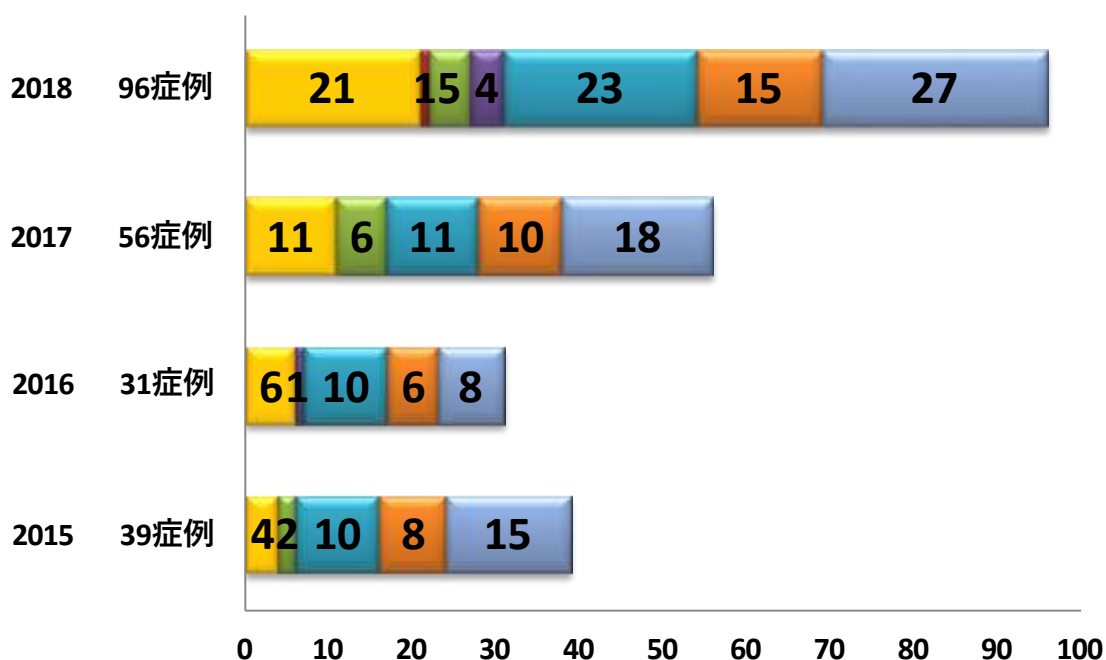
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

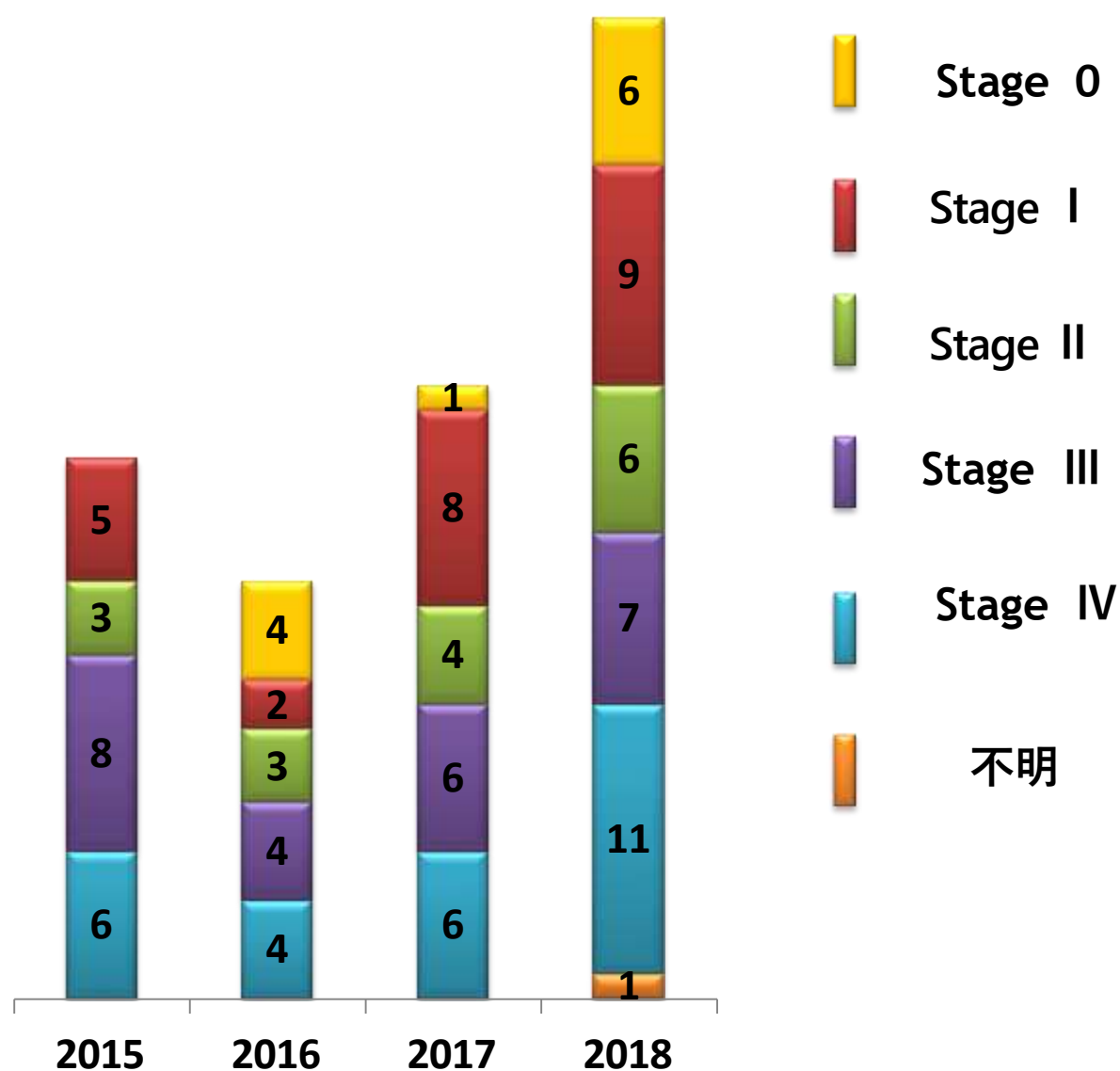


	2015 39症例	2016 31症例	2017 56症例	2018 96症例
■ 手術のみ	4	6	11	21
■ 手術 + 放射線	0	0	0	1
■ 手術 + 化学療法	2	0	6	5
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	1	0	4
■ 放射線のみ	10	10	11	23
■ 放射線 + 化学療法	8	6	10	15
■ 化学療法	15	8	18	27
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

食道 (C15)治療前ステージ

*治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

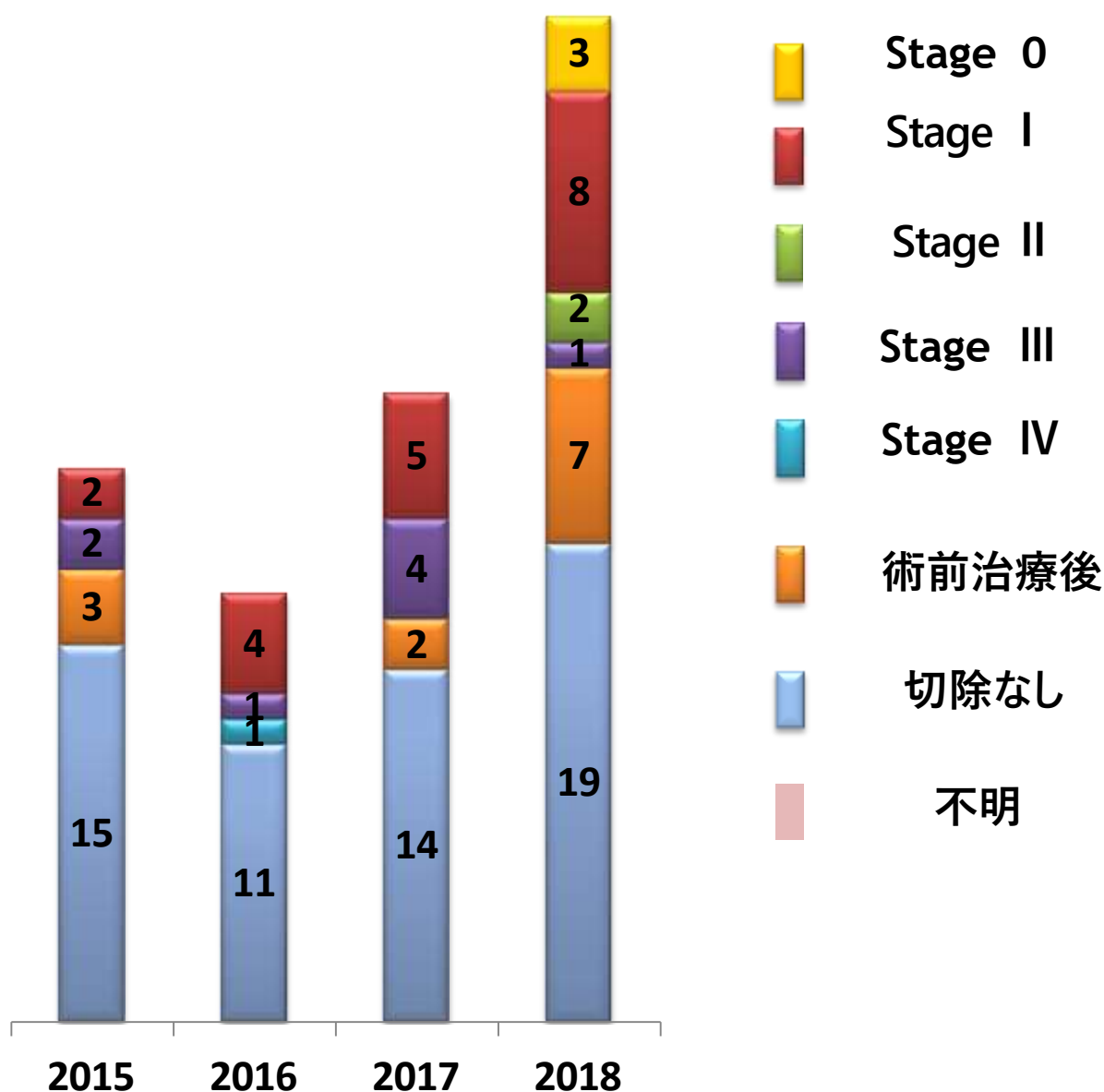
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



食道 (C15)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



2. 胃 Stomach (ICD-0 C16)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

胃 (C16) 治療別件数

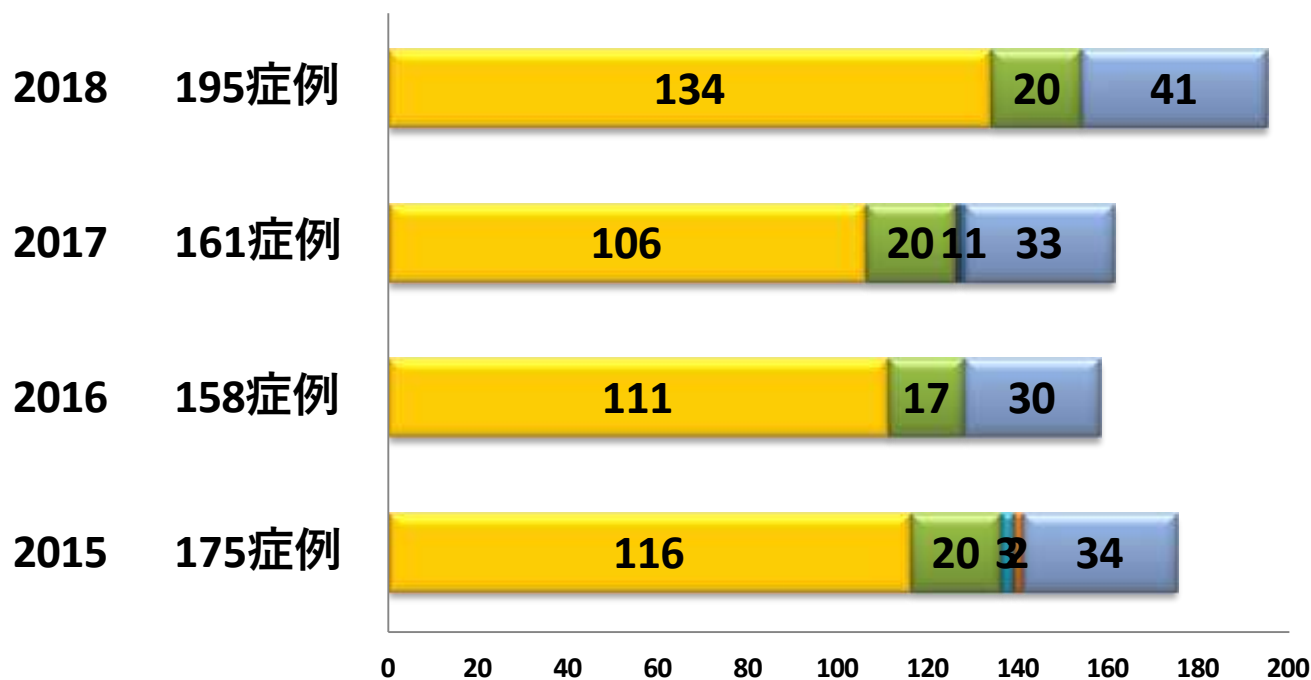
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

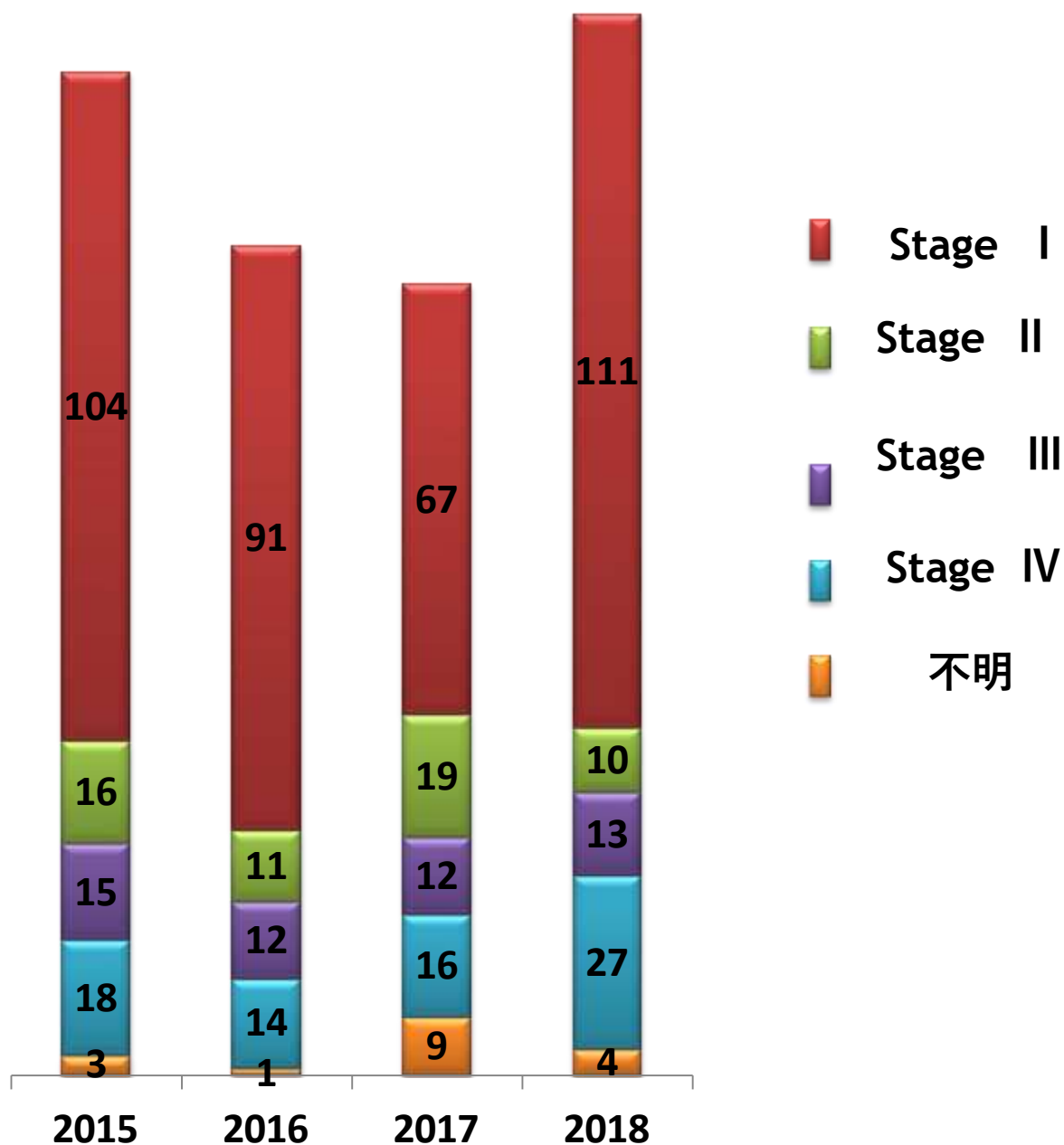


	2015	2016	2017	2018
■ 手術のみ	116	111	106	134
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0
■ 手術 + 化学療法	20	17	20	20
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	1	0
■ 放射線のみ	3	0	1	0
■ 放射線 + 化学療法	2	0	0	0
■ 化学療法	34	30	33	41
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

胃 (C16)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

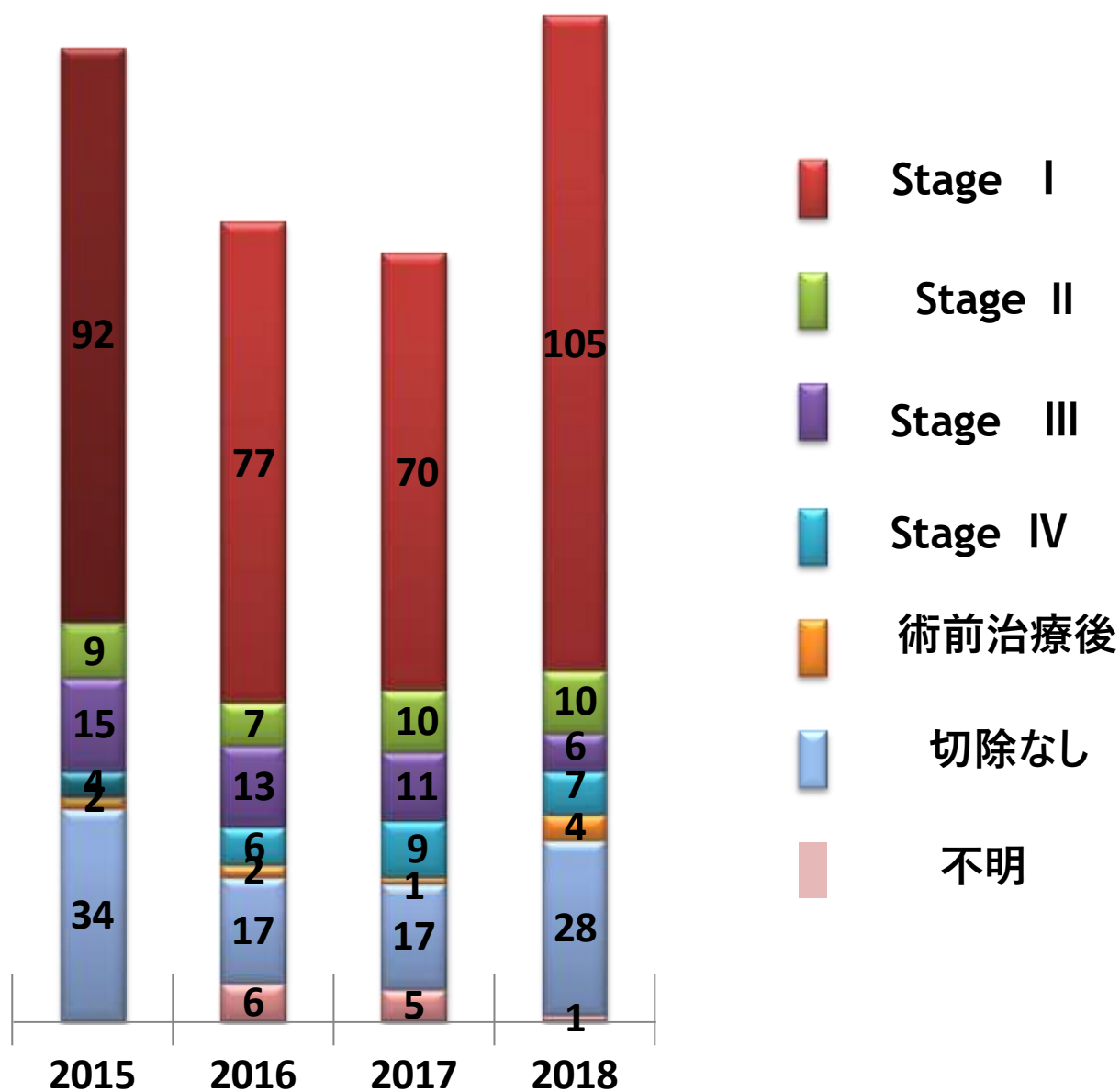
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



胃 (C16)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



3. 結腸および直腸

Colon and Rectum

(ICD-0 C18, C19, C20)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者み。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

結腸および直腸（C18-C20） 治療別件数

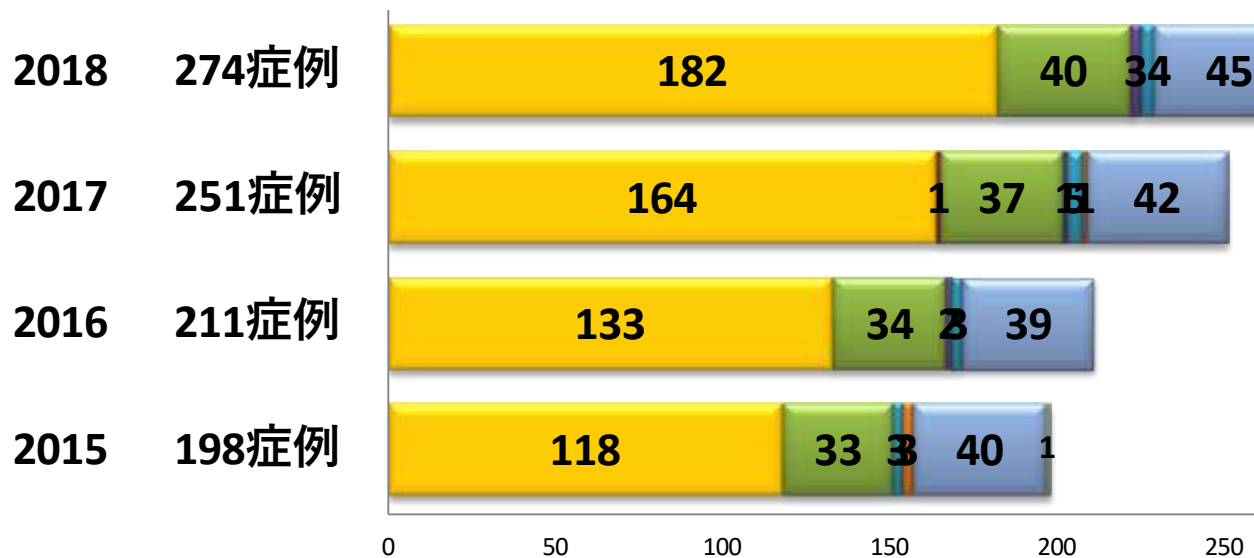
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

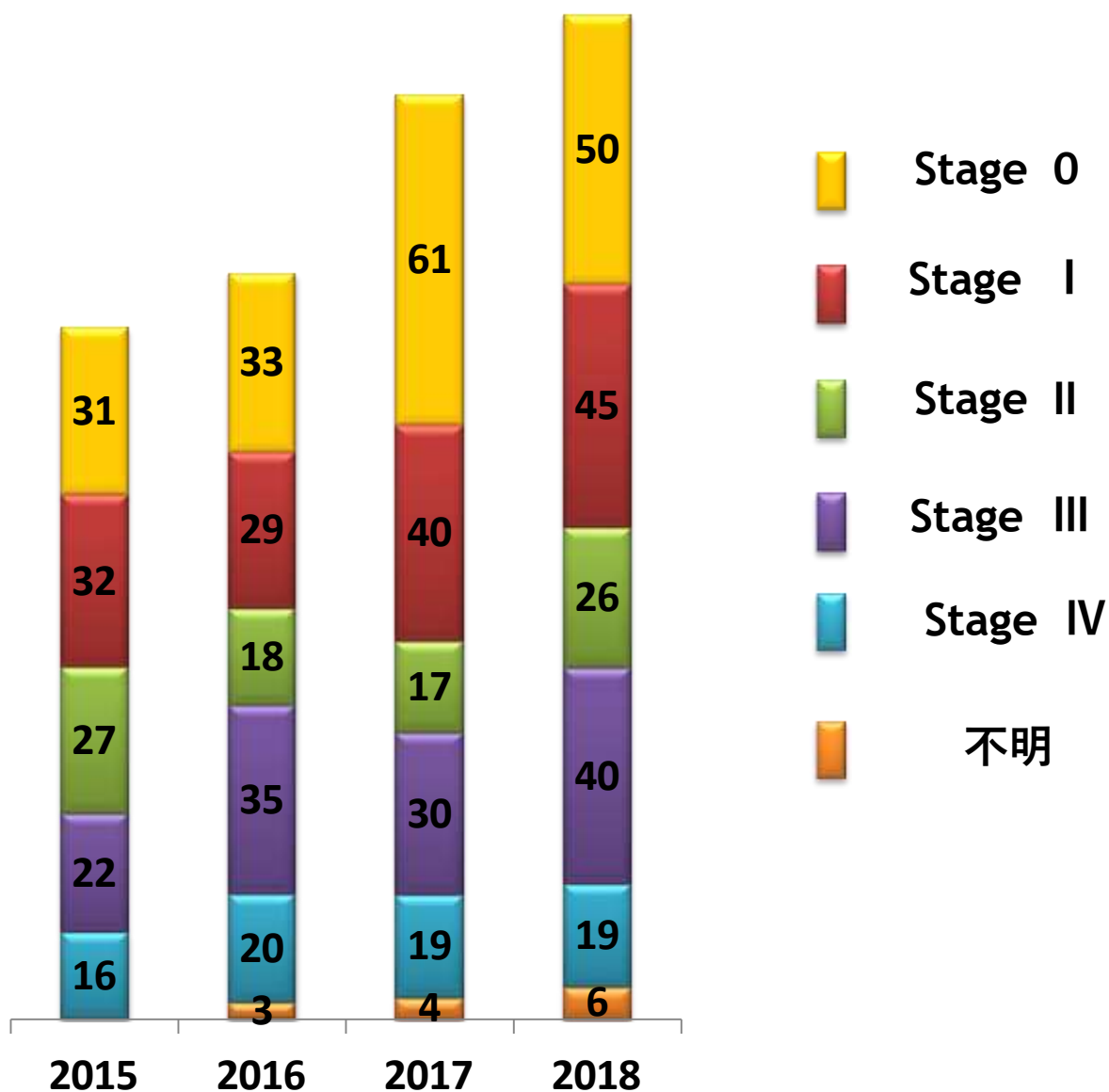


	2015 198症例	2016 211症例	2017 251症例	2018 274症例
■ 手術のみ	118	133	164	182
■ 手術+放射線	0	0	1	0
■ 手術+化学療法	33	34	37	40
■ 手術+放射線+化学療法	0	2	1	3
■ 放射線のみ	3	3	5	4
■ 放射線+化学療法	3	0	1	0
■ 化学療法	40	39	42	45
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	1	—	—	—

結腸および直腸 (C18-20) 治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

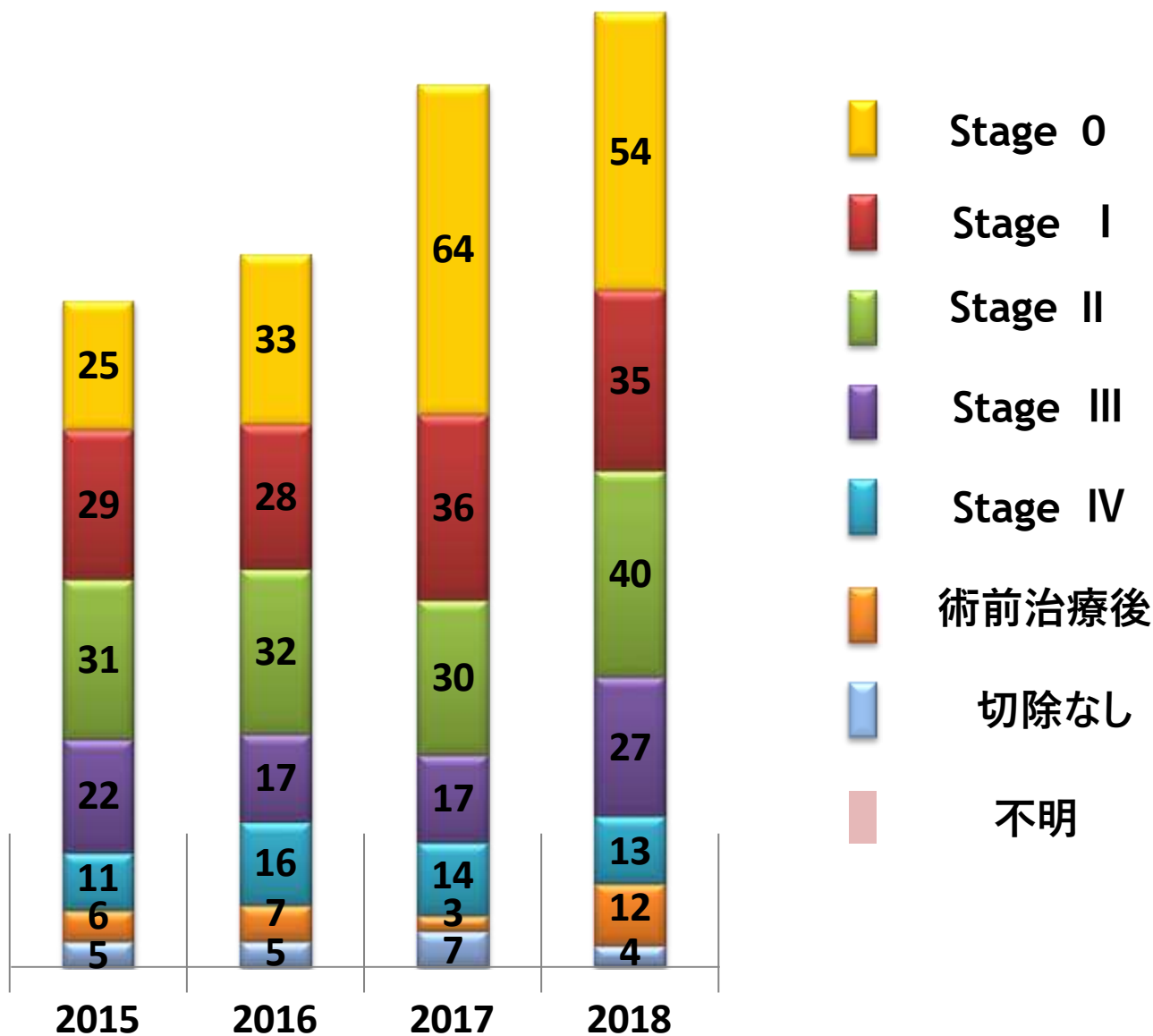
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



結腸および直腸（C18-20） 治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



4. 肝臓 Liver (ICD-0 C22)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

肝臓 (C22) 治療別件数

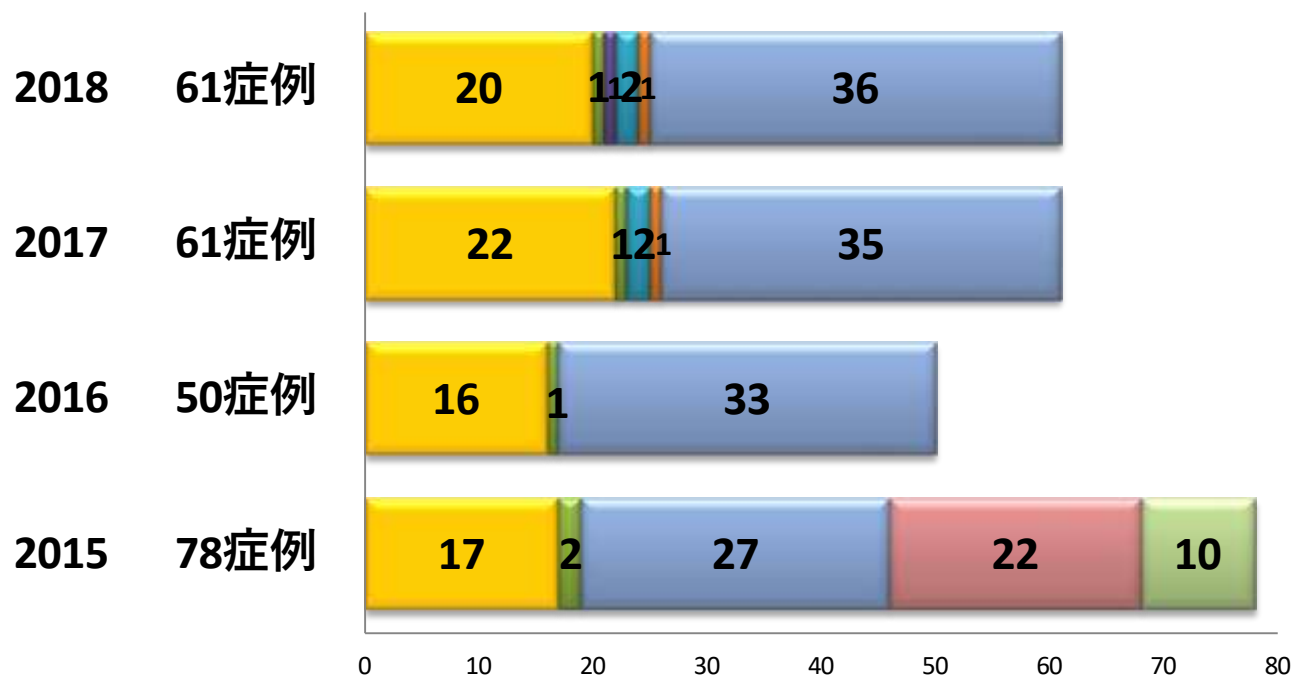
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

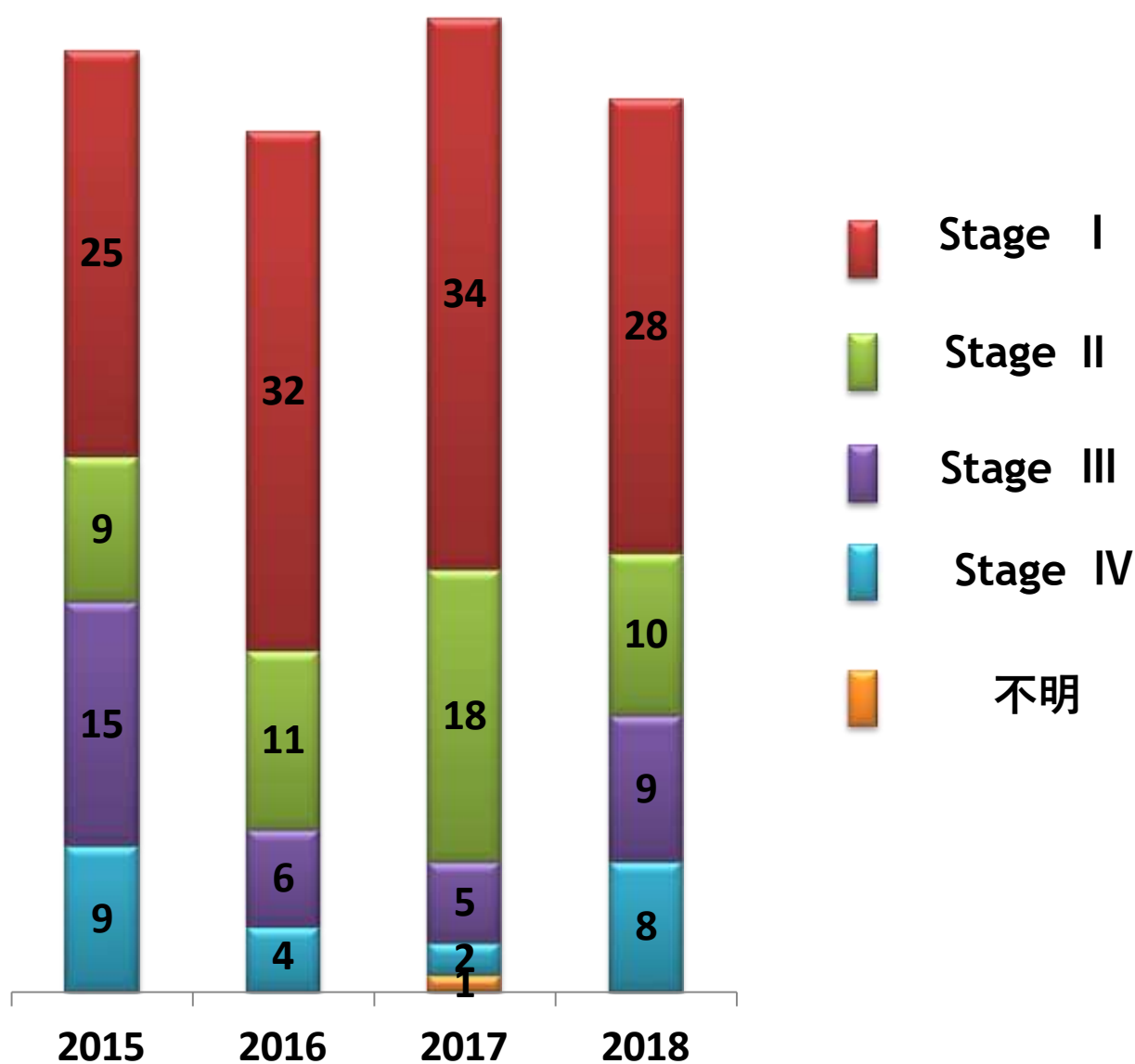


	2015 78症例	2016 50症例	2017 61症例	2018 61症例
■ 手術のみ	17	16	22	20
■ 手術＋放射線	0	0	0	0
■ 手術＋化学療法	2	1	1	1
■ 手術＋放射線＋化学療法	0	0	0	1
■ 放射線のみ	0	0	2	2
■ 放射線＋化学療法	0	0	1	1
■ 化学療法	27	33	35	36
■ TAE	22	_____	_____	_____
■ RFA	10	_____	_____	_____

肝臓 (C22)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

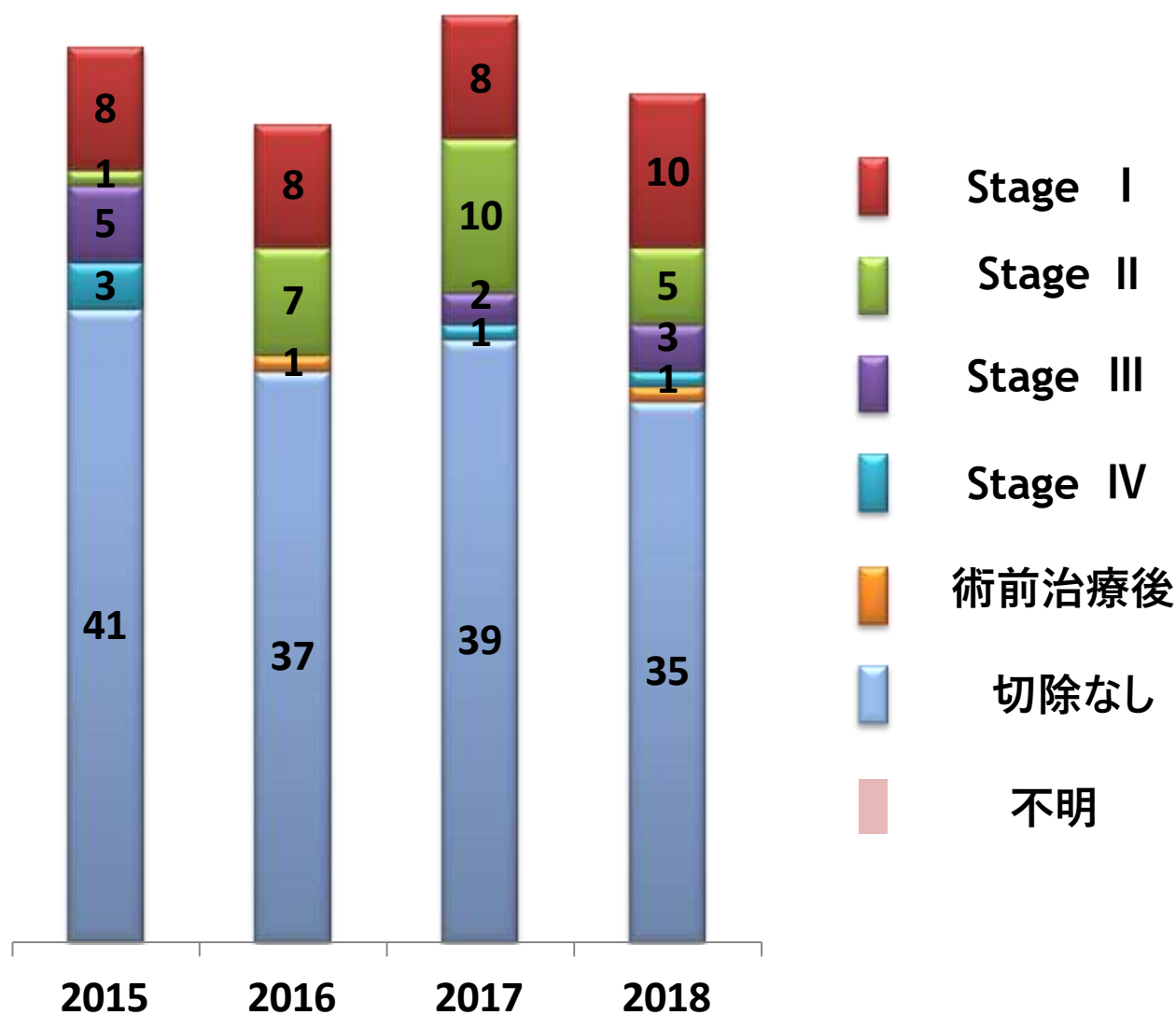
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



肝臓 (C22) 治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



5. 胆管 Bile duct (ICD-0 C24)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

胆管 (C24) 治療別件数

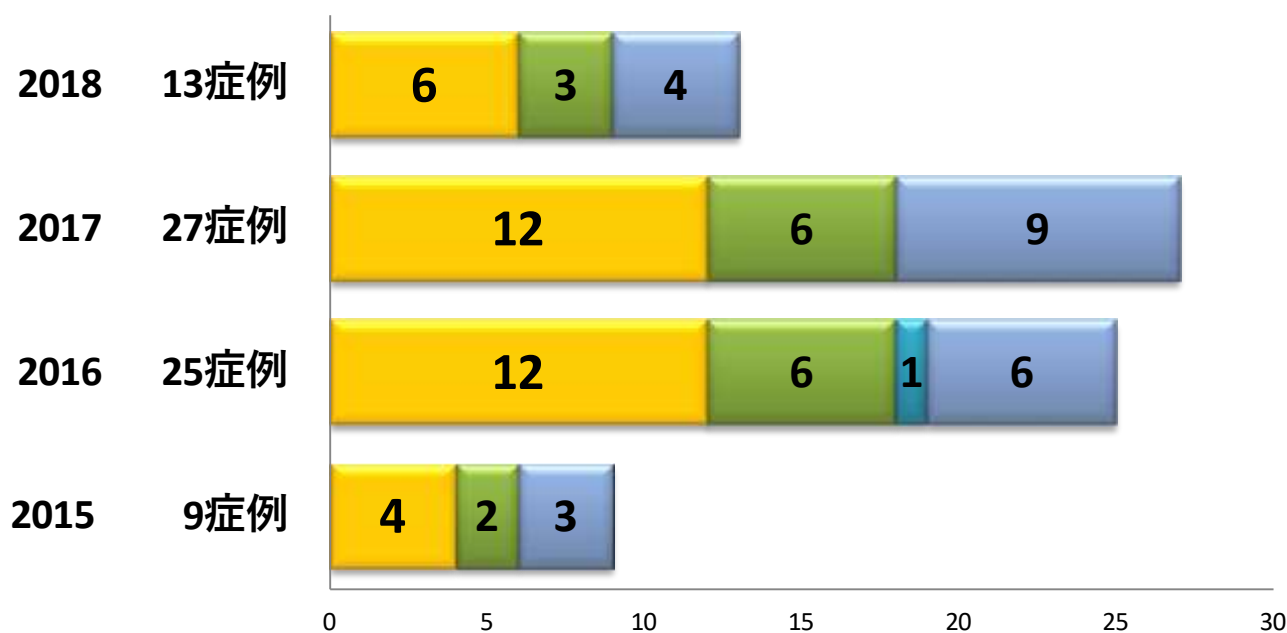
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

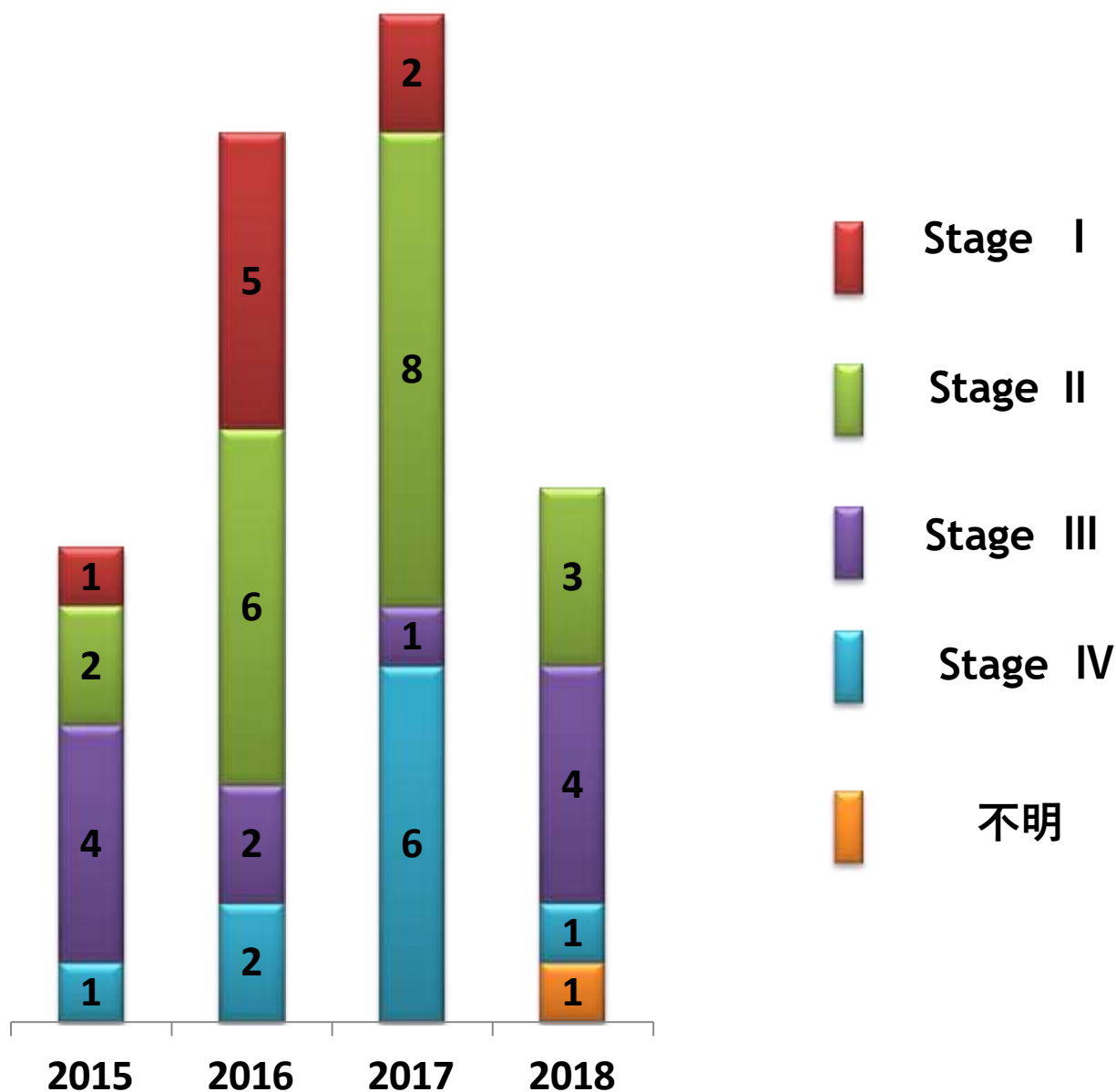


	2015 9症例	2016 25症例	2017 27症例	2018 13症例
■ 手術のみ	4	12	12	6
■ 手術+放射線	0	0	0	0
■ 手術+化学療法	2	6	6	3
■ 手術+放射線+化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	0	1	0	0
■ 放射線+化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法	3	6	9	4
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

胆管 (C24)治療前ステージ

*治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

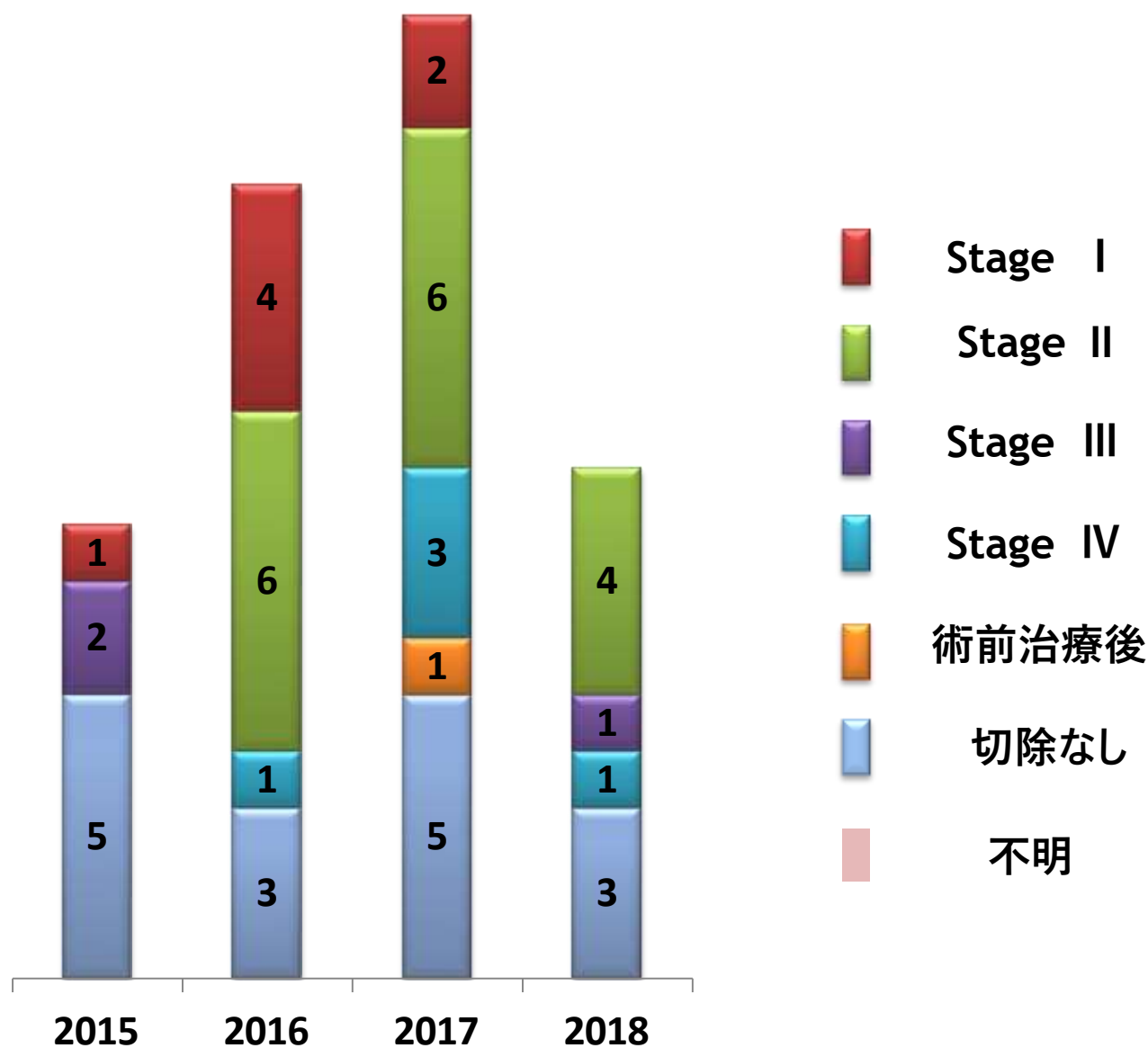
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



胆管 (C24)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



6. 膵臓 Pancreas (ICD-0 C25)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

膵臓 (C25) 治療別件数

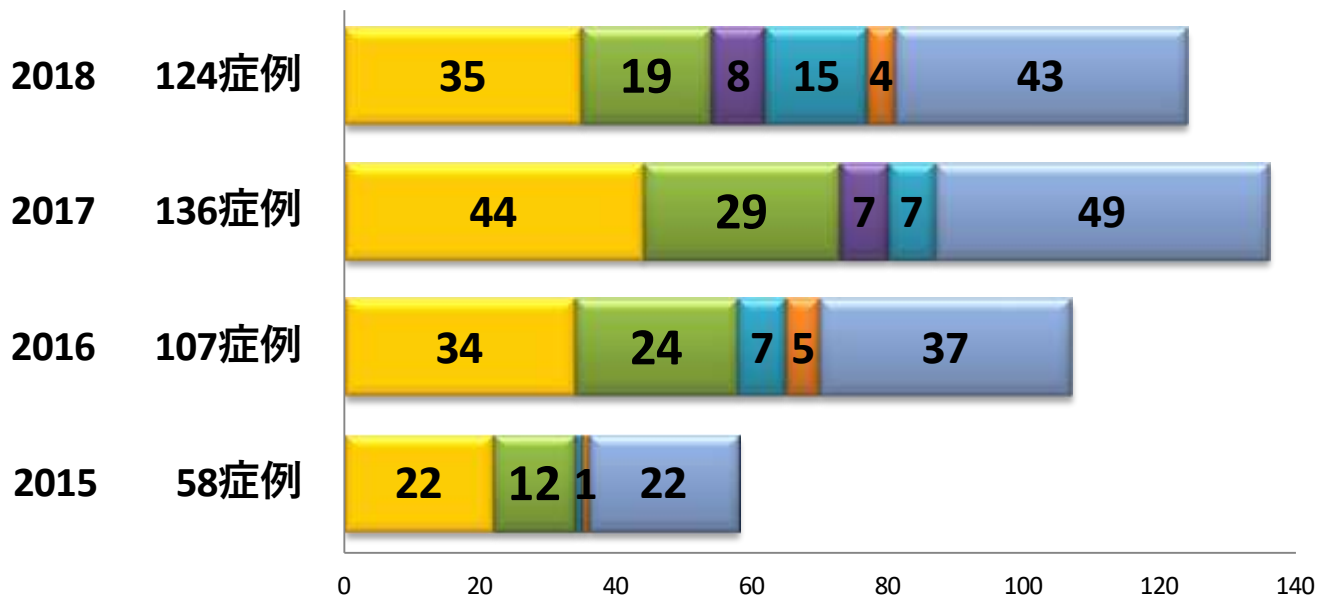
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

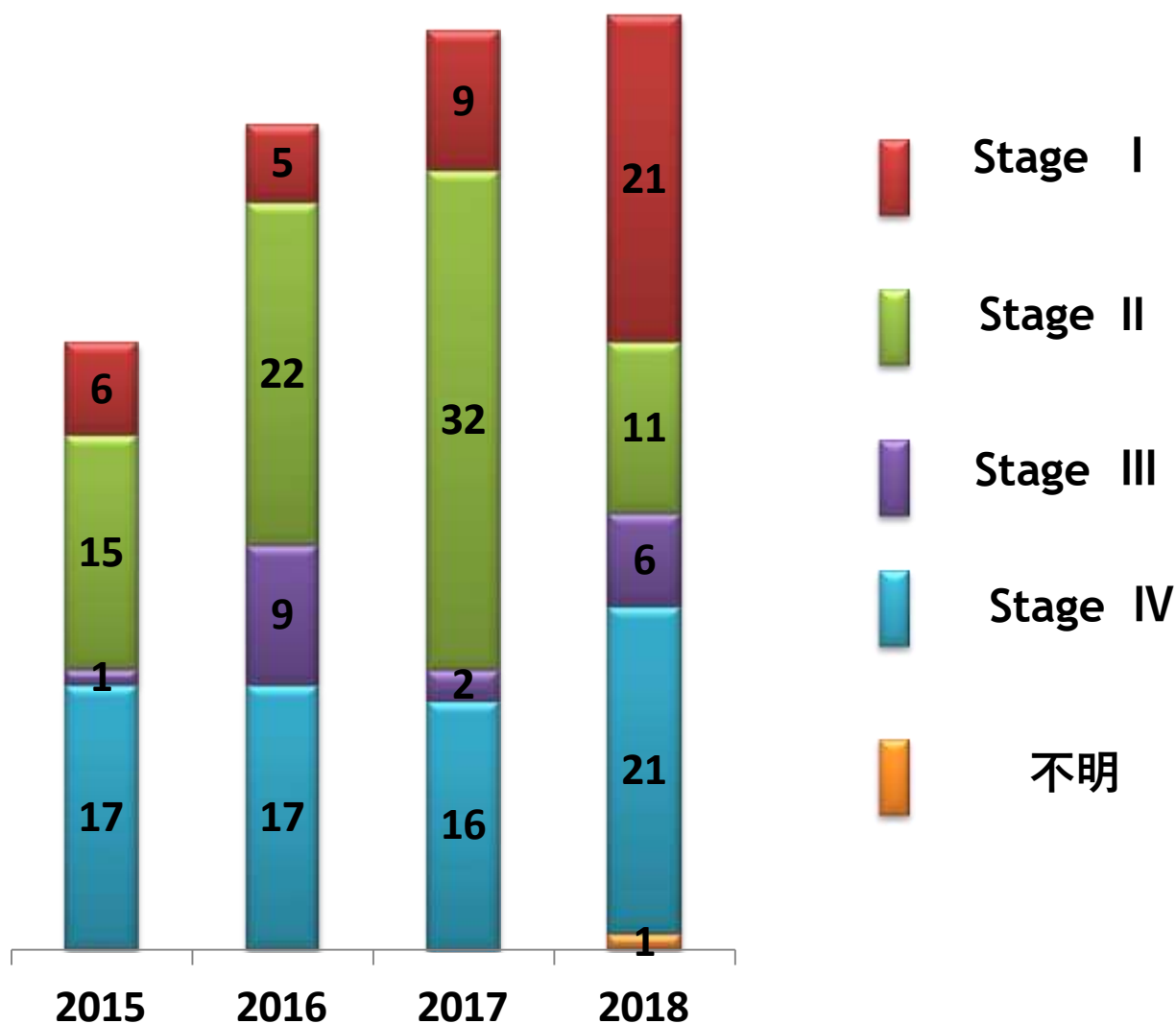


	2015	2016	2017	2018
■ 手術のみ	22	34	44	35
■ 手術＋放射線	0	0	0	0
■ 手術＋化学療法	12	24	29	19
■ 手術＋放射線＋化学療法	0	0	7	8
■ 放射線のみ	1	7	7	15
■ 放射線＋化学療法	1	5	0	4
■ 化学療法	22	37	49	43
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

膵臓 (C25)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

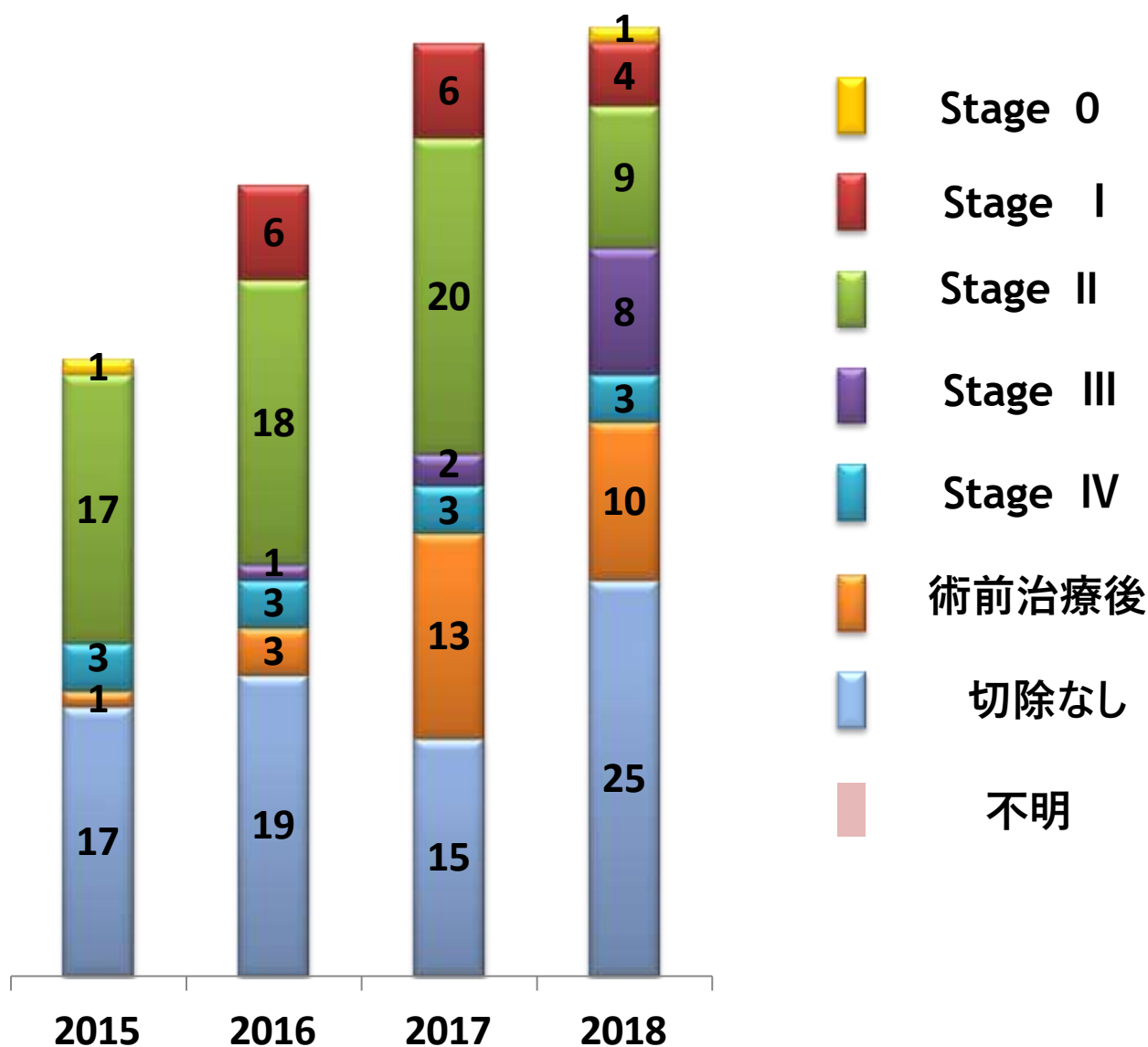
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



膵臓 (C25)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



7. 肺 Lung (ICD-0 C34)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

肺 (C34) 治療別件数

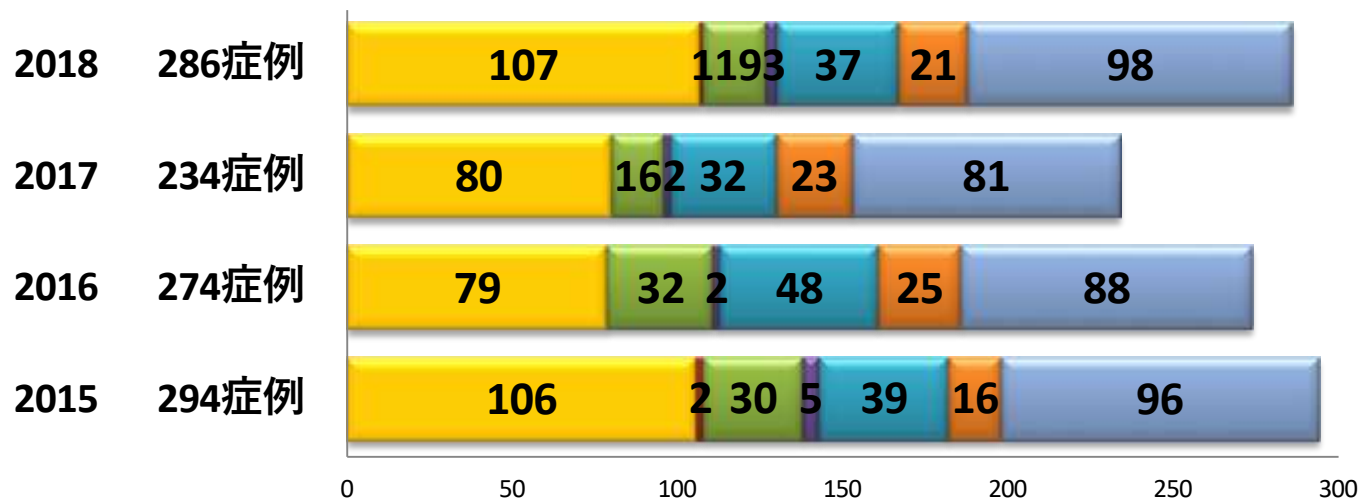
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

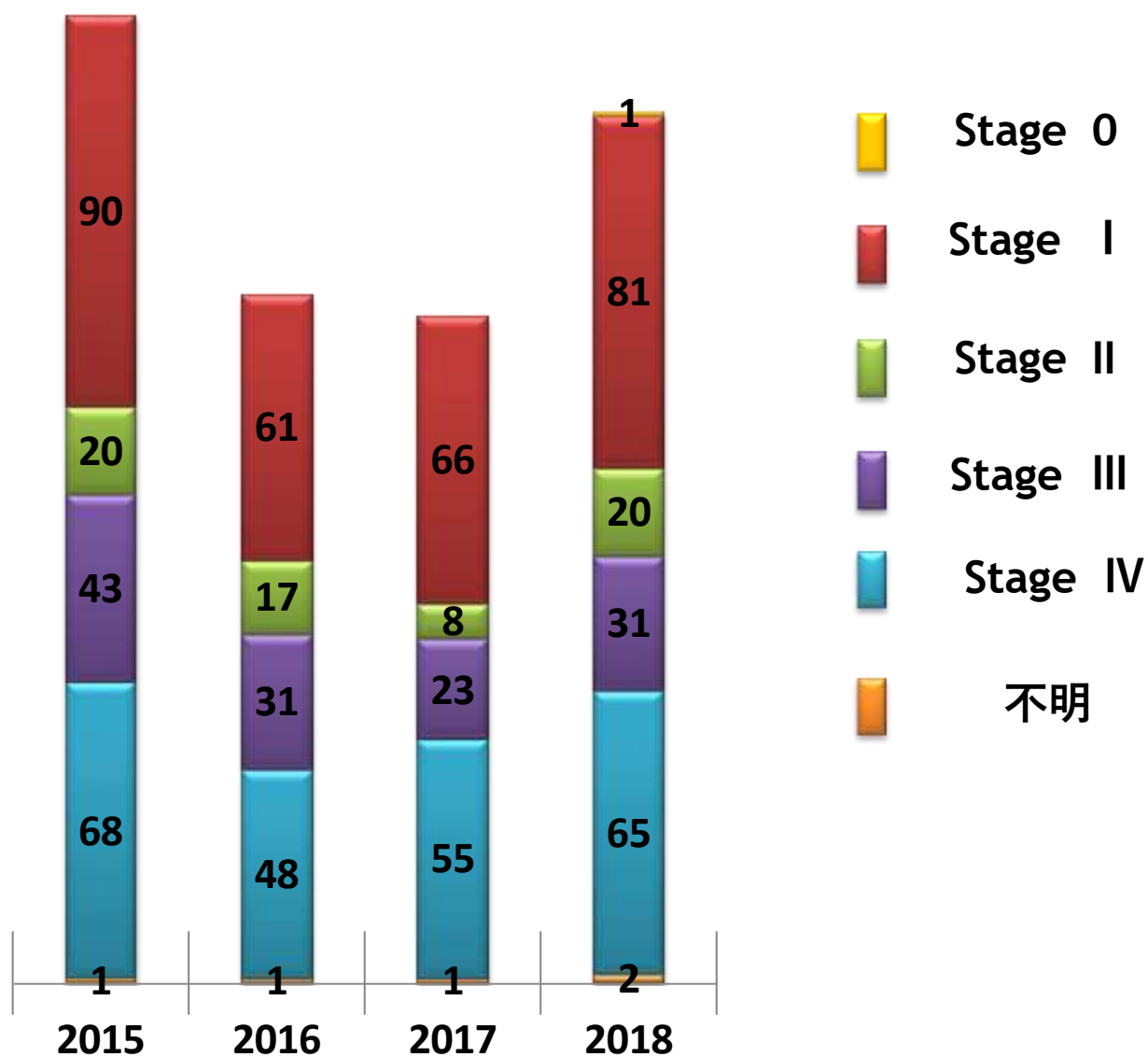


	2015	2016	2017	2018
2015 294症例	294	274	234	286
■手術のみ	106	79	80	107
■手術＋放射線	2	0	0	1
■手術＋化学療法	30	32	16	19
■手術＋放射線＋化学療法	5	2	2	3
■放射線のみ	39	48	32	37
■放射線＋化学療法	16	25	23	21
■化学療法	96	88	81	98
■TAE	0	—	—	—
■RFA	0	—	—	—

肺 (C34)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

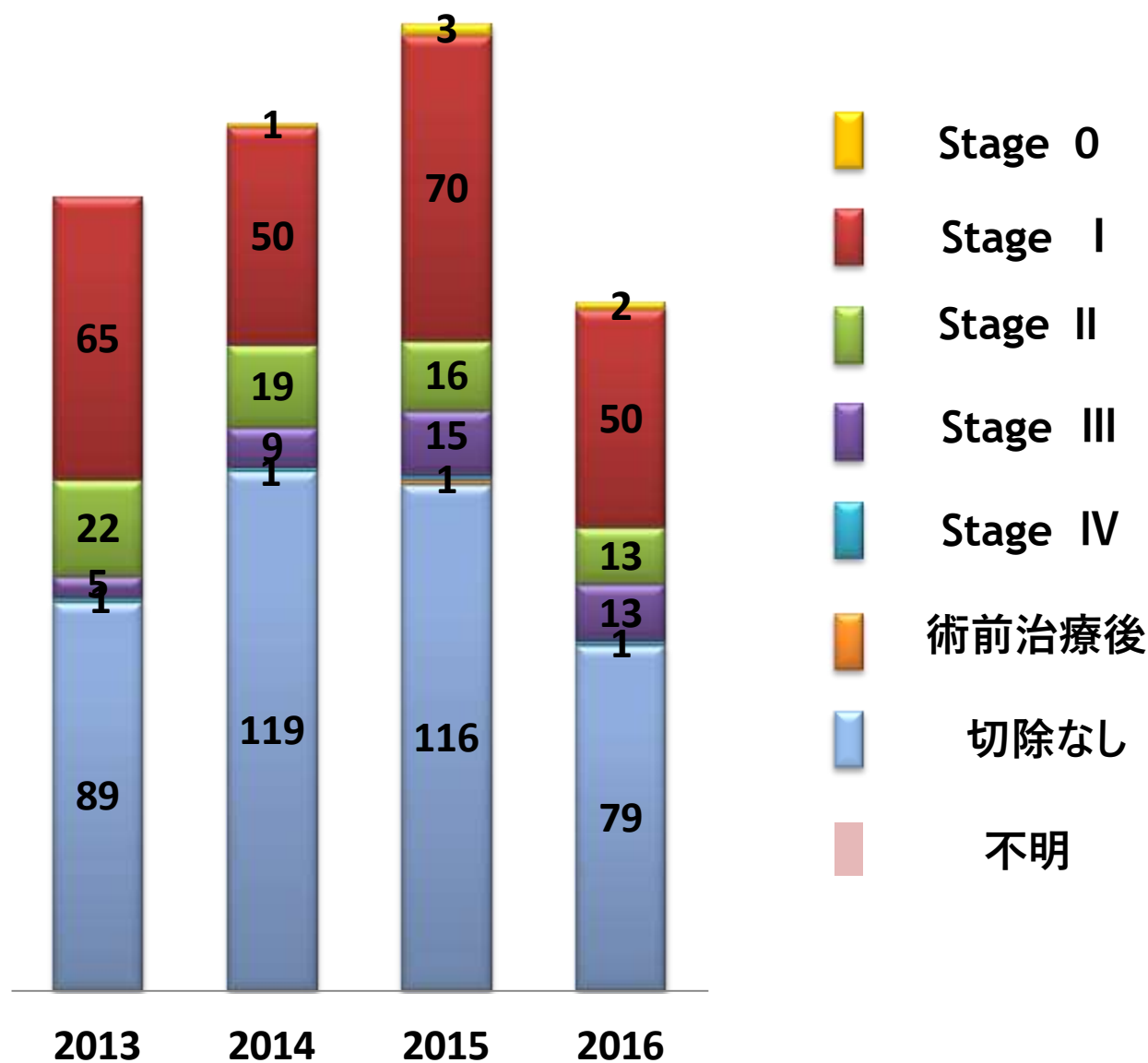
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



肺 (C34)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



8. 皮膚 Skin

(ICD-0 C44)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

皮膚（C44）治療別件数

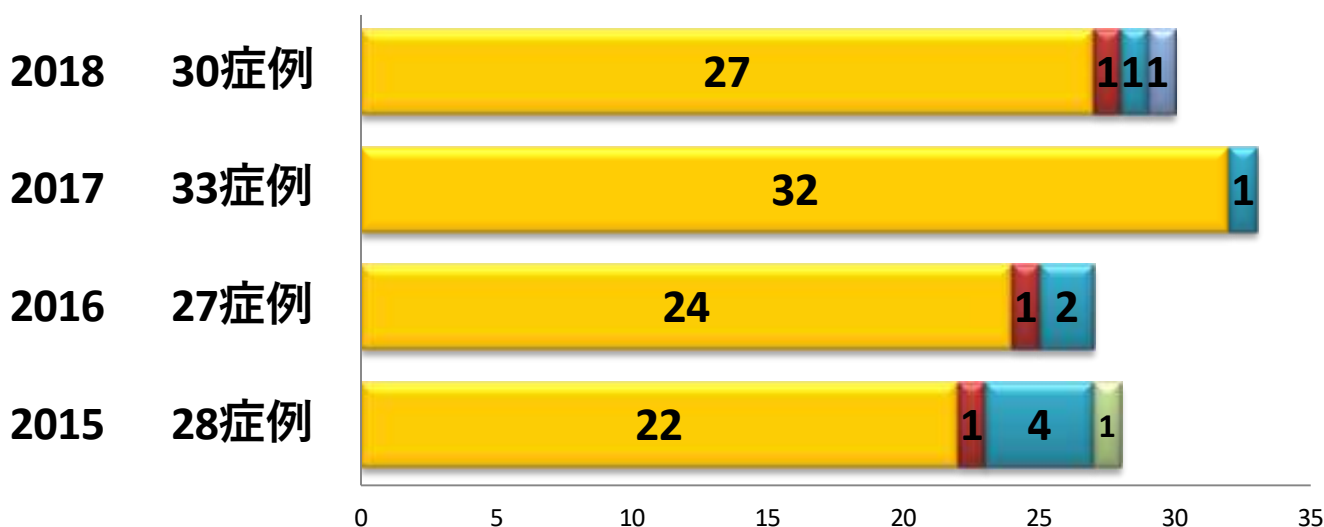
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

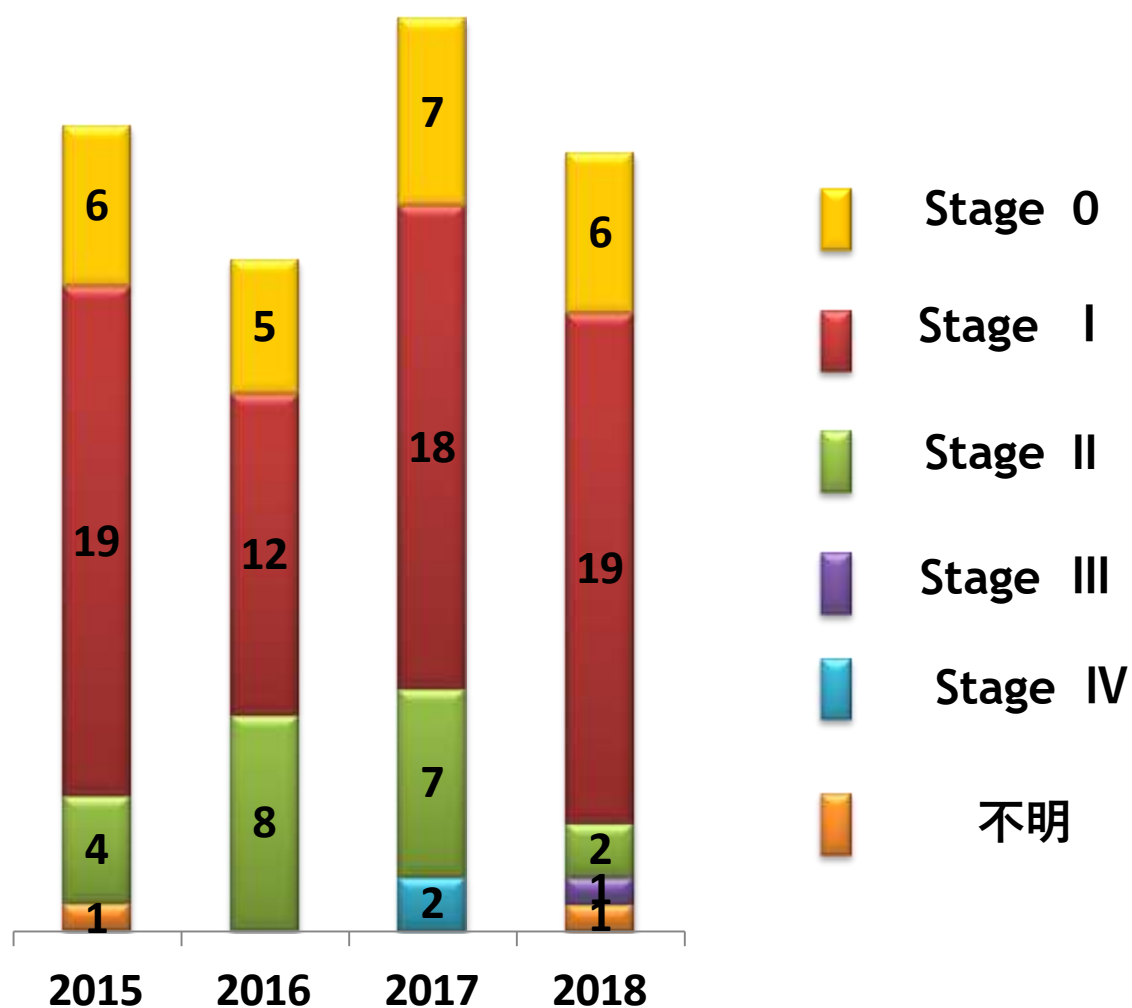


	2015 28症例	2016 27症例	2017 33症例	2018 30症例
■ 手術のみ	22	24	32	27
■ 手術＋放射線	1	1	0	1
■ 手術＋化学療法	0	0	0	0
■ 手術＋放射線＋化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	4	2	1	1
■ 放射線＋化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法	0	0	0	1
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	1	—	—	—

皮膚 (C44)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

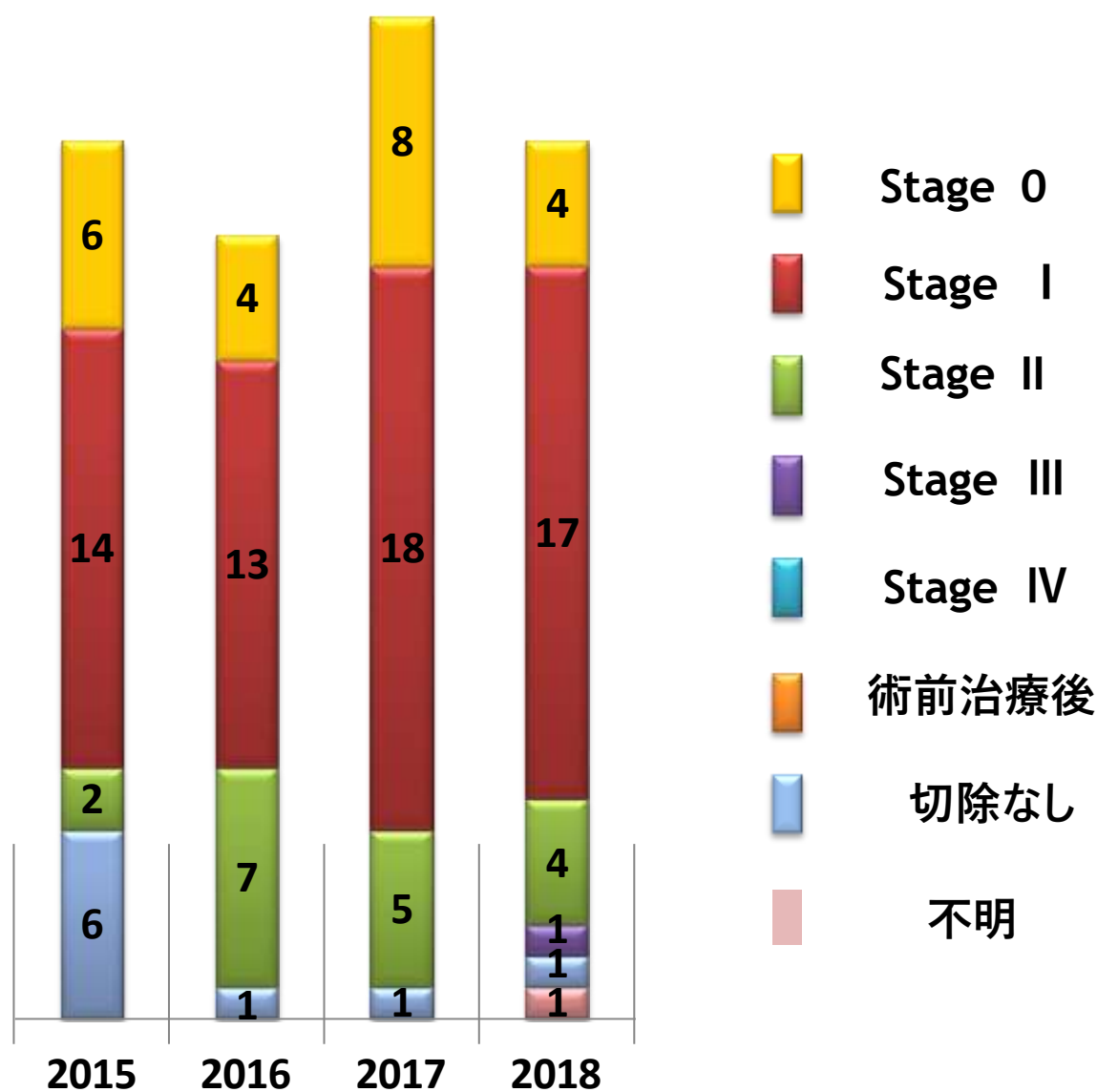
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



皮膚 (C44)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



9. 乳腺 Breast (ICD-0 C50)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

乳腺（C50）治療別件数

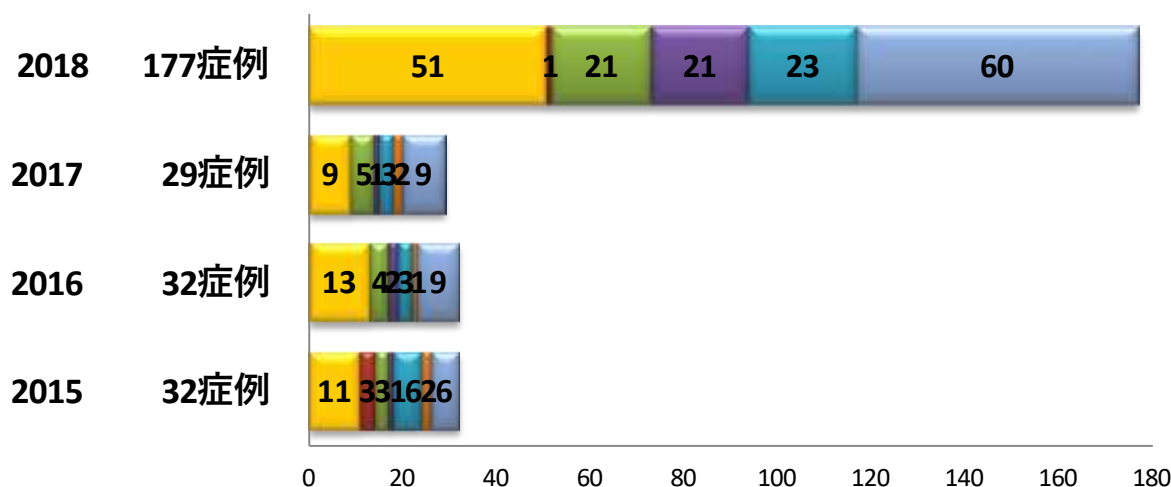
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

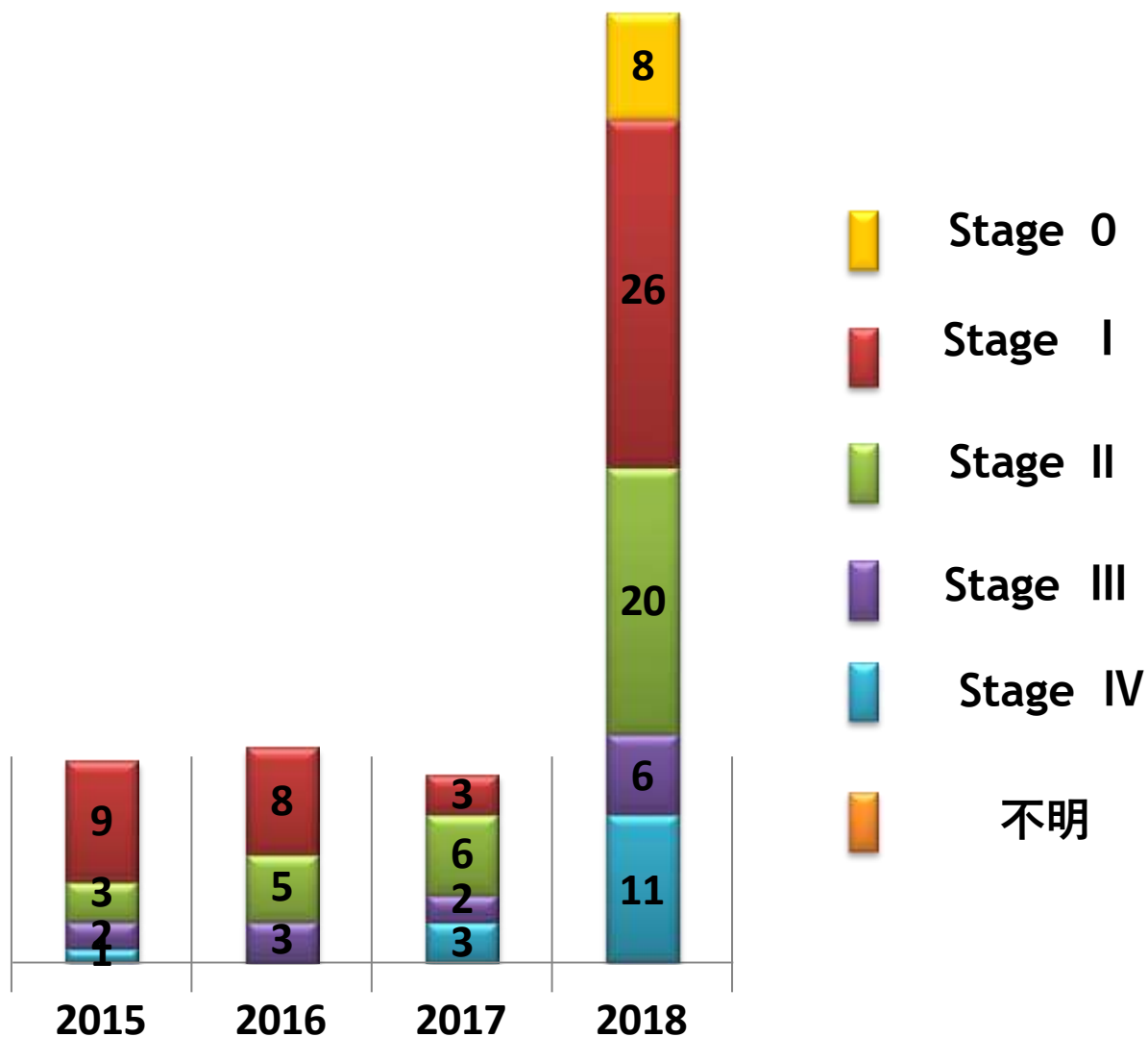


	2015	2016	2017	2018
■ 手術のみ	11	13	9	51
■ 手術＋放射線	3	0	0	1
■ 手術＋化学療法	3	4	5	21
■ 手術＋放射線＋化学療法	1	2	1	21
■ 放射線のみ	6	3	3	23
■ 放射線＋化学療法	2	1	2	0
■ 化学療法	6	9	9	60
■ TAE	0	0	0	0
■ RFA	0	0	0	0

乳腺 (C50)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

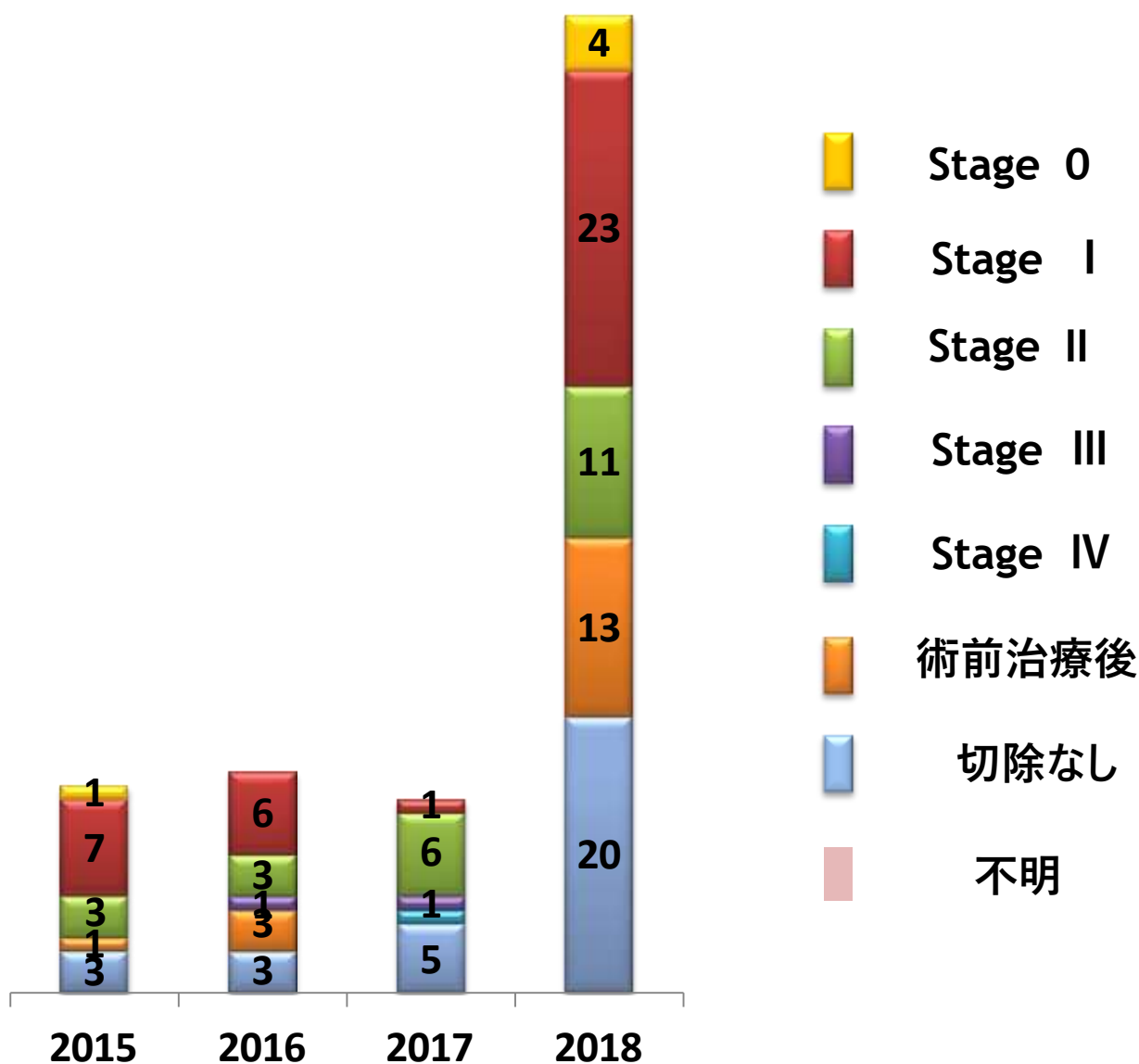
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



乳腺 (C50)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



10. 子宮頸部 Cervix uteri (ICD-0 C53)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

子宮頸部（C53）治療別件数

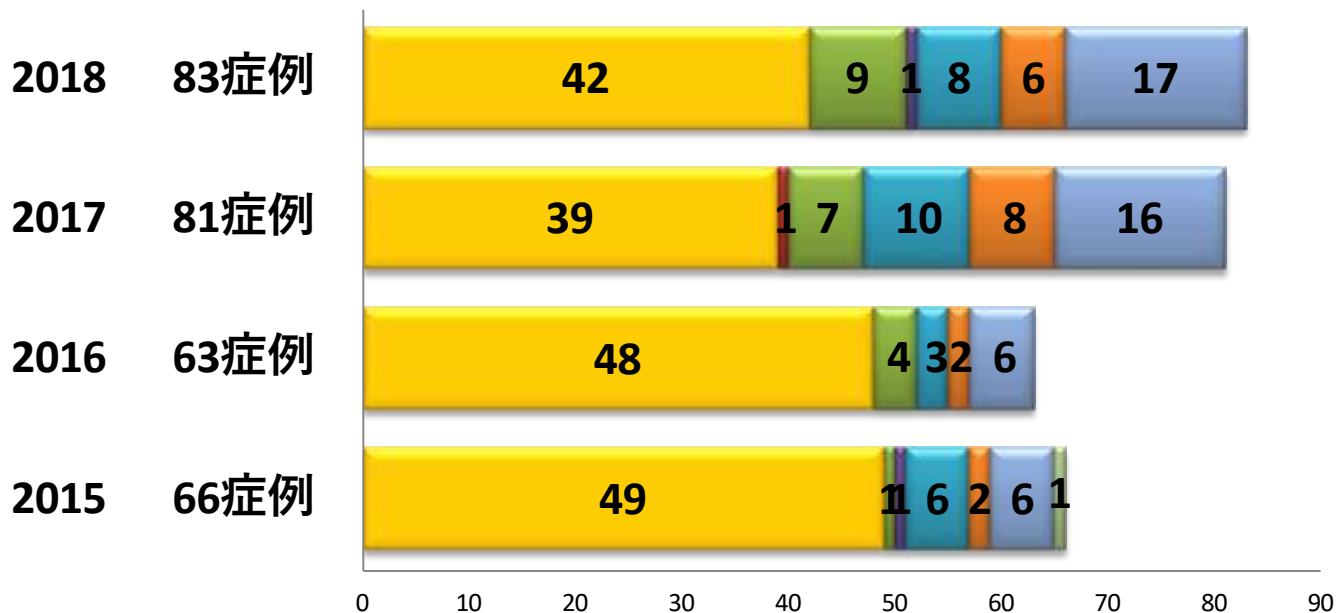
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

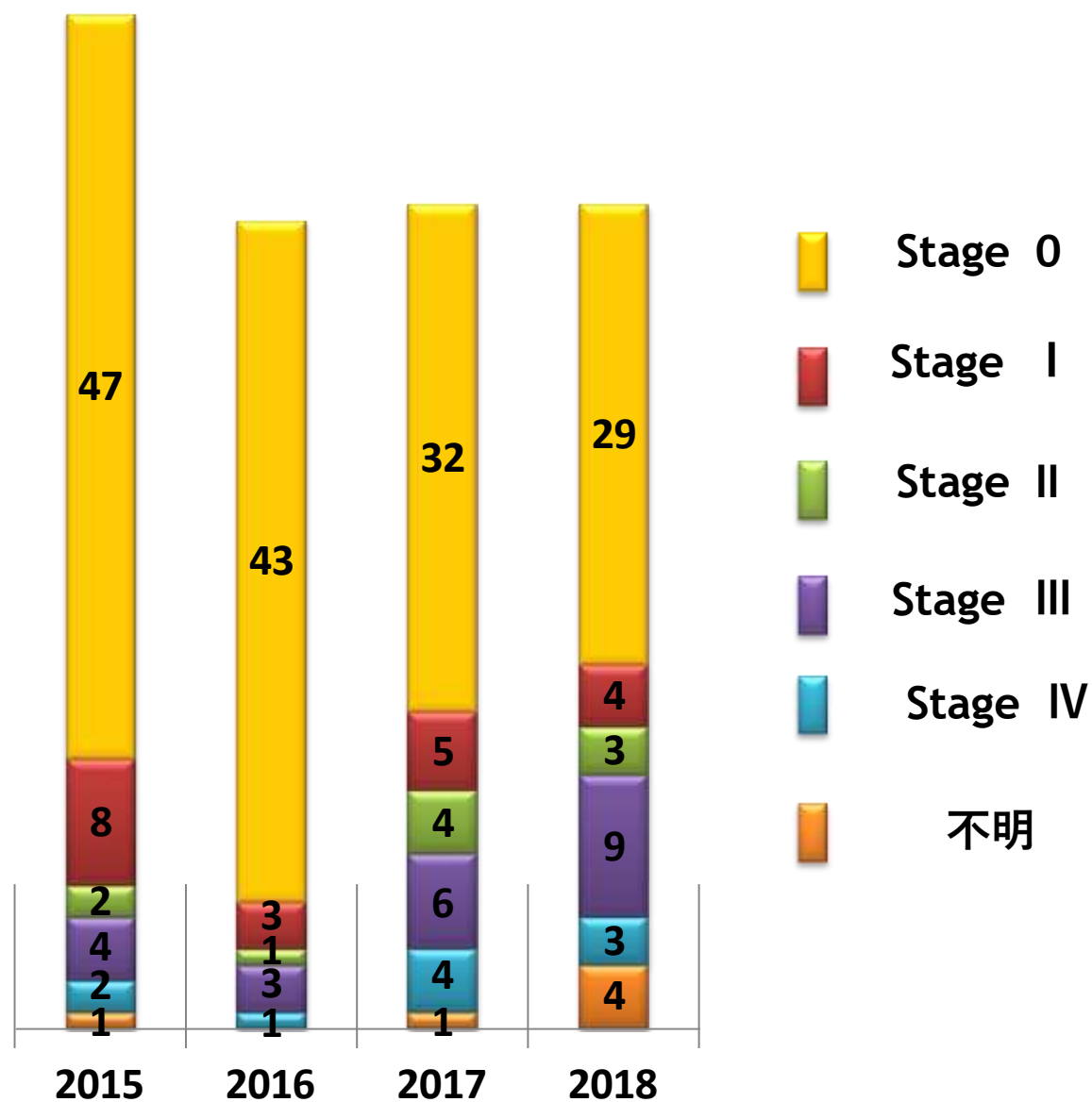


	2015 66症例	2016 63症例	2017 81症例	2018 83症例
■ 手術のみ	49	48	39	42
■ 手術＋放射線	0	0	1	0
■ 手術＋化学療法	1	4	7	9
■ 手術＋放射線＋化学療法	1	0	0	1
■ 放射線のみ	6	3	10	8
■ 放射線＋化学療法	2	2	8	6
■ 化学療法	6	6	16	17
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	1	—	—	—

子宮頸部 (C53)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

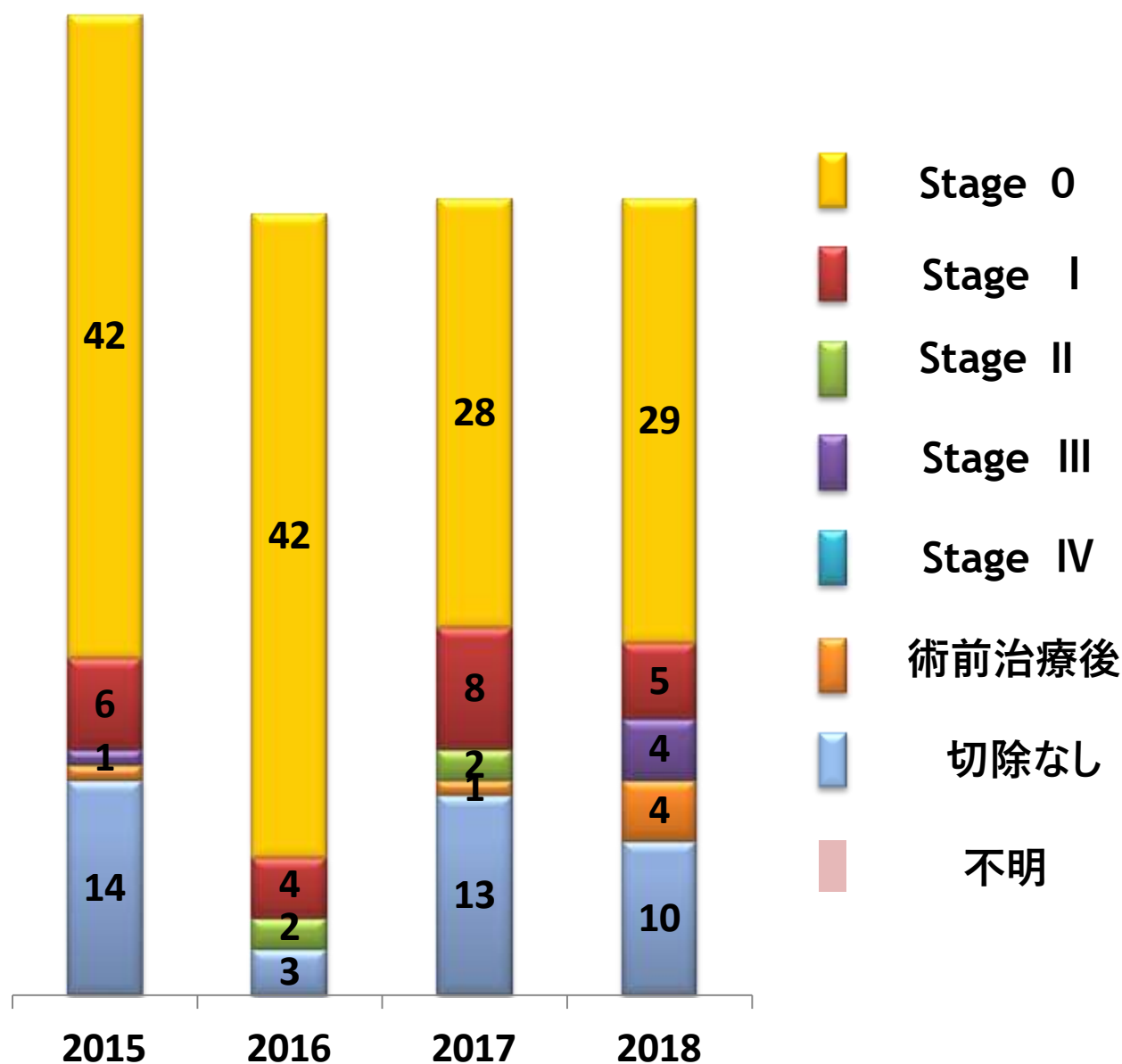
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



子宮頸部 (C53)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



11. 子宮体部 Corpus uteri (ICD-0 C54)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

子宮体部（C54）治療別件数

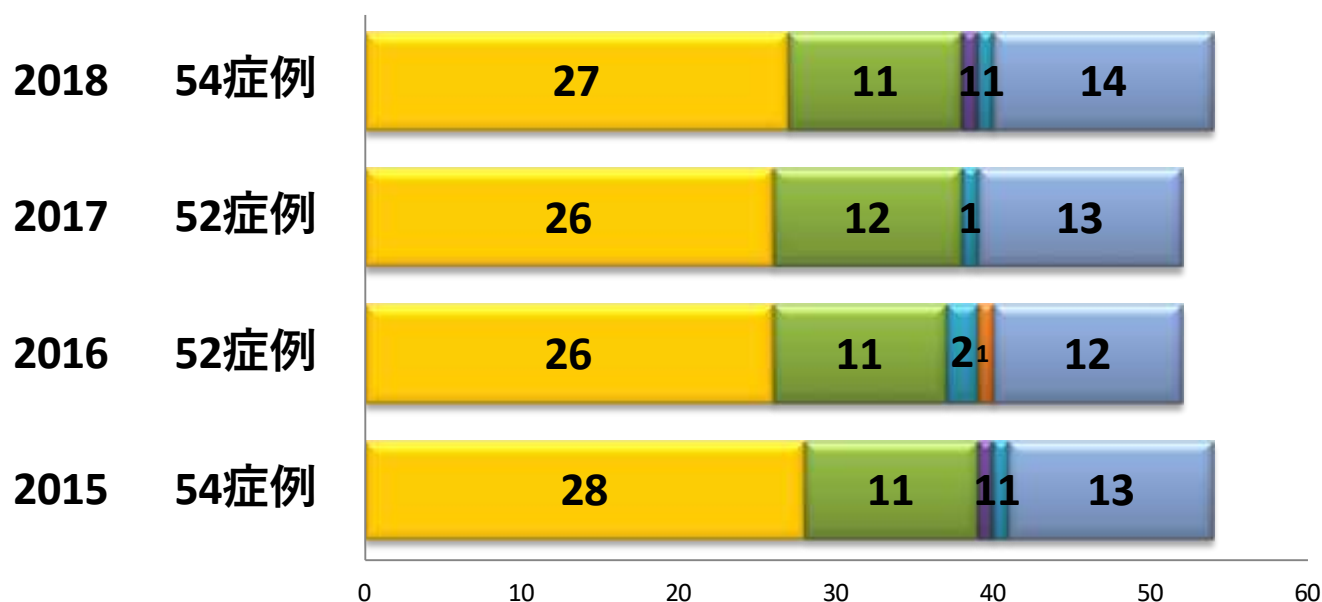
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

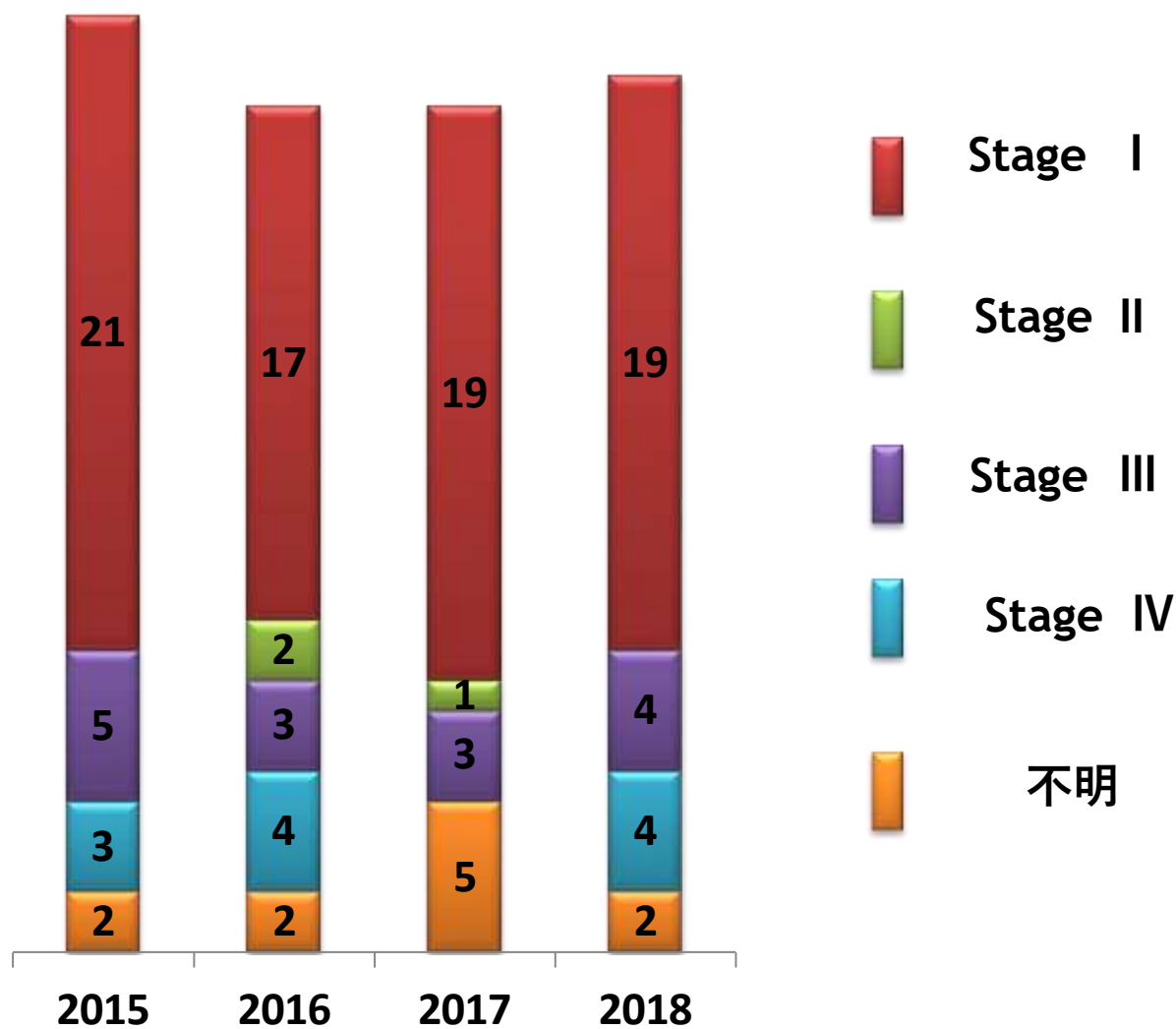


	2015 54症例	2016 52症例	2017 52症例	2018 54症例
■ 手術のみ	28	26	26	27
■ 手術＋放射線	0	0	0	0
■ 手術＋化学療法	11	11	12	11
■ 手術＋放射線＋化学療法	1	0	0	1
■ 放射線のみ	1	2	1	1
■ 放射線＋化学療法	0	1	0	0
■ 化学療法	13	12	13	14
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

子宮体部 (C54)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

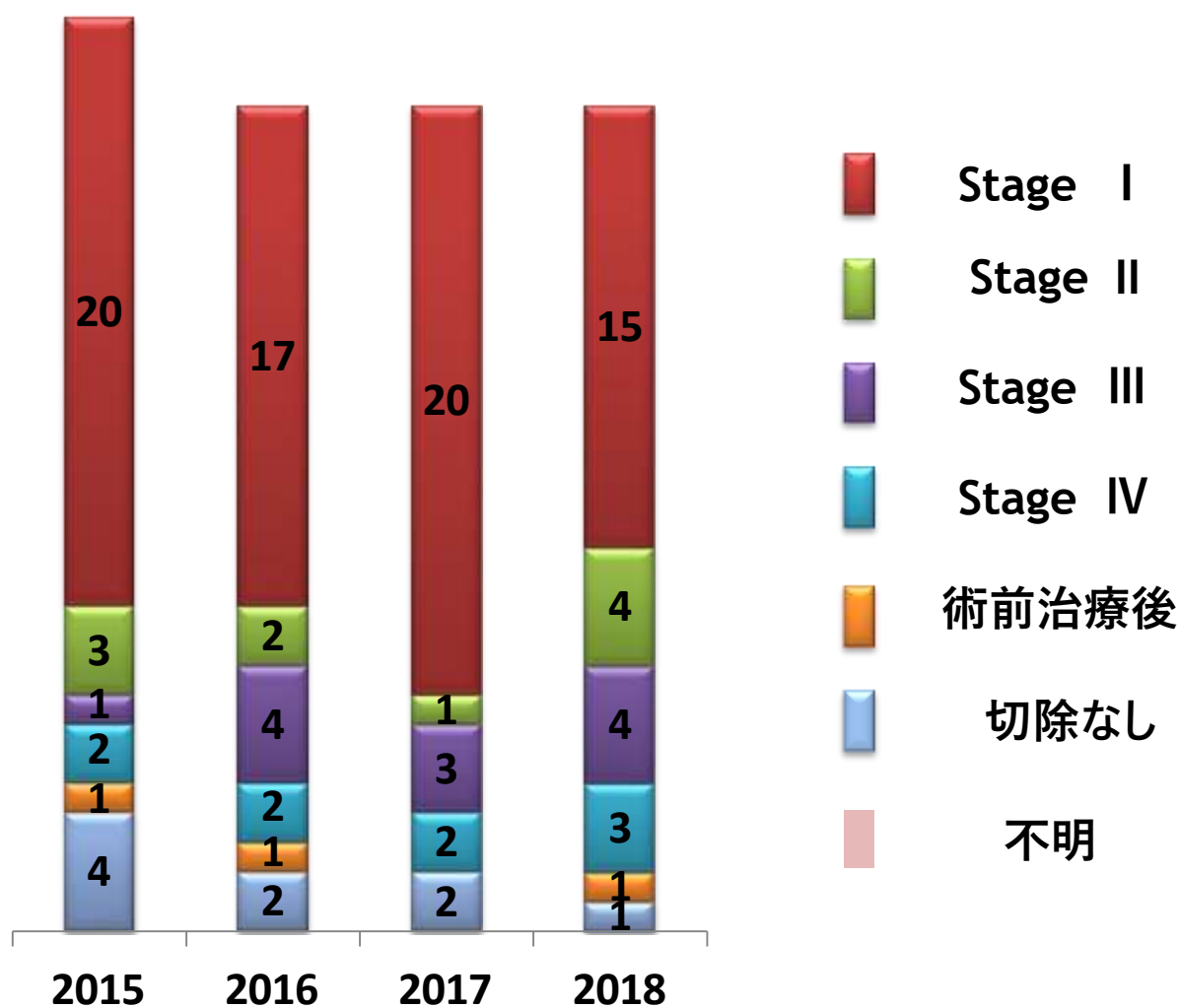
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



子宮体部 (C54)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



12 卵巣 Ovary (ICD-0 C56)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

卵巣（C56）治療別件数

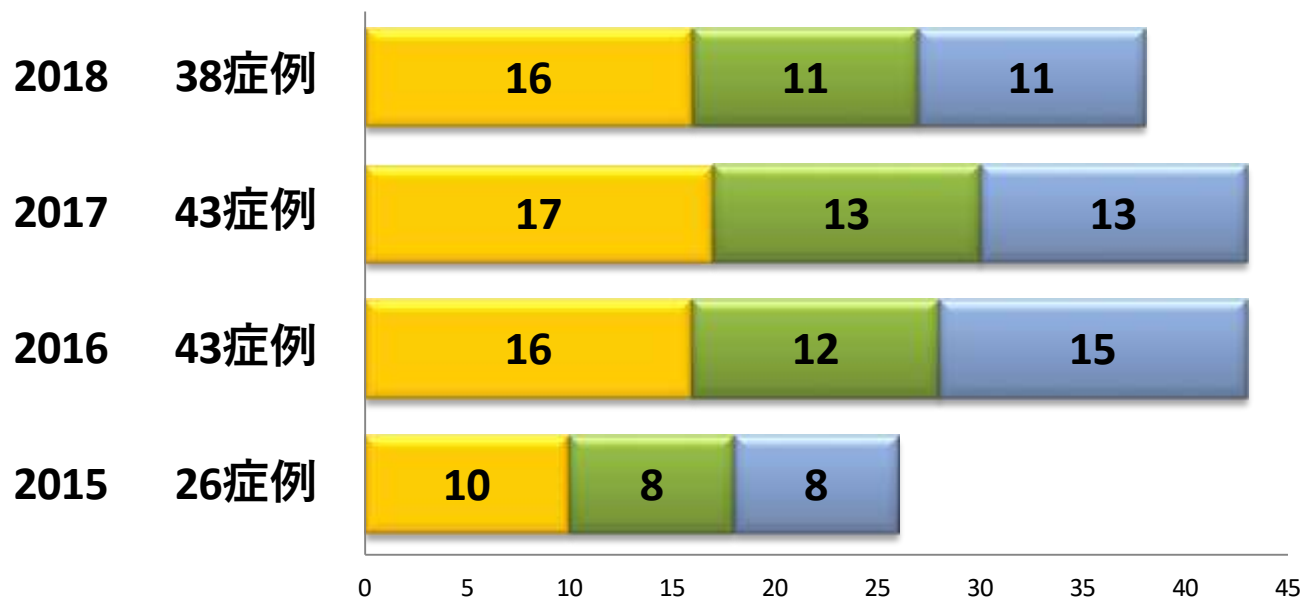
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

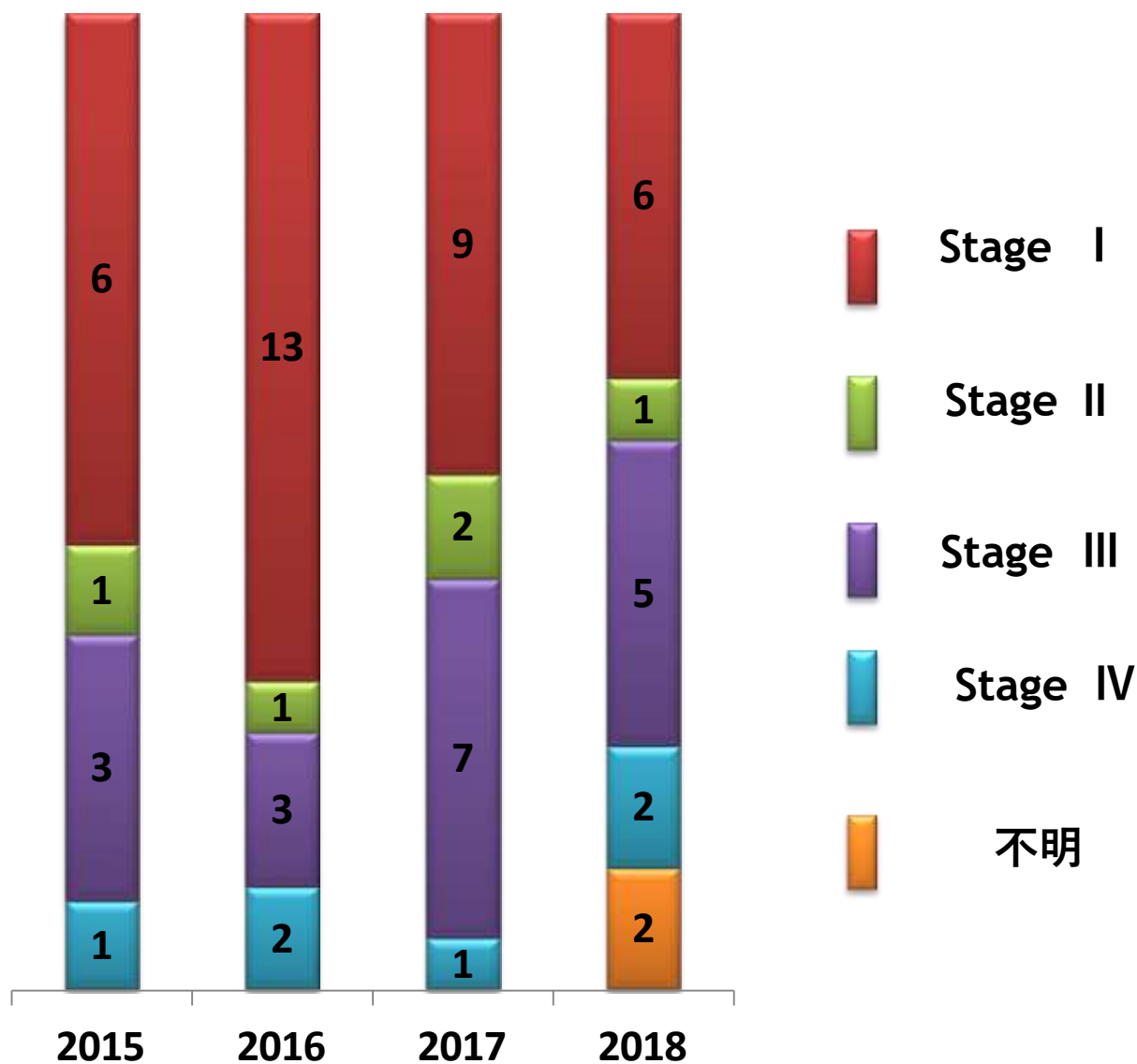


	2015 26症例	2016 43症例	2017 43症例	2018 38症例
■ 手術のみ	10	16	17	16
■ 手術＋放射線	0	0	0	0
■ 手術＋化学療法	8	12	13	11
■ 手術＋放射線＋化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	0	0	0	0
■ 放射線＋化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法	8	15	13	11
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

卵巣 (C56)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

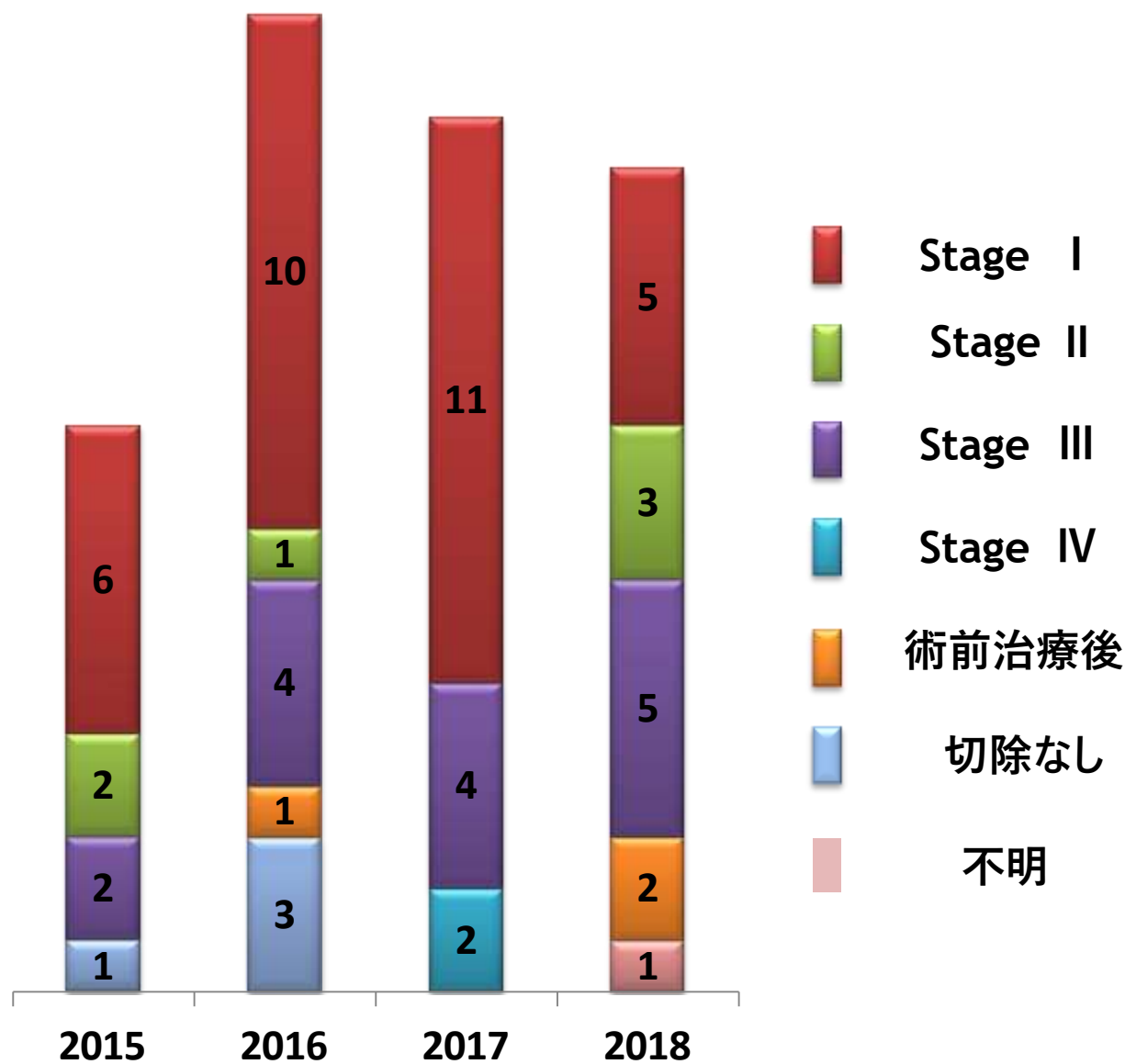
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



卵巣 (C56)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



13. 前立腺 Prostate Gland (ICD-0 C61)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

前立腺（C61）治療別件数

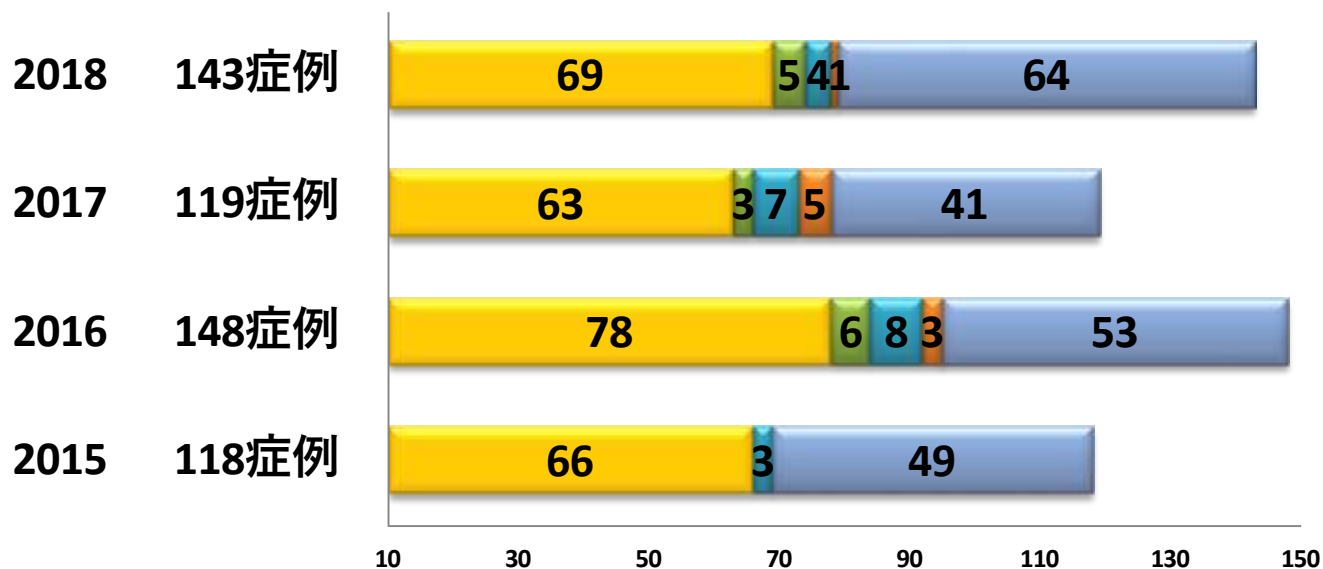
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

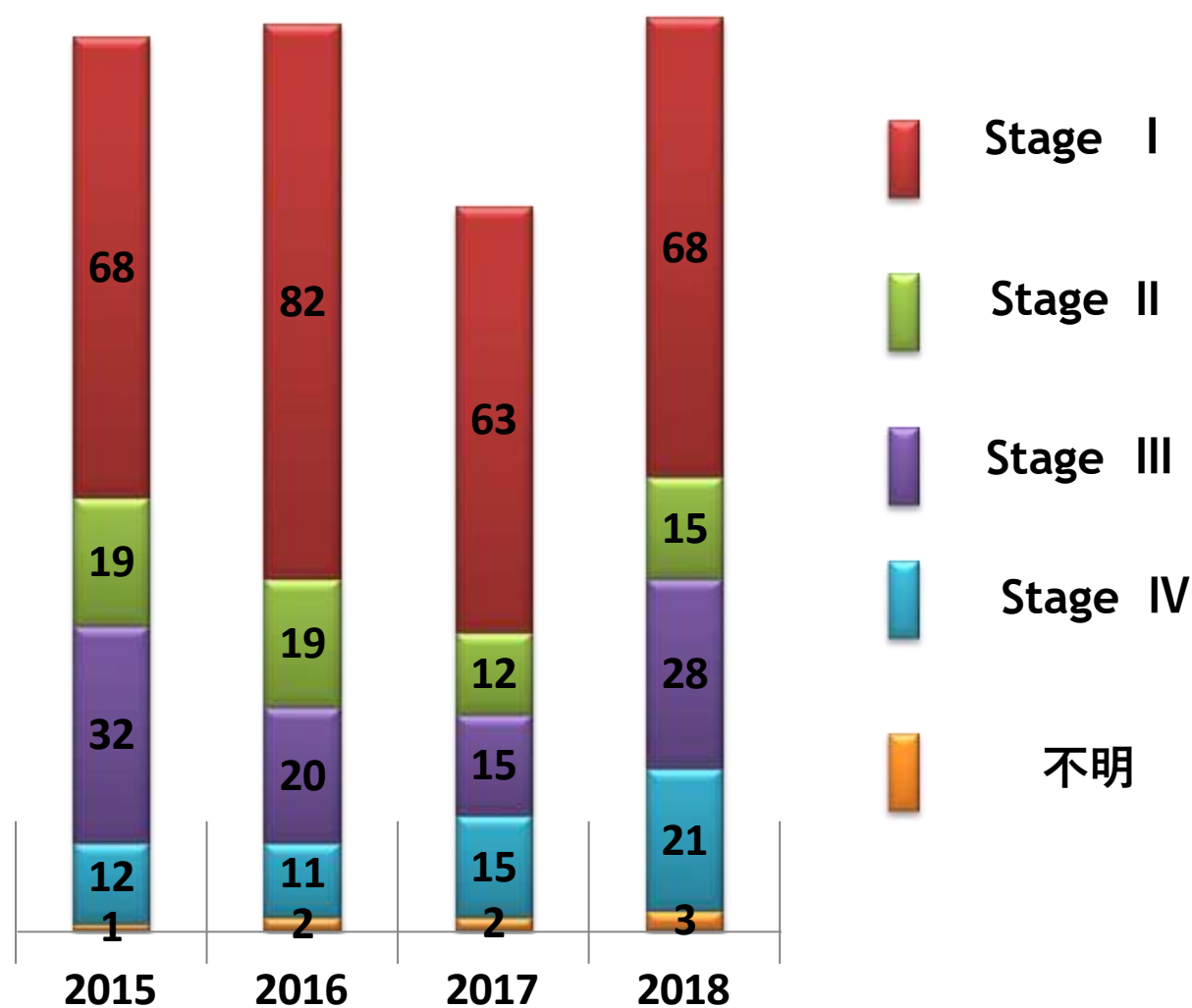


	2015 118症例	2016 148症例	2017 119症例	2018 143症例
■ 手術のみ	66	78	63	69
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0
■ 手術 + 化学療法	0	6	3	5
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	3	8	7	4
■ 放射線 + 化学療法	0	3	5	1
■ 化学療法	49	53	41	64
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

前立腺（C61)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

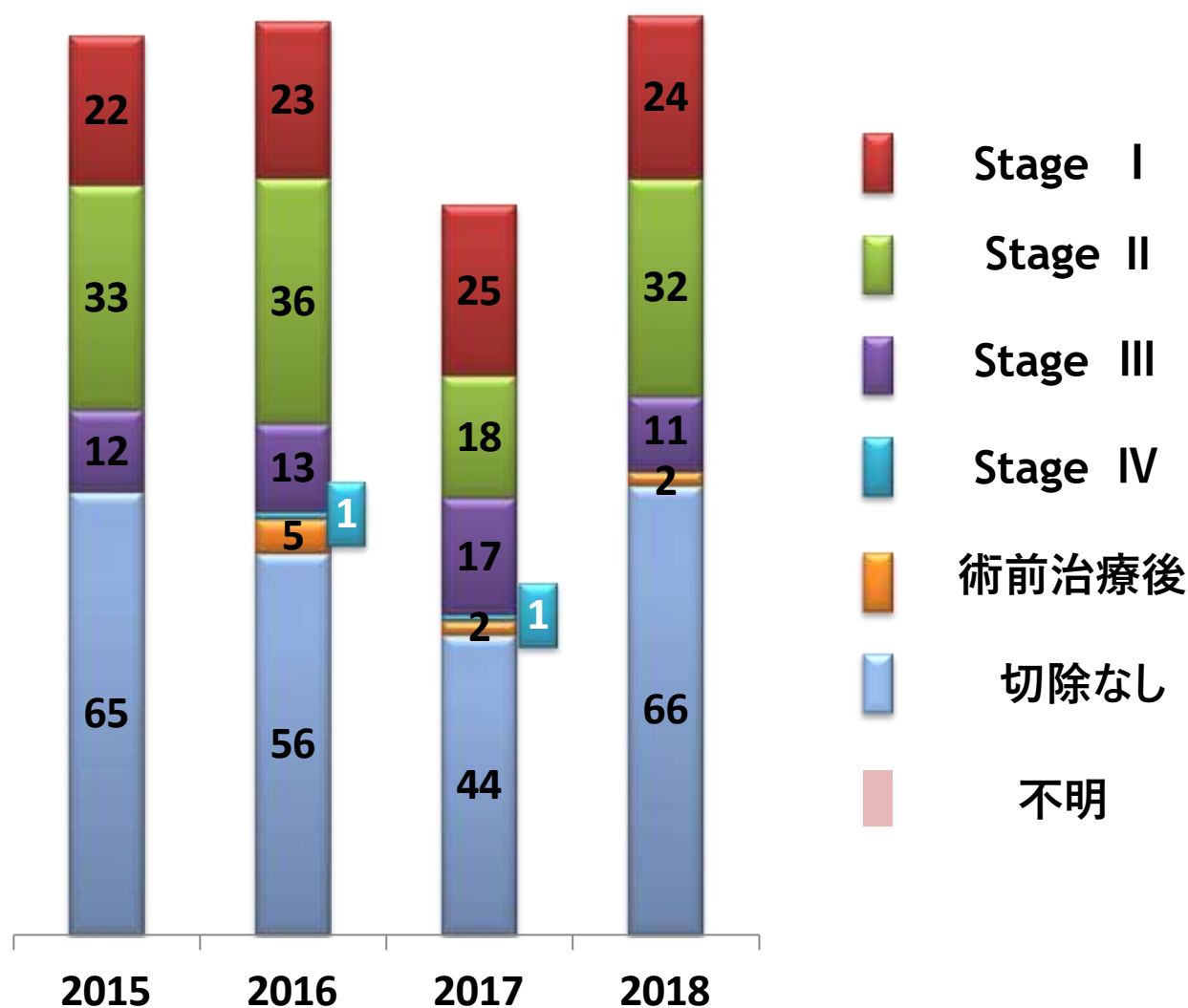
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



前立腺 (C61)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



14. 腎臓 Kidney (ICD-0 C64)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

腎（C64）治療別件数

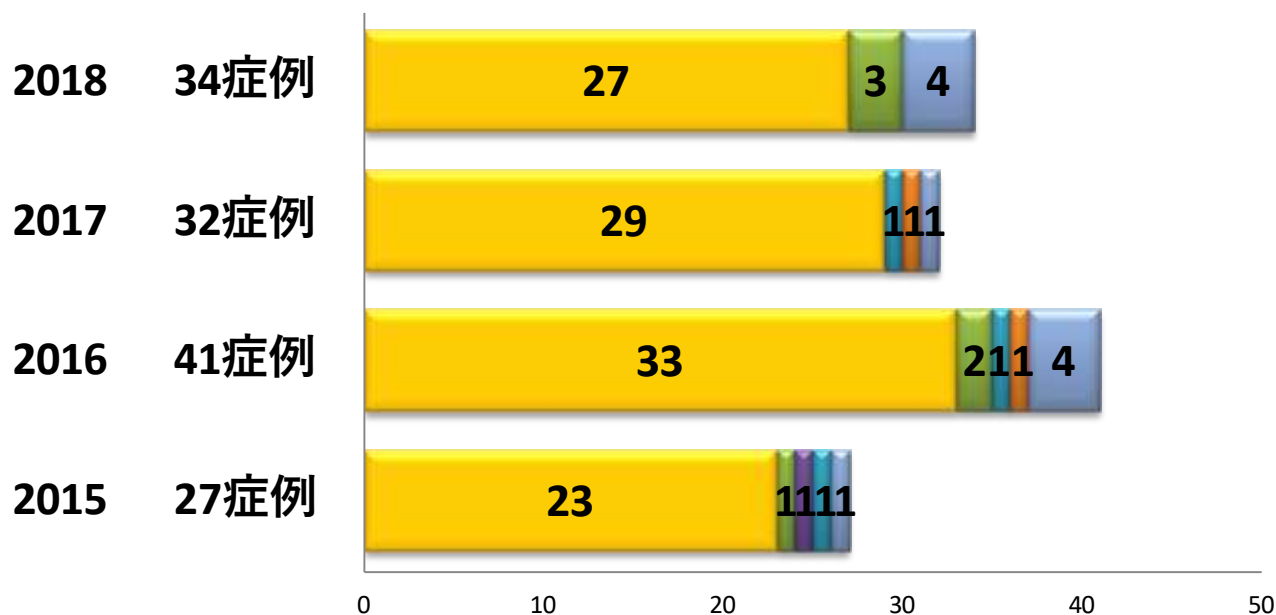
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

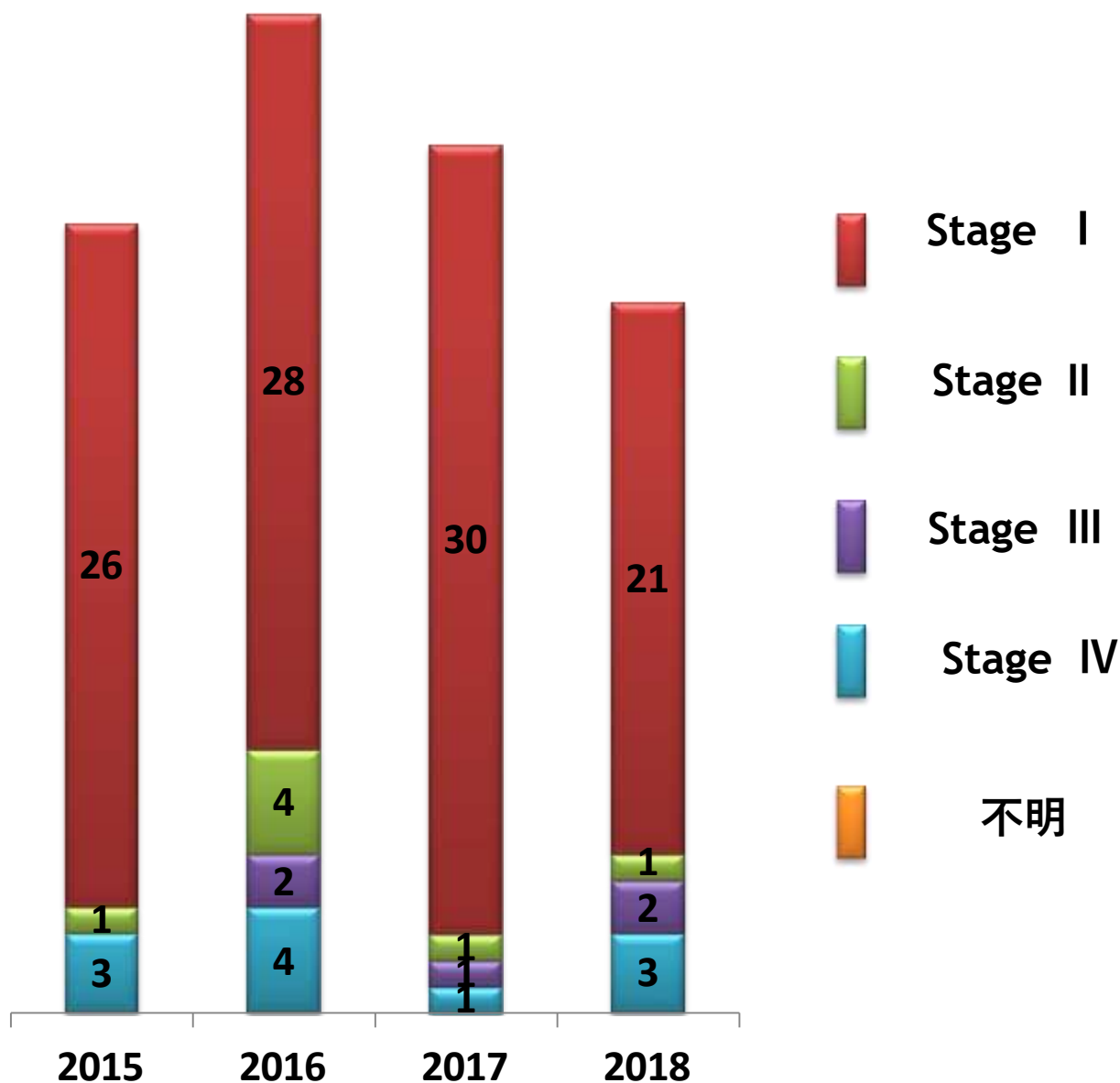


	2015 27症例	2016 41症例	2017 32症例	2018 34症例
■ 手術のみ	23	33	29	27
■ 手術＋放射線	0	0	0	0
■ 手術＋化学療法	1	2	0	3
■ 手術＋放射線＋化学療法	1	0	0	0
■ 放射線のみ	1	1	1	0
■ 放射線＋化学療法	0	1	1	0
■ 化学療法	1	4	1	4
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

腎 (C64)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

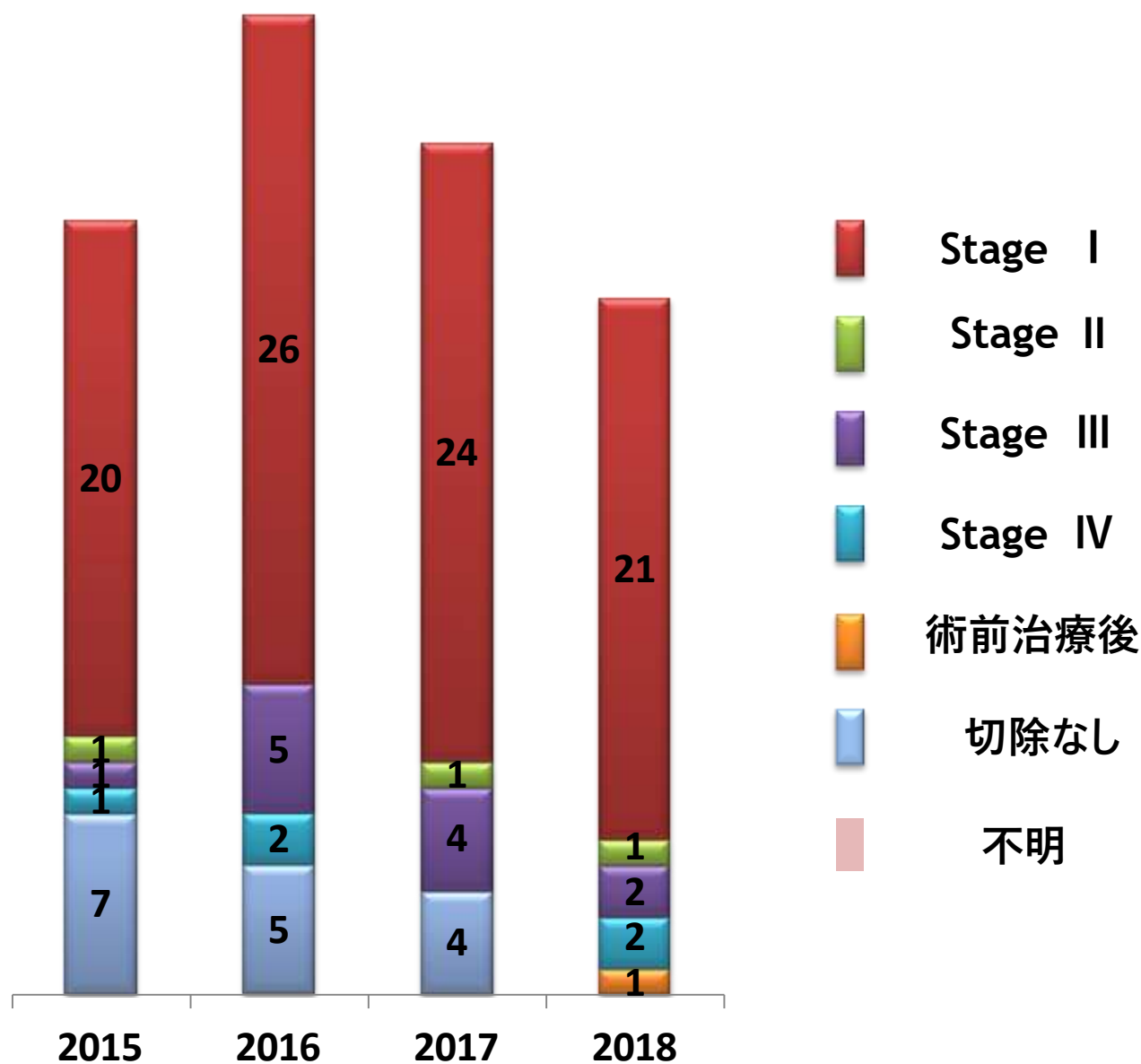
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



腎 (C64)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



15. 膀胱 Bladder (ICD-0 C67)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

膀胱（C67）治療別件数

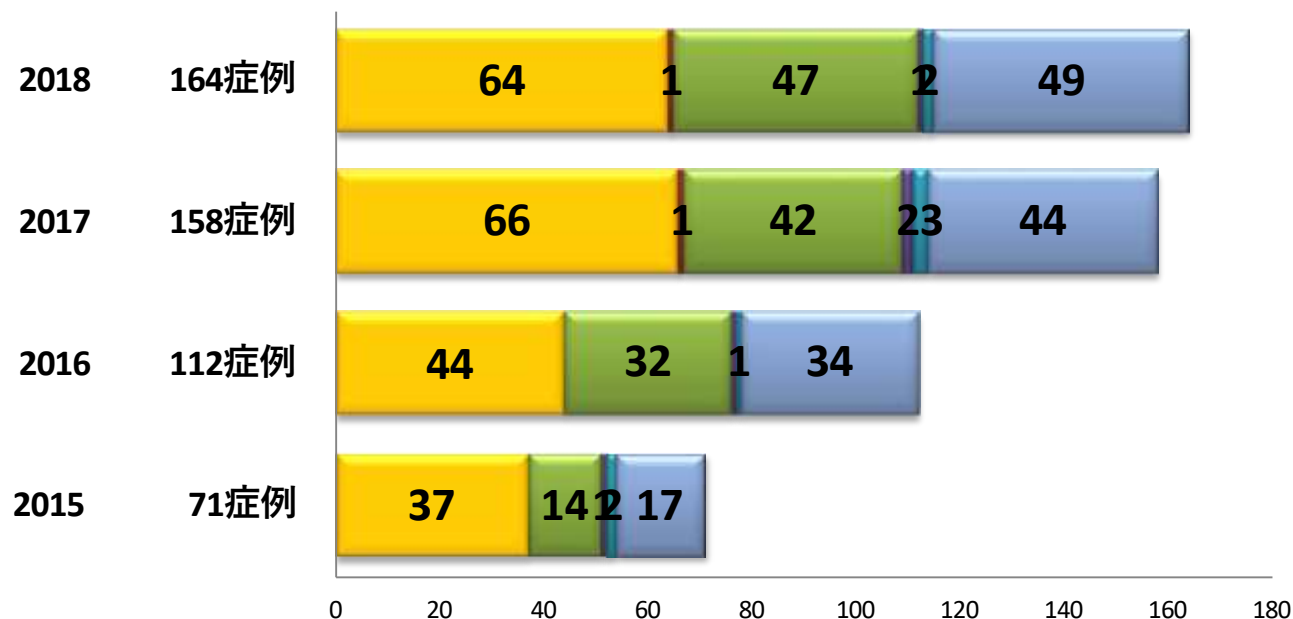
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

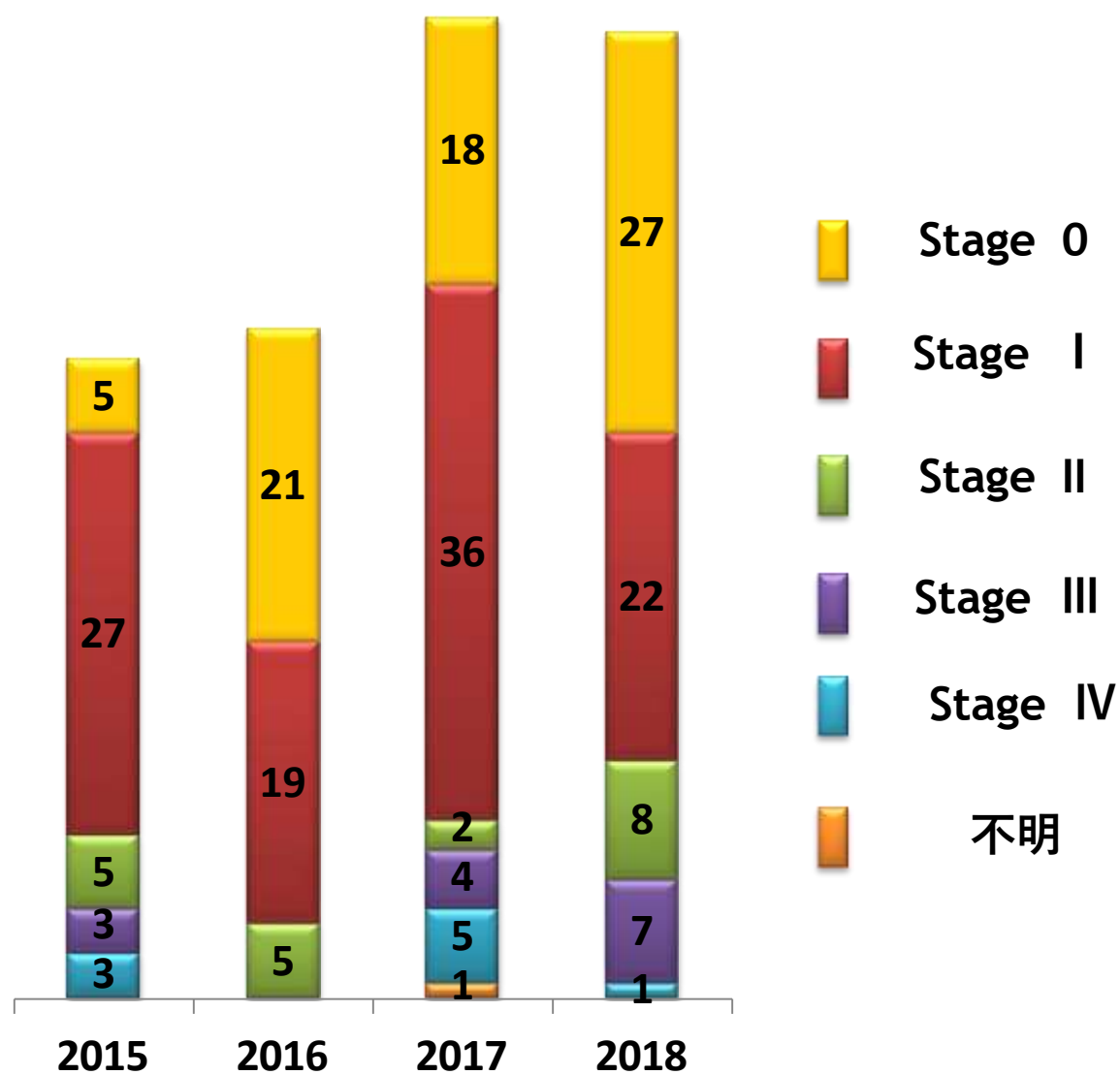


	2015	71症例	2016	112症例	2017	158症例	2018	164症例
■ 手術のみ	37		44		66		64	
■ 手術＋放射線	0		0		1		1	
■ 手術＋化学療法	14		32		42		47	
■ 手術＋放射線＋化学療法	1		1		2		1	
■ 放射線のみ	2		1		3		2	
■ 放射線＋化学療法	0		0		0		0	
■ 化学療法	17		34		44		49	
■ TAE	0							
■ RFA	0							

膀胱 (C67)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

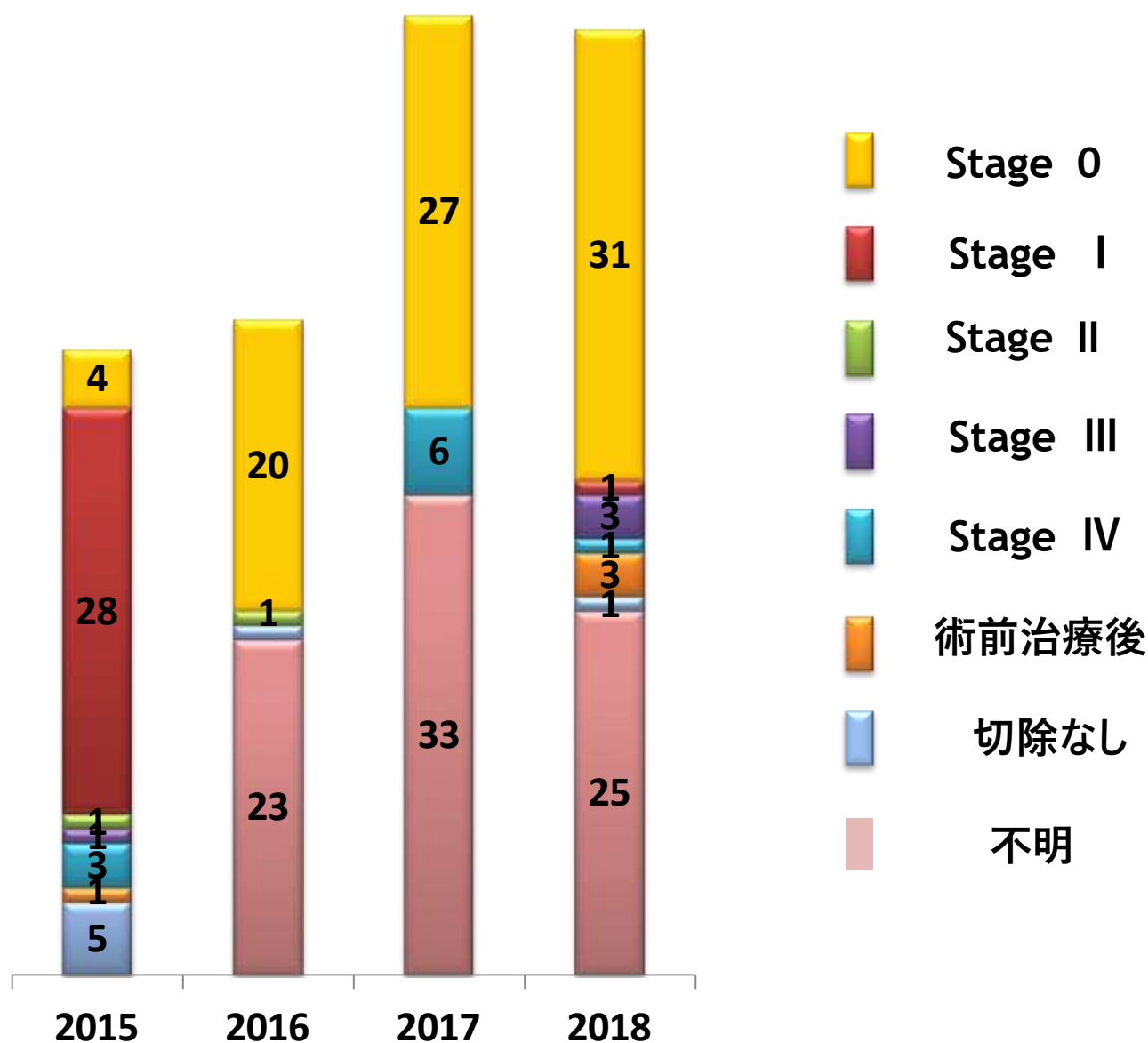
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



膀胱 (C67)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



16. 甲状腺 Thyroid gland (ICD-0 C73)

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

甲状腺（C73）治療別件数

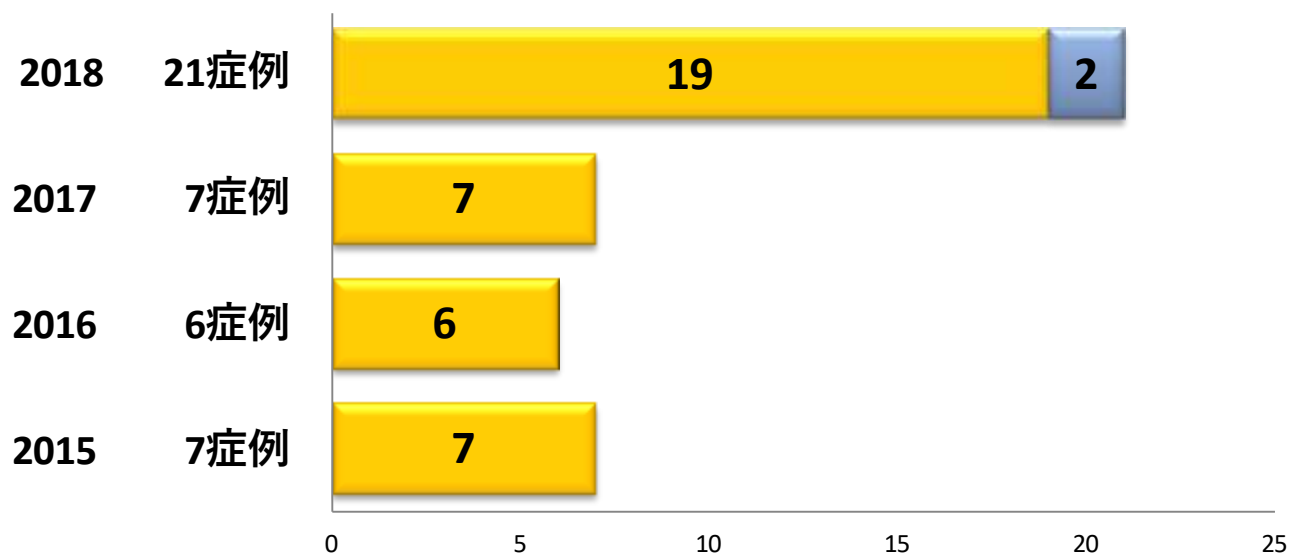
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

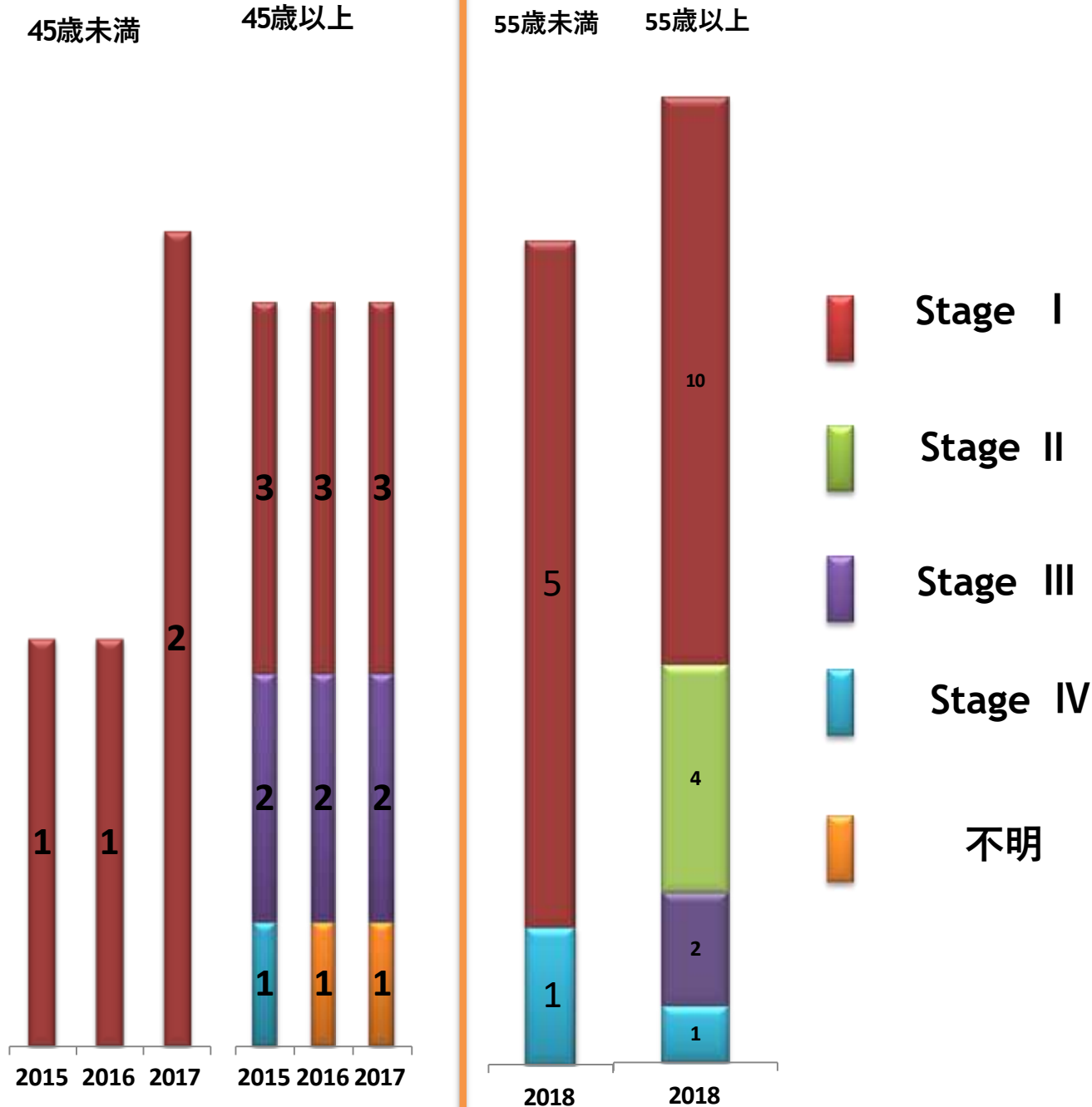


	2015	2016	2017	2018
■ 手術のみ	7	6	7	19
■ 手術＋放射線	0	0	0	0
■ 手術＋化学療法	0	0	0	0
■ 手術＋放射線＋化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	0	0	0	0
■ 放射線＋化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法	0	0	0	2
■ TAE	0	—	—	—
■ RFA	0	—	—	—

甲状腺 (C73)治療前ステージ

* 治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

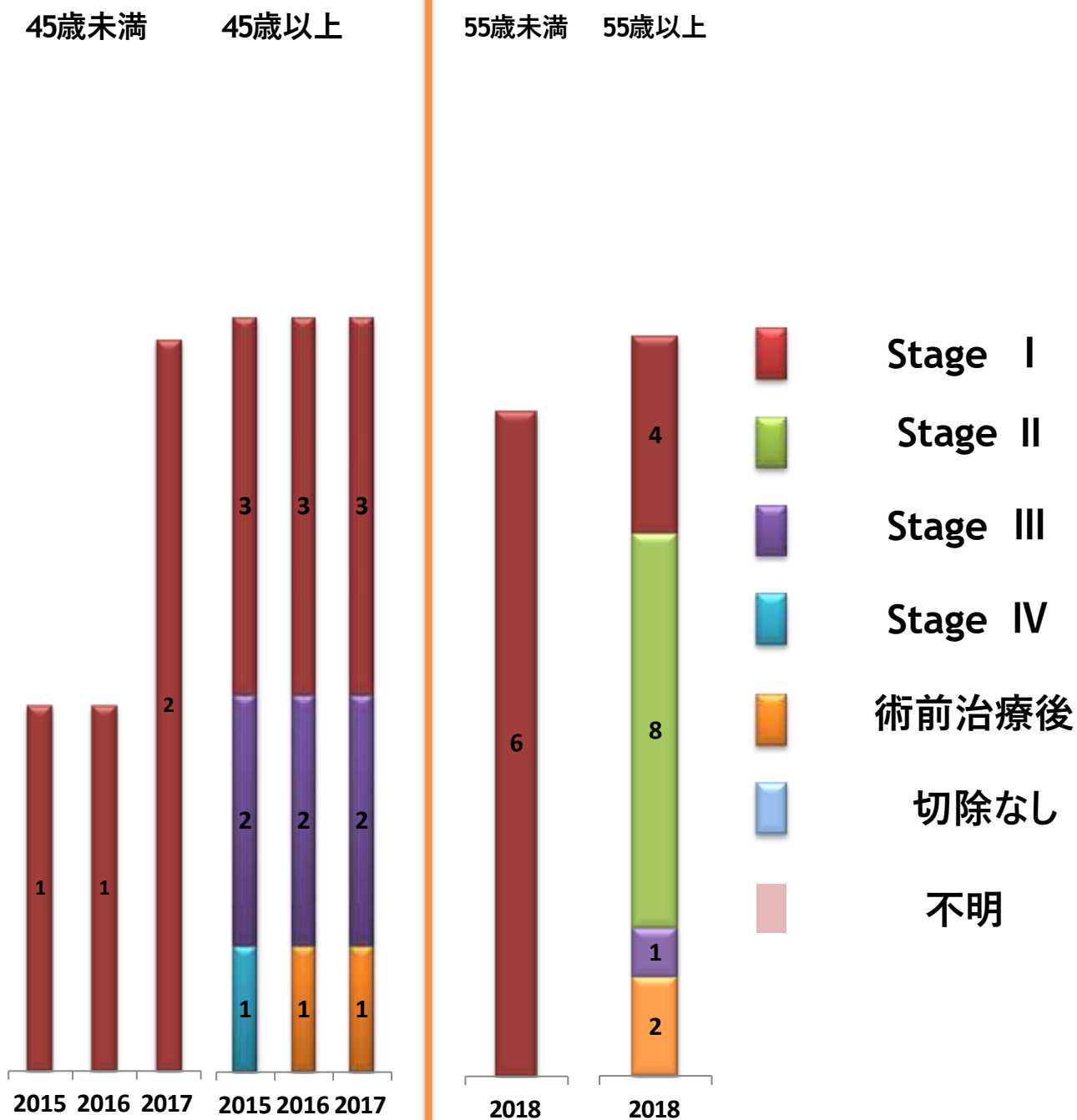
2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



甲状腺 (C73)治療後ステージ

* 治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

2015年～2017年症例はUICC7版・2018年症例よりUICC8版へ適用



業務手順等

院内がん登録 業務フロー

① がん登録対象患者検索システムより診療情報を収集

② 新発生の症例か確認

③ 新発生「がん症例」リスト作成

<電子カルテより>
Medi-Bank のがん登録一覧に項目内容を書き出す

泌尿器科の不明分を泌尿器部長先生に
依頼

登録不明分を各診療科の主治医
に依頼

④ Medi-Bank 画面に登録

『院内がん登録 業務手順』

① 腫瘍見つけ出し

- ☒ 電子カルテの「退院サマリー」の【対象患者一覧】の画面を開き、発生期間を概ね1ヶ月にして、対象患者を表示させます。

☆登録された情報よりがんに関連する診療情報を収集

・オーダーリングシステム：病名オーダー、処方オーダー、注射オーダー、レジメンオーダー、術式、放射線治療オーダー、腫瘍マーカー

・医事システム：放射線治療、病名、術式、医事算定情報

・病理システム：病理診断報告書

・退院サマリーシステム：サマリー病名

② 登録対象の確認

- ・収集した診療情報を元に、がん登録対象患者の判定を行い、新発生の症例確認、対象・対象外に振り分けていく。

③ 「がん症例」リスト作成

- ・がん登録対象患者に振り分けたリストを、がん登録一覧より1ヶ月分ごとに【がん仕分け表】作成

④ がん登録

- ・登録者にて「標準登録様式」の必須項目・オプション項目を電子カルテから拾い上げて Medi-Bank のがん登録一覧に項目内容を入れて登録していく。

がん拠点病院医療委員会 2020

委員長	高 濟 峯	(副院長兼集学的がん治療センター長)
委員	菊 池 英 亮	(院長)
	村 田 庄 司	(特命院長補佐兼事務部長)
	杉 本 和 也	(副院長)
	松 山 武	(副院長兼救命救急センター長)
	下 村 俊 行	(副院長)
	橋 本 宏 之	(副院長)
	喜 多 恒 和	(周産期母子医療センター長兼産婦人科部長)
	伊 藤 武 文	(呼吸器内科部長)
	中 谷 敏 也	(消化器内科部長兼栄養管理部長)
	上 村 秀 樹	(精神科部長)
	中 川 裕 之	(放射線科部長)
	竹 澤 祐 一	(がん相談支援室長)
	小 林 真 也	(血液・腫瘍内科医長)
	櫛 部 圭 司	(呼吸器外科部長)
	成 尾 一 彦	(耳鼻咽喉科部長)
	山 本 一 彦	(口腔外科部長)
	山 内 清 明	(乳腺外科部長)
	宮 崎 眞 和	(頭頸部外科部長)
	向 川 智 英	(消化器・肝胆膵外科副部長)
	甲 田 涼 子	(看護副部長)
	松 原 操	(がん相談支援室 認定看護師)
	宮 地 眞 澄	(がん相談支援室 専門看護師)
	生 島 繁 樹	(薬剤部長)

委員

河 口 典 行 (事務部長補佐)

北 村 臣 (経営企画室長)

山 本 龍 司 (医事課長)

大須賀 仁 (庶務係長兼職員係長)

三 村 綾 子 (**TQM** 室 診療情報管理士)

近 記 郁 子 (がん相談支援室)

院内がん登録 2017年・2018年 症例報告

発行年月	令和2年3月
発行責任者	菊池 英亮
編集責任者	高 濟峯
編 集	三村 綾子
発 行	奈良県総合医療センター TQM 室・病歴管理係
